

日本留学海外拠点 連携推進事業

(サブサハラ・アフリカ地域)

事業案内



北海道大学国際連携機構

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL +81 (0) 11-706-4411

MAIL collabo@oia.hokudai.ac.jp

WEB <https://www.studyinjapan-africa.com>



Study in JAPAN for Africa



目次

1. ご挨拶	4
2. 留学コーディネーター活用事例	5
3. 支援内容の紹介	6
4. 活躍するサブサハラ・アフリカ出身者	7
5. 留学希望者に向けた留学生・卒業生からのメッセージ	8
6. アフリカ人ネットワークからのメッセージ	10
7. 事業概要	11
8. オンサイト（現地）での取り組み	12
9. オンラインでの取り組み	13
10. サブサハラ・アフリカから日本への留学生動向	14
11. サブサハラ・アフリカにおける日本語学習の状況	15
添付1：国別情報	17
添付2：渡日前入試を実施する学部コース一覧 2020	34
添付3：サブサハラ・アフリカー日本の大学間における協定校リスト	40
添付4：サブサハラ・アフリカからの留学生向け奨学金リスト	56

ご挨拶



北海道大学アフリカルサカオフィス所長
大学院獣医学研究院教授 奥村 正裕

北海道大学アフリカルサカオフィスは、サハラ砂漠以南アフリカ（以下、サブサハラ・アフリカ）地域における北海道大学の在外情報発信拠点として、2012年にザンビア共和国の首都ルサカにある最高学府ザンビア大学内に開設されました。これは、本学とザンビア大学間における30年を超える長期間の協力・連携関係によるものです。

開設以来、本オフィスではザンビア共和国をはじめ、アフリカ地域での北海道大学の広報、留学生の誘致、研究者交流のサポートを実施してきました。本学では、獣医学、感染症学、工学、農学、理学、環境科学、人文科学などの分野において研究者や学生の交流が行われおり、さらに多くの分野において研究者や学生の交流が活発に行われるよう活動していきたいと考えています。

2014年、北海道大学では文部科学省から5年間、サブサハラ・アフリカ地域を担当する留学コーディネーターをアフリカルサカオフィスに配置する事業（留学コーディネーター配置事業）を受託し、本学のみならず、本邦すべての大学を対象に、留学を通して高い教育を受けることを希望する現地の優秀な学生の誘致活動を実施してきました。その間、在外公館、邦人団体・企業、現地での教育・研究活動を実施されている本邦大学関係者、アフリカ各国の政府や大学関係者など、多くの方々の多大な協力をいただき、総数はアジア地域には遠く及びませんが、日本への留学生および希望者の数とその広がりやの基盤形成を目指してきました。2019年には、文部科学省よりさらに5年間の予定で「日本留学海外拠点連携推進事業」を受託し、同事業の新たな拠点として、ケニア共和国の日本学術振興会ナイロビ研究連絡センター内にアフリカルサカオフィスのサテライトオフィスを開設いたしました。留学コーディネーターは、そのサポートスタッフを含めて6名に拡充され、優秀な留学希望者に対して留学後のキャリアパス形成も視野に入れることができるような情報発信を日々心掛けて活動しています。

現在、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大によって停滞する社会・経済的な環境においても、留学コーディネーターたちは、高い教育を希求する現地の優秀な若者たちに日本留学のすばらしさを広報して留学の希望を持ち続けるよう激励しつつ、近い将来日本で勉強し、本人たちのみならず、受け入れていただいた大学、日本社会にも貢献してくれることを目指して活動を展開しています。アフリカでの高等教育を希望する学生の流動性は極めて高く、必ずしも初等・中等教育環境のすぐれない環境でその頭角を現し、語学の適応性に長けたそれらの学生たちは高いポテンシャルを持っていると期待されます。日本の大学の関係者・教育担当者の皆様におかれましては、是非ともご自身の指導を受ける学生の一人として、将来有望なアフリカからの留学生の受け入れをご検討いただけますと幸いです。

本文に、私共の本年度の活動内容を紹介させていただきます。今後とも、留学コーディネーターの活動にご理解とご協力をお願いさせていただくとともに、留学コーディネーターを貴学のアフリカにおける留学広報に是非ともご活用ください。私ども、北海道大学アフリカルサカオフィスは、日本留学海外拠点連携推進事業サブサハラ拠点として、これからも日本とサブサハラ・アフリカの教育・研究の架け橋として尽力してまいります。

2 留学コーディネーター活用事例



日本留学海外拠点連携推進事業サブサハラ拠点 ～留学誘致活動の事例紹介～

貴学の国際化推進そして多文化共生の実現に、ぜひ本事業サブサハラ拠点をご活用ください！

1. 個別留学相談対応

留学希望者より問い合わせのメールが本拠点に入る→目標や希望コースなどを丁寧にヒアリング、メールでカウンセリングとアドバイス(計10回以上)→紹介したコースに本人が応募、合格

九州、北海道の大学

2. 持続的な機会提供

(日本語教育→短期留学→国費留学)
現地大学で日本語講座を受講→本拠点を通じて国内大学へ短期留学→本拠点が申請支援し、国費奨学生に合格(複数事例)

日本語教育が留学に繋がった

3. 日本国内の研究者支援

(研究者紹介→大学間協定→留学選考補佐)
本事業主催の留学フェアに参加した日本の大学に現地大学を紹介→両大学間において学術交流協定の締結→国費留学生受け入れに際して奨学金制度説明や選考などの支援

甲信越の大学

4. 奨学金候補者のマッチング

留学フェアに参加した成績優秀者を国費奨学金制度(大学推薦枠)をもつ日本の大学に紹介→本拠点による調整→推薦、合格

海洋系大学

5. 大学間連携構築支援

本拠点(ザンビア大学内)を訪問した日本の大学からの研究者の希望に沿って、ザンビア大学の国際関係部署や研究者を紹介→大学間ネットワーク構築の支援

東北、四国、関西の大学



北海道大学アフリカルサカオフィス(ザンビア大学内)



日本留学海外拠点連携推進事業サブサハラ拠点による日本の教育機関へのサポート

◆ 日本を身近にするオンライン広報 (ホームページ、Facebook、Twitter)

- ▶ 留学生たちの日本での生活・就学の様子をサブサハラ・アフリカ地域に向けて発信!
- ▶ 各大学の教育課程情報、申請日程などをサブサハラ・アフリカに向けて紹介!

◆ 多様な留学ターゲット層への 各大学のアプローチ支援

ぜひ貴学の情報をお寄せください

- ▶ サブサハラ・アフリカの大学や高校、日本語教育を含む教育機関などへの留学広報を支援!
- ▶ サブサハラ・アフリカで留学フェア、説明会などを開催し、直接アピールの場を提供!

◆ きめ細かなマッチング・サポート

アフリカの優秀な学生を貴学と結びつけます

- ▶ 学生交流の基盤となる大学間協定の締結を支援!
- ▶ 各大学への入学希望者の紹介、各大学からのサブサハラ・アフリカに関する各種問合せに対応!
- ▶ 入試・入学手続き等、サブサハラ・アフリカの申請者への渡日前フォロー!

お気軽に、お問い合わせください

日本留学海外拠点連携推進事業
サブサハラ拠点

(北海道大学アフリカサカオフィス、ナイロビサテライト)

studyinjapan@oia.hokudai.ac.jp



ホームページ <https://www.studyinjapan-africa.com/> 日本語

ポータルサイト (英語) <https://studyinjapan-africa-portal.com>

Facebook (英語) <https://www.facebook.com/STUDYinJAPANforAFRICA>

Twitter (英語) https://twitter.com/StudyJPN_africa

ホームページ



Facebook



Twitter



【日本留学を経験し、活躍するサブサハラ・アフリカ出身者の記事等】

①『アフリカ出身者として初めて日本の大学の学長に就任』

ウスビ・サコさん、マリ共和国出身、元留学生(京都大学)、現 京都精華大学学長
https://www3.nhk.or.jp/news/special/education/articles/article_22.html (NHK 2020年7月31日)

②『ナイジェリア人留学生の挑戦・日本の養殖技術で母国の食糧不足の解決を目指す』

イフェアニー・チュクさん、ナイジェリア出身、現役留学生(北海道大学)
<https://www.youtube.com/watch?v=giCXVTCG-iU> (NHK 2020年3月23日)

③『感染症克服に挑む、抗菌タンパク質を薬に』

ニヨンサバ・フランソワさん、ルワンダ出身、元留学生(順天堂大学)、現 順天堂大学教授
<http://www.ifsa.jp/index.php?cmd=read&page=Africa11&word=%E3%82%A2%E3%83%95%E3%83%AA%E3%82%AB>
(国際留学生協会向学新聞 2019年6月1日)

④『ジョモ・ケニヤッタ農工大学の女性学長は元日本留学生』

ヴィクトリア・ワンブイ・ングミさん、ケニア出身、元留学生(広島大学)、現 ジョモ・ケニヤッタ農工大学学長
<https://www.kenet.or.ke/content/prof-victoria-wambui-ngumi-phd> (Kenya Education Network Trust)

⑤『内戦や医療の不備などに苦しむ母国ウガンダの女性を支援』

バゲンダ・ドミニクさん、ウガンダ出身、元留学生(北海道大学)、現 はこだて未来大学准教授
<https://www.nhk.or.jp/hokkaido/articles/slug-n510f7681c862> (NHK 2021年1月27日)

⑥『ザンビアの教育力を上げる取り組み』

ベンソン・バンドラさん、ザンビア出身、元留学生(広島大学)、現 ザンビア教育省国立科学センター所長
<https://www.jica.go.jp/publication/mundi/202007/ku57pq00002mat72-att/06.pdf> (JICA 2020年7月16日)

⑦『地域おこし協力隊に!、大阪マラソン優勝者』

ガンドウ・ベンジャミンさん、ケニア出身、元留学生(日本大学)、現 壬生町地域おこし協力隊員
<https://www.town.mibu.tochigi.jp/docs/2020080700018/> (壬生町公式 WEB 2020年8月14日)

⑧『元日本留学生、ガーナ大学の学長に就任』

エベネゼ・オウスさん、ガーナ出身、元留学生(高知大学)、現 ガーナ大学総長
https://www.gh.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000099.html (在ガーナ日本国大使館 2017年11月3日)

⑨『元日本留学生、駐日ナイジェリア大使に』

モハンメド・ガナ・イサさん、ナイジェリア出身、元留学生(北海道大学)、前 本邦駐劔ナイジェリア連邦共和国大使
<https://www.japantimes.co.jp/jnu/2018/05/14/jnu-embassy/jnu-embassy-of-the-federal-republic-of-nigeria/mohammed-gana-yisa/>
(The Japan Times 2018年5月30日)

⑩『王立英国建築家協会の2021RIBAゴールドメダル受賞』

デイビッド・アジャウイさん、ガーナ出身、元留学生(京都芸術大学)、芸術家(王立英国建築家協会の2021RIBAゴールドメダルを受賞)
<https://architecturephoto.net/102314/> (architecturephoto 2020年10月4日)

⑪『地方の人材不足に新戦力 外国人留学生で活路拓くーアフリカ人留学生の魅力』

<https://ybs.yomiuri.co.jp/cabinet-office/africaseminar/> (YOMIURI BRAND STUD 2020年2月)

Mr. Yves Petemoya Clinton

Democratic Republic of the Congo

Bachelor Course in Civil Engineering, University of Fukui



日本語で工学知識を学ぶことを重要視した学部課程への留学生。あしなが育英会からの奨学金を得て渡日。(なお、あしなが育英会・あしながウガンダ心塾と本事業も連携をはかっている。)

2020年7月提供

Currently, I am studying Civil Engineering at the University of Fukui. Before starting my university, I went to a Japanese language school for one year and half. The goal of this program is to prepare for university's application and to get a necessary level of Japanese for studying in a Japanese university in Japanese.

I decided to study in Japanese because I want to learn more from Japanese about civil constructions. To interact with Japanese civil engineers, understand their thoughts and learn how they have developed the Japanese railway traffic, it will help me when I go back to my country to contribute for it's development as well.

In the future, I would like to become a civil engineer and contribute to the development not only of my country but wherever the traffic network still undeveloped. That is the reason why I choose to study in Japan, and get knowledges on how to build roads, bridges, tunnels, etc.

Japanese universities are great places where you can meet and interact with people of all around the world. Also, Japanese universities prepare student efficiently for their future career with practical classes and experimentations. —You won't get bored.

//////////
He is one of successful recipients of Ashinaga Africa Initiative
<https://en.ashinaga.org/>

Mr. Celso Luís Fernando

Mozambique

PhD course, Traffic Engineering, Ehime University



アフリカで大きな課題となっている交通事故の減少を目指して研究に取り組む博士後期課程の院生。大学間協定が日本留学を導いたケース。

2020年6月提供

My studies are on road accident risk prevention. In my master's degree, I analyzed the effects of different road environments conditions on the road's accident occurrence. Specifically, I focused on porous asphalt pavement material. Now, in my Ph.D., I am using artificial intelligence (AI) to develop a real-time accident risk prediction model for a road network scale. The focus is on the selection of the best factor for prediction and interpretability purposes of the model output.

I chose to study in Japan because of the relationships between Ehime University and Lurio University in Mozambique (my workplace). There is a Memorandum of Understanding (MOU) for the alliance.

After my studies, I will work as a researcher. I want to implement a laboratory for urban traffic studies. I, strongly, believe that my work will contribute to reducing the number of road accidents, traffic congestion and other road incidents.

Studying in Japan allows you to experience a different working culture. It is interesting to see how people are committed to their business. The ultimate goal of whatever they do is to make their life easy, this is my impression.

For example, sensing technology, house building techniques, etc.

Japan is, undoubtedly, a place where African youth who wish to work for a better home country should come and get experience.

Mr. KOUAKOU Koffi Valerie

Cote d'Ivoire

Master of Business Administration (MBA), Kwame Ninsin University
Working at Unilever Japan / Zuiko Corporation, Tokyo / Osaka, Japan



日本で MBA を取得後に日本で就職して 6 年間働き、母国に戻って日系企業の西アフリカ支店で、総務部長兼セールス・マーケティングマネージャーとして活躍しているケース。

2020年7月提供

I am from a country that produces about 45% of world cocoa output. So, my MBA thesis focused on the supposed benefit of fair-trade to cocoa farmers in developing countries, and especially to Ivorian farmers. A team of interviewers were sent in different locations in Cote d'Ivoire to interview 800 farmers on their farming practice, their revenue, and their awareness of Fair-trade. The findings of the questionnaire helped develop the thesis.

After my university degrees, I worked during 6 years in Japan before returning to the Ivory Coast. I currently work as the General Affair Director / Sales and Marketing Manager for the West African subsidiary of the Ajinomoto Group in Cote d'Ivoire.

Studying in Japan opened unthinkable doors to me. It was indeed a rich and unique experience in term of culture, knowledge, and know-how development. This is the opportunity to broaden your mind and expand the opportunities ahead. You will experience a "bizarre" world of high end technology harmoniously cohabiting with centuries old traditions and culture. I strongly recommend it to any young African wanting to build up essential skills and learn a whole new philosophy of life.

Ms. Nawshin MAHADOOA

Mauritius

Masters in Marine Science in the course of Marine Policy and Management,
Tokyo University of Marine Science and Technology(TUMSAT)
Working at Economic Development Board, Port Louis, Mauritius



政府人材として日本に留学し海洋分野政策を研究。島嶼国であるモーリシャスに帰国後、貿易・海運の推進を担当している。

2020年7月提供

I studied Marine Policy and Management at TUMSAT <https://www.kaiyodai.ac.jp/graduateschool/> which has world class facilities for Marine Sciences and Marine Policy studies. Through the interactive lectures and seminars by eminent professors, I have gained incredible knowledge about Marine Trade, Peace and Security, International Laws of the Sea, Sustainable Development Goals, and Marine Environmental Policy amongst others. The university has a big number of foreign students coming from all over the world for their master's degree or exchange programs. My research was related to conflict resolution of the natural resources utilization in the coastal areas of Mauritius. I learned about the dynamism of the coastal areas in supporting coastal livelihood, environmental ecosystem, tourism industry, and the fisheries industry and studied various mechanisms for conflict resolutions.

I was awarded the ABE Initiative Scholarship in 2016 and I resumed my position at the Economic Development Board after completing the masters degree and an internship at one of the leading consultancy firm in Japan. I am now involved in activities to promote trade and investment in new industries which also covers technology and innovation happening in the development of the marine and maritime industry. I am also the country manager for Kakehashi Africa <https://www.facebook.com/kakehashiafrica/> - an NGO established to bridge Japan and Mauritius through ABE-Initiatives scholars.

I would recommend anyone who wants to experience the profound meaning of societies to consider Japan for their life education. The Japanese culture, in itself, is a kind of religion that enshrines respect, modesty, politeness, cleanliness and most importantly the culture of never giving up. Whether you will be in Tokyo or in Kyoto, you will experience the art of living through all the four seasons that come with their own set of colors and flavors.

6 アフリカ人ネットワークからのメッセージ

※アフリカにとって日本は地理的に遠い上に、知人や友人もないために社会的にも遠いイメージが強い。そこで、日本留学への不安感を和らげてもらえるよう、日本で活動しているアフリカ人ネットワークや、日本とアフリカをつなぐアフリカ人ネットワークを留学希望者向けに紹介している。

Hokkaido University African Student Association (HUASA)



本留学生団体は連絡先を開示し、アフリカ現地で日本留学を検討している方からの相談も歓迎している。
2020年8月提供

Hokkaido University African Student Association (HUASA) was created with the intention of bringing African students together, helping them feel at home while studying abroad. In addition, HUASA also serves the purpose of bridging the academic gap between Hokkaido University research leaders and African students, as well as strengthening ties between Africa and Japan. HUASA is involved in promoting African culture among foreign nationals through activities which showcase the rich beauty in diversities of African dances, songs and foods as well. You are welcomed to visit or join us and learn something more exciting about Africa and African students in Japan.

Japan is generally foreigner friendly with a high level of security. It is that country that accepts all individuals irrespective of your skin color. In addition, Japanese universities (e.g. Hokkaido university) provides a rich and conducive environment for research thus making study life interesting and convenient. Finally, Japan is richly blessed with the beauty of nature and there are so many exciting and breath-taking places to visit in Japan.

If you need to get engaged in research activities that are relevant, oriented to sustainability and impactful to society, then start thinking of Japanese Universities. Again, finding and identifying with a community of your national will be very helpful in making your study in Japan more memorable.

Visit our Facebook and feel free to contact us - <https://www.facebook.com/HUASAJapan/>

Kakehashi Africa



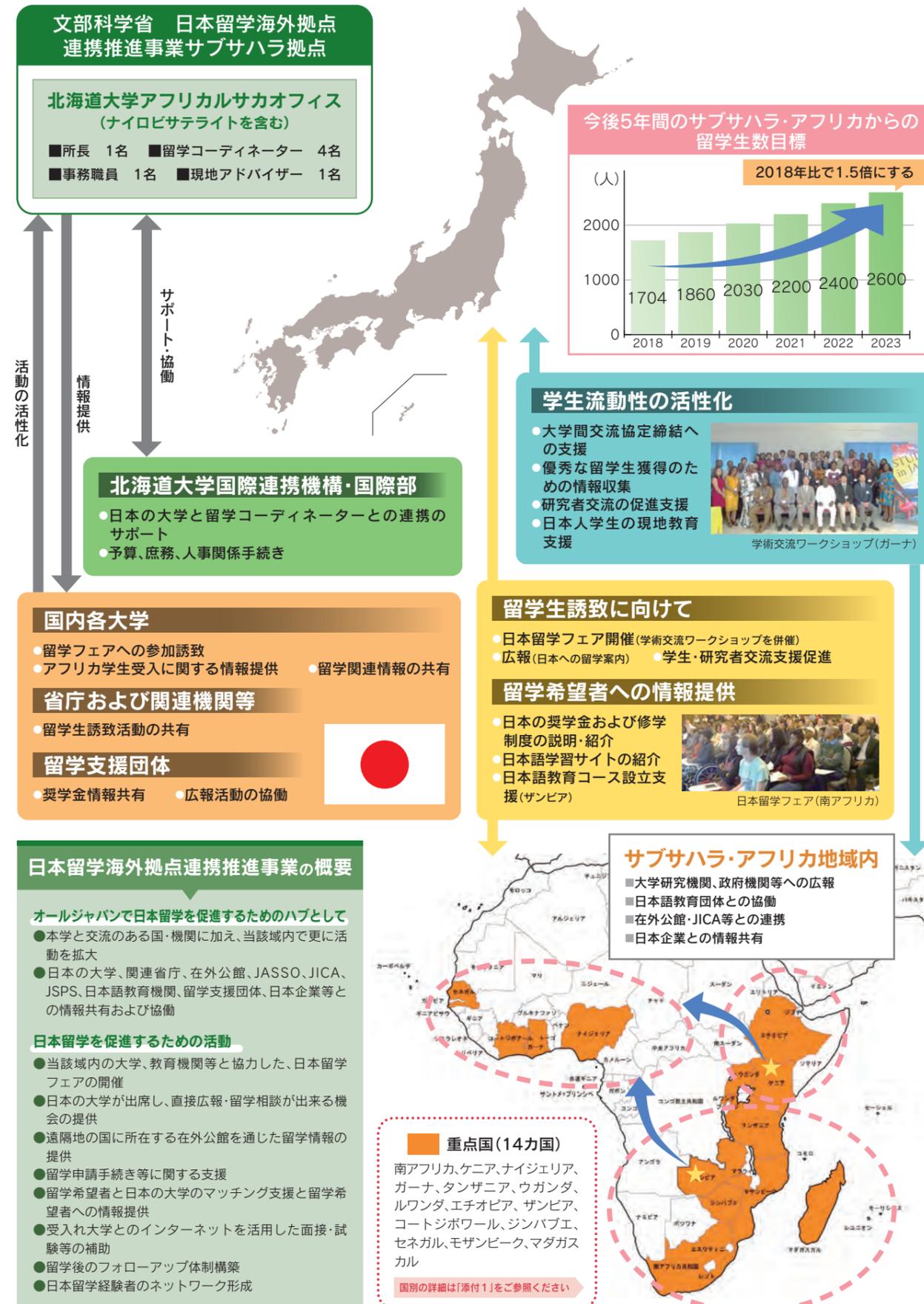
アフリカからの留学生とその卒業生によるネットワークであり、日本とアフリカ5地域（東西南北および中央）に支部、各国現地に国担当を設置する組織。日本社会・企業との架け橋を目指す。留学希望者の相談も歓迎している。
2020年8月提供

Kakehashi Africa is an organization founded by ABE (African Business Education) Initiative students that are or have studied in Japan. Kakehashi which means bridge in Japanese, was created with the mandate of creating a bridge between Japan and African markets for the sustainable development of our societies. With a 1000+ members from every country in Africa our mission is the exchange of reliable knowledge, matching of needs and resources and building of trust between our societies.

Japan is renowned for its safety, technological advancements and focus on research. This is an excellent environment to focus on education. The cultural exchange is also important in our globalized economy, therefore understanding how Japan functions, not only within business, but from an administrative perspective, will allow us to create sustainable change within our own countries.

We highly recommend Japan to any prospective students, because as an educational destination, there are not many countries that can compete with Japan. Japan is a nation with a rich culture and history which adds an unexpected value to the educational experience. This is a nation renowned for its safety, with people that are always willing to assist when you are in need. Japan is also the top technological countries in the world and are always looking to improve through constant research, hence our recommendation. Feel free to contact us - <https://www.kakehashiafrica.com/contact-us/>

7 事業概要



8 オンサイト（現地）での取り組み

日本留学フェアの開催

- 2019年度開催回数 年3回 ●開催国 南アフリカ・ケニア・ガーナ
- 日本の参加大学数（延べ） 現地 28校、資料68校



日本留学フェア（南アフリカ）



日本留学フェア（ガーナ）

学術交流ワークショップの開催

- 2019年度参加大学総数（延べ） 26校（日本側：14校、アフリカ側：12校）



学術交流ワークショップ（ケニア）

- Face-to-face による大学間交流の促進
 - 大学間（学生交流）協定の締結支援
- *日本とアフリカの大学間交流協定のリストは「添付3」をご参照ください。

現地開催の日本留学フェア実績

開催日	開催地	共催大学・機関	参加者数	日本の参加大学	
				現地	資料
2015年3月	ザンビア・ルサカ	ザンビア大学	227	1大学	12大学
2015年9月	南アフリカ・プレトリア	プレトリア大学	300	8大学	11大学
2016年2月	タンザニア・ダルエスサラーム	ダルエスサラーム大学	357	4大学	9大学
2016年10月	ケニア・ナイロビ	ナイロビ大学	500	7大学	16大学
2017年2月	ガーナ・アクラ	ガーナ大学	450	7大学	21大学
2017年9月	エチオピア・アティスアベバ	アティスアベバ大学	300	7大学	20大学
2018年2月	ルワンダ・キガリ	ルワンダ大学	1,000	7大学	13大学
2018年9月	南アフリカ・ケープタウン	ケープタウン大学	140	9大学	19大学
2019年2月	ウガンダ・カンパラ	マケレレ大学	170	4大学	25大学
2019年5月	南アフリカ・プレトリア	在南アフリカ共和国日本国大使館	330	12大学	20大学
2019年9月	ケニア・ナイロビ	在ケニア日本国大使館	240	9大学	22大学
2019年11月	ガーナ・アクラ	在ガーナ日本国大使館	242	6大学	24大学

9 オンラインでの取り組み

オンライン日本留学フェアの実施（2020年度）

（4か国に向け4回実施、参加者数総数：2,229名、日本の参加大学延べ総数：156校）

※アフリカの通信事情（動画視聴の制約）やスマートフォン利用者を考慮⇒各国毎のFacebookグループでのライブ配信とメールとオンデマンド配信



●ライブ配信（モーリシャス、南アフリカ）

参加者数：87名（モ）、635名（南ア） 日本の参加大学数：35校（モ）、43校（南ア）



●メールとオンデマンド配信（マダガスカル、エチオピア）

参加者数：760名（マ）、747名（エ） 日本の参加大学数：37校（マ）、41校（エ）

特定のプログラムを紹介する情報発信ウェビナーの実施（2020年度）

（計14か国、54の高校、参加者延べ総数：356名）

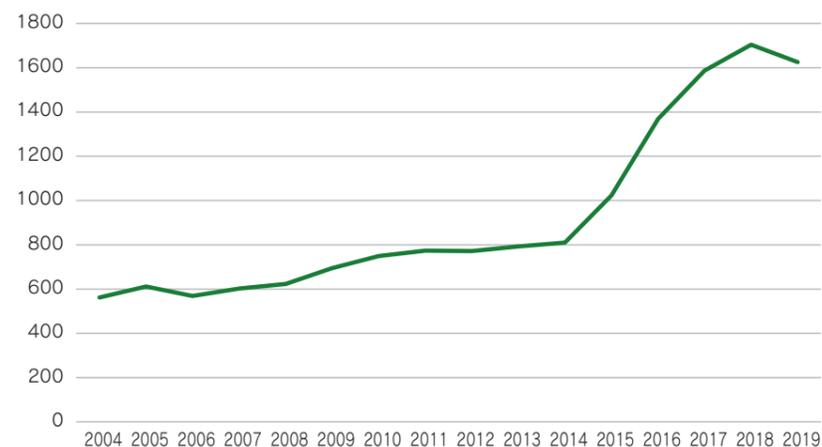
高校生を対象とした、各回1つの大学による学士課程プログラムを紹介するシリーズ（計3回）を実施

- 事前調査で得た、現地で人気の高い理系分野を紹介
- 日本の大学、アフリカ人留学生、及び現地の高校の担当者を交えて、対話型で活発な質疑応答を実現
- 現地の高校生と日本側の大学もライブで参加できる時間帯を考慮

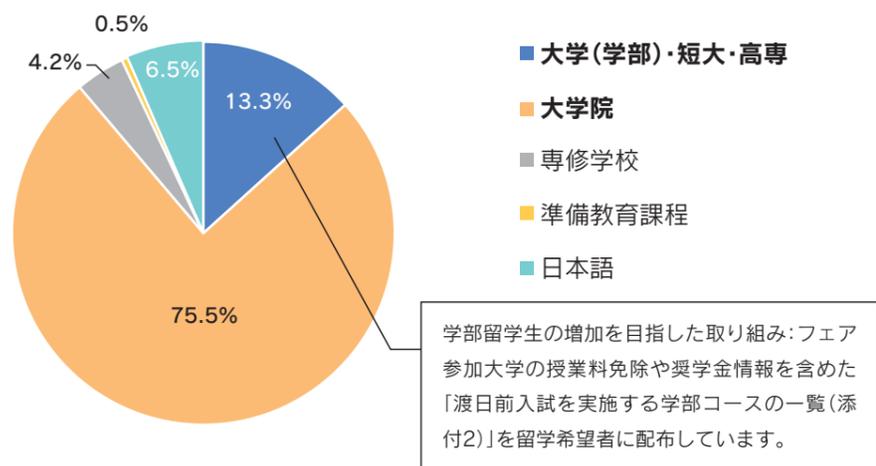


10 サブサハラ・アフリカから日本への留学生動向

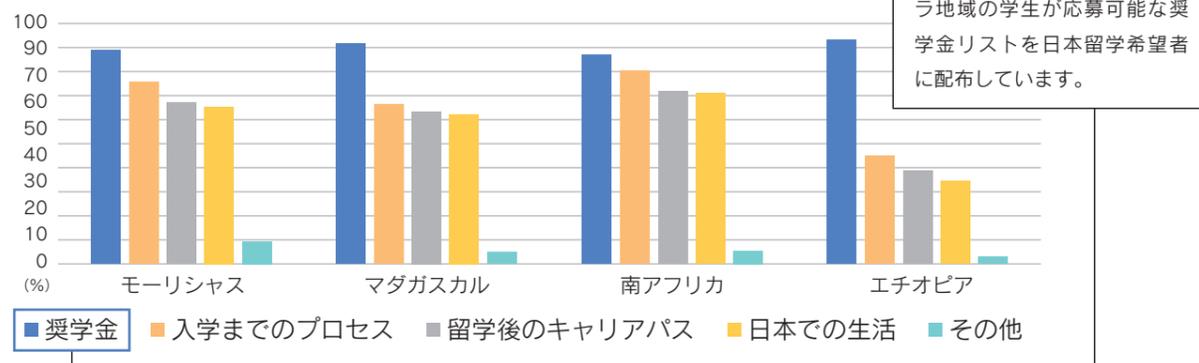
1 日本におけるサブサハラ・アフリカ留学生数の推移(JASSO 2020)



2 日本におけるサブサハラ・アフリカ留学生在学段階別(JASSO 2018)



3 留学希望者が日本留学に関して知りたい情報 (2020年度オンライン日本留学フェアのアンケート結果)



11 サブサハラ・アフリカにおける日本語学習の状況

サブサハラ・アフリカにおける日本語教育実施状況(国際交流基金2017)

機関数:68

(①ケニア31、②マダガスカル15、③コートジボワール7 等)

教師数:126人

(①ケニア48人、②マダガスカル28人、③コートジボワール15人)

学習者数:7,092人

(①コートジボワール2,662人、②マダガスカル1,537人、③ケニア1,107人)

日本語学習者は大幅増加傾向

各国の日本語教師会

エチオピア、ケニア、マダガスカル、ガーナ、コートジボワール等

日本語能力試験(JLPT)実施国

N2以上の合格者はあまり多くないのが現状

ケニア、マダガスカル、南アフリカ、ガーナ、コートジボワール、ベナン、コンゴ民主共和国

日本人日本語教育関係者

- 国際交流基金日本語専門家:
 - ケニヤッタ大学(ケニア)
- JICA海外協力隊:
 - ザンビア大学(ザンビア)
 - アンタナナリボ大学(マダガスカル)
 - ドドマ大学(タンザニア)
 - セント・トーマス大学(モザンビーク)
- 民間の日本人教師
 - アディスアベバ大学、
 - メケレ大学(エチオピア)
 - プレトリア大学(南アフリカ)
 - ベナン、コンゴ民主共和国、
 - ナイジェリア等

第1回アフリカ日本語教育会議 (2019年エチオピアで開催)におけるアフリカの参加国





■ サブサハラ地域

エチオピア連邦民主共和国 Federal Democratic Republic of Ethiopia

概況

国土の4割を占める高度1500m以上の土地に、人口の8割が暮らす。紀元数世紀から国家をもち、その古代の時代にエチオピア正教（独特のキリスト教）が生み出され、それらは今も信仰、使用されている。アフリカの多くが植民地化された19世紀後半も独立を保持。1974年に帝政が終わり、長い内戦の末、1991年に新政権が発足。宗教や文字に加え、穀物を発酵調理する主食など、ほかのサブサハラ・アフリカには見られない独特な文化を醸成している。

基本情報

- 首都：アディスアベバ
- 人口：109,224,559人（2018年）
- 面積：1,097,000km²（日本の約3倍）
- 言語：アムハラ語、オロモ語、英語など
- 宗教：キリスト教、イスラム教ほか
- 通貨：ブル（1US\$=32.94ブル 2020年4月）
- 主要産業：農業（コーヒー、豆類、種子油、穀物、綿など）、皮革、花卉
- 一人当たり国民総所得（GNI）推移：US\$130（1998年）→US\$790（2018年）
- 貧困率（国際貧困ライン）推移：61.2%（1999年）→30.8%（2015年）
- 乳幼児死亡率推移：94.2%（1998年）→39.1%（2018年）
- 成人識字率推移：35.9%（2004年）→51.8%（2017年）
- 電化率：全国44.3%、都市部96.6%、地方31%（2017年）
- 進出日系企業数：12社（2018年）
- 在留邦人数：204人（2018年）
- 在日エチオピア連邦民主共和国人数：447人（2019年）



教育制度概要

学校制度：8（初等教育）～4（中等教育）制
義務教育期間は6～13歳（初等教育）。初等教育は第1サイクル（Grade 1-4）と第2サイクル（Grade 5-8）、中等教育は普通課程（Grade 9-10）と大学・職業準備過程（Grade 11-12）に分かれる。教授言語は各州によって異なるが、第10学年（Grade 10）以降は英語で授業が行われる。高等教育は、2～3年間のディプロマ、3～6年間の学士課程、その後、2年間の修士課程、3年間の博士課程となる。

数字で見る教育の状況

- 初等教育総就学率：101%（2015年）
- 初等教育修了率：54.1%（2015年）
- 前期中等教育総就学率：34.9%（2015年）
- 前期中等教育修了率：29.5%（2015年）
- 後期中等教育総就学率：17.5%（2015年）
- 後期中等教育修了率：13.1%（2016年）
- 大学進学率：8.1%（2014年）
- International Baccalaureate（IB）が取得できる学校数：3（2020年）
- 海外留学比率（Outbound mobility ratio）：0.8%（2014年）
- 日本への留学生数：85人（2018年）
- エチオピアの大学と協定を持つ本邦大学数：13
- 海外への留学生総数：7,036人（2017年）
- 留学先トップ5：①アメリカ ②インド ③トルコ ④サウジアラビア ⑤イタリア（2017年）

日本語教育の状況

2019年現在、メケレ大学・アディスアベバ大学・Lycée Guebre-Mariam・自主勉強会の4機関で日本語教育を実施。メケレ大学の日本語講座開講は2008年。アディスアベバ大学では、8クラス、年間約40週間120時間授業を実施、2018年からの学習者総数は220名。2018年にエチオピア日本語教師会（JLTAE）が設立。2019年にJLTAE主催「第1回アフリカ日本語教育会議」（於：アディスアベバ）を開催。2021年から日本語能力試験を実施予定。

日本留学フェアの情報

2020年11月アディスアベバで開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止。代替案として2020年9月から10月にかけてオンラインにて開催。参加者747名。

過去の日本留学フェア開催

2017年9月アディスアベバ大学で開催（写真参照）
日本からの参加大学数：7
フェア参加者：約300名



2017年フェア会場となったラス・マコンネン・ホール（2019年草の根文化無償により修復工事完了）

ケニア共和国

Republic of Kenya

概況

英国植民地政策に抵抗し、1963年に独立した、英連邦加盟国。標高1700mにある冷涼な気候の首都ナイロビは、アフリカ有数の大都市で、国際機関の本部が置かれ、外国企業がアフリカに進出する際の玄関口であり、中間層も多い。国土8割にあたる半乾燥地帯には、多くの国立公園や保護区を持つ。豊富な野生動物を鑑賞できるサファリによる観光業は主要産業である。

基本情報

- 首都：ナイロビ
- 人口：51,393,010人(2018年)
- 面積：583,000km²(日本の約1.5倍)
- 言語：スワヒリ語、英語
- 宗教：統宗教、キリスト教、イスラム教
- 通貨：ケニア・シリング(1US\$=106.7KES 2020年5月)
- 主要産業：(農) コーヒー、紅茶、園芸作物、サイザル麻、綿花、(工) 食品加工、ビール、タバコ、セメント、(鉱) ソーダ灰、ほたる石
- 一人当たり国民総所得(GNI) 推移:US\$430(1998年) → \$1,620(2018年)
- 貧困率(国際貧困ライン) 推移:19.6%(1997年) → 36.8%(2015年)
- 乳幼児死亡率推移:67.8%(1998年) → 30.6%(2018年)
- 成人識字率推移:82.2%(2000年) → 81.5%(2018年)
- 電化率:全国63.8%、都市部81.1%、地方57.6%(2017年)
- 進出日系企業数:54社(2018年)
- 在留邦人数:685人(2018年)
- 在日ケニア共和国人数:778人(2019年)



教育制度概要

学校制度:8(初等)~4(中等)~4(高等)教育制
初等教育は2003年より無償化され、2010年に義務教育化、中等教育は2008年より無償化(通学制中等学校を対象)された。初等教育修了時はKCPE、中等教育はKCSEという全校共通の修了認定試験が実施され、各試験の成績により進学が決まる。高等教育は、大学の他、教員養成カレッジ、ポリテクニク及び各種高等職業訓練カレッジで行われる。大学進学率が2016年に10%を超えるようになった背景には、2012年まで大学数が33校であったが、2018年には74校とほぼ倍増したことが挙げられる。

数字で見る教育の状況

- 初等教育総就学率:103.2%(2016年)
- 初等教育修了率:99.7%(2016年)
- 前期中等教育総就学率:56.8%(2009年)
- 前期中等教育修了率:79.2%(2016年)
- 後期中等教育総就学率:-
- 後期中等教育修了率:42.3%(2014年)
- 大学進学率:11.5%(2017年)
- International Baccalaureate (IB) が取得できる学校数:7(2020年)
- 海外留学比率(Outbound mobility ratio):2.7%
- 日本への留学生数:195人(2019年)
- ケニアの大学と協定を持つ本邦大学数:27
- 海外への留学生総数:14,983人(2017年)
- 留学先トップ5:①アメリカ ②オーストラリア ③イギリス ④南アフリカ ⑤カナダ(2017年)

日本語教育の状況

ケニアにおける日本語教育は、民間団体の日本アフリカ文化交流協会(Japan Africa Culture Interchange Institute:JACII)が1975年に日本語クラスを開設したことに始まる。国立大学初の単位認定コースは、2004年にケニヤッタ大学外国語学科に日本語クラスが開設された。2006年より国際交流基金日本語専門家が派遣されている。2001年ケニア日本語教師会(JALTAK)設立。2004年第1回日本語弁論大会が開催され、2019年3月に第12回目が開催された。2018年は43機関で日本語教育が実施され、教師111名、2500名を超える学習者がいる。

日本留学フェアの情報

- 2023年開催予定
- 過去の日本留学フェア開催
- 2016年10月ナイロビで開催
日本からの参加大学数:7
フェア参加者:約500名
- 2019年9月ナイロビにて開催(写真参照)
日本からの参加大学数:9
フェア参加者:約270名



ウガンダ共和国

Republic of Uganda

概況

1962年にイギリスから独立し、軍事クーデターなどを経て1986年に現政権が樹立後、経済発展が進む。1995年には伝統的な王国の儀礼的復権が承認される。南部にナイル川の源流となる世界第3位の大湖ビクトリア湖が広がる。平均海拔1200mの高地で、豊富な水量と温暖な気候により、農業を主要産業とした。首都に立地するマケレレ大学は、東アフリカ地域で活躍する官僚、政治家たちを輩出してきた名門校。

基本情報

- 首都：カンバラ
- 人口：42,723,139人(2018年)
- 面積：241,000km²(ほぼ本州大)
- 言語：英語、スワヒリ語、ガンダ語
- 宗教：キリスト教(60%)、伝統宗教(30%)、イスラム教(10%)
- 通貨：ウガンダ・シリング(1US\$=3,781.09UGX 2020年4月)
- 主要産業：農林水産業、製造・建設業、サービス業等
- 一人当たり国民総所得(GNI) 推移:US\$290(1998年) → US\$620(2018年)
- 貧困率(国際貧困ライン) 推移:51.5%(2006年) → 41.7%(2016年)
- 乳幼児死亡率推移:94.2%(1998年) → 33.8%(2018年)
- 成人識字率推移:68.1%(2002年) → 76.5%(2018年)
- 電化率:全国22.0%、都市部57.0%、地方11.4%(2017年)
- 進出日系企業数:22社(2017年)
- 在留邦人数:311人(2017年)
- 在日ウガンダ共和国人数:666人(2019年)



教育制度概要

学校制度:7(初等)~4(前期中等)~2(後期中等)~3(高等)教育制
義務教育としての定めはない。UPE(Universal Primary Education)政策(初等教育無償化政策)、USE(Universal Secondary Education)政策(中等教育無償化政策)が実施されている。初等・中等教育のカリキュラムおよび補助教材は国立カリキュラム開発センターが作成する。初等教育終了時には初等学校卒業認定試験(PLE)、前期中等教育終了時はウガンダ教育資格(UCE、通称「Oレベル」)試験、後期中等教育終了時にはウガンダ上級教育資格(UACE、通称「Aレベル」)試験がそれぞれ行われる。

数字で見る教育の状況

- 初等教育総就学率:102.7%(2017年)
- 初等教育修了率:52.7%(2017年)
- 前期中等教育総就学率:24.6%(2007年)
- 前期中等教育修了率:26.4%(2017年)
- 後期中等教育総就学率:-
- 後期中等教育修了率:17.6%(2016年)
- 大学進学率:4.8%(2014年)
- International Baccalaureate (IB) が取得できる学校数:4(2020年)
- 海外留学比率(Outbound mobility ratio):3.2%(2014年)
- 日本への留学生数:81人(2019年)
- ウガンダの大学と協定を持つ本邦大学数:11
- 海外への留学生総数:5,834人(2017年)
- 留学先トップ5:①アメリカ ②イギリス ③南アフリカ ④ケニア ⑤サウジアラビア(2017年)

日本語教育の状況

ウガンダでの日本語教育は、1999年ごろマケレレ大学の教授夫人(日本人)により、同大学のLanguage Instituteにおいて、学生や社会人対象の公開講座によって開始された。2018年は、教師2名により2機関で日本語教育が行われ、35名が学習した。東亜大学はウガンダ・マーターズ大学における日本語教育講座の開講に協力している。

日本留学フェアの情報

- 2022年開催予定
- 過去の日本留学フェア開催
- 2018年2月
マケレレ大学共催で開催(写真参照)
日本からの参加大学数:4
フェア参加者:約170名



ルワンダ共和国

Republic of Rwanda

概況

ベルギーから1962年に独立後、主に民族集団の対立に起因して紛争が繰り返されてきたが、2000年代に入り政情が落ち着き始める。「千の丘の国」といわれるほど起伏の多い地形が特徴的で、マウンテンゴリラなど多様な野生動物が生息し、政府はエコツーリズムに力を入れている。経済再建により、ビジネスのしやすさや透明性に関して域内で常に上位にランクインする。国会議員に占める女性の割合が世界一高い。

基本情報

- 首都：キガリ
- 人口：12,301,939人（2018年）
※人口密度はアフリカでもっとも高い。
- 面積：26,300km²
- 言語：ルワンダ語、英語、フランス語、スワヒリ語
- 宗教：キリスト教（カトリック、プロテスタント）、イスラム教
- 通貨：ルワンダ・フラン（1US\$=946.8RWF 2020年5月）
- 主要産業：農業（コーヒー、茶等）
- 一人当たり国民総所得（GNI）推移：US\$260（1998年）→US\$780（2018年）
- 貧困率（国際貧困ライン）推移：672.1%（2006年）→55.5%（2016年）
- 乳幼児死亡率推移：117.0%（1998年）→27.0%（2018年）
- 成人識字率推移：64.9%（2000年）→73.2%（2018年）
- 電化率：全国34.1%、都市部84.8%、地方23.6%（2017年）
- 進出日系企業数：20社（2018年）
- 在留邦人数：134人（2017年）
- 在日ルワンダ共和国人数：89人（2019年）



教育制度概要

学校制度：6（初等）～3（前期中等）～3（後期中等）～4（高等）
教育制

義務教育期間は6歳～15歳。基礎教育期間は12年間である。2009年以降、教育で使用される言語は英語となり、初等教育から英語教育が義務化された。初等と前期中等教育の最終学期に全国統一試験が行われ、上位学年への進級（進学）者が選定される。後期中等最終学年で、毎年11月に国家試験が行われる。ICT立国を目指す政策によりデジタル教育「One-Laptop-Per-Child（OLPC）、子ども1人に1台のラップトップを」への投資と、マルチリンガル教育に力を入れている。

数字で見る教育の状況

- 初等教育総就学率：133.0%（2018年）
- 初等教育修了率：86.5%（2018年）
- 前期中等教育総就学率：40.9%（2018年）
- 前期中等教育修了率：36.8%（2018年）
- 後期中等教育総就学率：30.6%（2018年）
- 後期中等教育修了率：17.5%（2015年）
- 大学進学率：6.7%（2018年）
- International Baccalaureate（IB）が取得できる学校数：1（2020年）
- 海外留学比率（Outbound mobility ratio）：6.4%（2018年）
- 日本への留学生数：38人（2019年）
- ルワンダの大学と協定を持つ本邦大学数：6
- 海外への留学生総数：4,839人（2017年）
- 留学先トップ5：①アメリカ ②コンゴ ③フランス ④カナダ ⑤インド（2017年）

日本語教育の状況

JICA 青年海外協力隊員が日本文化紹介として日本語を生徒に教えたことがある。

日本留学フェアの情報

2022年開催予定

過去の日本留学フェア開催

2018年2月首都キガリにて開催（写真参照）
日本からの参加大学数：7（現地参加：2、オンライン：5）
フェア参加者：約1,000名



日本留学フェアの会場のルワンダ大学には約1,000名の参加があった。

*ルワンダから日本への留学生の多くは工学部に在籍している。その背景には、ルワンダ政府のICT立国を目指す政策との関連がある。ルワンダ政府（ICT省）は、神戸市とICT分野の経済交流やパートナーシップの強化に取り組んでいる。神戸市は神戸情報大学院大学と連携し、JICAプログラムを通じて、ルワンダにおけるICT人材育成の支援をしており、神戸情報大学院大学においてICTを学ぶルワンダ人留学生が多い（2018年は17名、2019年は10名が在籍）。

タンザニア連合共和国

United Republic of Tanzania

概況

1964年、大陸部のタンガニーカとインド洋沖のザンジバル島が合邦しタンザニア連合共和国が成立後「アフリカ型社会主義」が追及されたが、1985年以降経済自由化をはじめ、社会主義的政策が緩和される。アフリカ最高峰キリマンジャロ山、アフリカ最大ビクトリア湖、アフリカ最大水深タンガニーカ湖と自然が豊かで、国土の25%は動物・自然保護のために保存されている。

基本情報

- 首都：ドドマ ※事実上の首都機能を有し、経済面でも中心はダルエスサラーム
- 人口：56,318,348人（2018年）
- 面積：945,000km²（日本の約2.5倍）
- 言語：スワヒリ語（国語）、英語（公用語）
- 宗教：イスラム教、キリスト教、伝統宗教
- 通貨：タンザニア・シリング（1US\$=2,313.7TZS 2020年5月）
- 主要産業：農林水産、鉱業・製造・建設等、サービス
- 一人当たり国民総所得（GNI）推移：US\$270（1998年）→\$1,020（2018年）
- 貧困率（国際貧困ライン）推移：84.6%（2000年）→49.1%（2017年）
- 乳幼児死亡率推移：87.3%（1998年）→37.6%（2018年）
- 成人識字率推移：69.4%（2002年）→77.9%（2015年）
- 電化率：全国32.8%、都市部65.3%、地方16.8%（2017年）
- 進出日系企業数：27社（2019年）
- 在留邦人数：295人（2018年）
- 在日タンザニア連合共和国人数：443人（2019年）



教育制度概要

学校制度：7（初等）～4（前期中等）～2（後期中等）～3（高等）
教育制

義務教育期間は7歳～13歳で、無償化されている。初等教育から英語の授業がある。初等4年時に進級試験があり、7年時に全国統一試験がある。前期中等教育は、中学校（4年）、小学校教員養成学校（3年）、職業訓練校に分かれる。後期中等教育は高校（2年）、教育養成カレッジ、工業カレッジ（3年）等がある。後期中等教育修了時に試験があり、成績優秀者はナショナル・サービスという一種の兵役を1年間務めた後、大学その他に進む。自治権を持つ島嶼部のザンジバルには教育職業訓練省が設置され、学校体系が異なる。

数字で見る教育の状況

- 初等教育総就学率：94.2%（2018年）
- 初等教育修了率：68.7%（2018年）
- 前期中等教育総就学率：29.4%（2018年）
- 前期中等教育修了率：29.6%（2018年）
- 後期中等教育総就学率：7.1%（2018年）
- 後期中等教育修了率：8.2%（2015年）
- 大学進学率：4.0%（2015年）
- International Baccalaureate（IB）が取得できる学校数：6（2020年）
- 海外留学比率（Outbound mobility ratio）：2.8%（2015年）
- 日本への留学生数：77人（2019年）
- タンザニアの大学と協定を持つ本邦大学数：14
- 海外への留学生総数：7,046人（2017年）
- 留学先トップ5：①アメリカ ②インド ③イギリス ④マレーシア ⑤ケニア（2017年）

日本語教育の状況

日本語教育は2009年10月にドドマ国立大学人文学部で開設された日本語講座が始まりである。同年に選択科目としての日本語講座が開設され、翌2010年10月に日本語専攻プログラムが開設された。2013年に第1期生を輩出している。教師陣の不足により2016-17年度から日本語専攻は開設されず、選択必修科目の日本語講座のみ開講されている。JICA 青年海外協力隊員が、レクチャー2時間+セミナー1時間の週3時間×12週間（1セメスター）で指導している。タンザニア国内の日本語学習者は約100名（2018年）。

日本留学フェアの情報

2021年または2022年開催予定

過去の日本留学フェア開催

2016年2月ダルエスサラームで開催（写真参照）
日本からの参加大学数：4
フェア参加者：約350名



日本留学フェアはダルエスサラーム大学で開催され、国内の大学生や教職員に加え、ダルエスサラーム市内の高校生らの参加もあった。

マダガスカル共和国

Republic of Madagascar

概況

アフリカ大陸から400キロ離れたインド洋に浮かぶ島国で、アフリカ大陸とは異なる独特の生態系や文化をもつ。公用語のマダガスカル語は、東アジアに起源をもつとされ、かつてオセアニアからオーストロネシア系の民族集団が移住して言語を作ったとされる仮説が有力。マダガスカルを日本語で案内する教科書が作成されるほど観光を中心に日本との交流が盛んで、日本語学習者はサブサハラ・アフリカ第二位である。

基本情報

- 首都：アンタナナリボ
- 人口：26,262,368人(2018年)
- 面積：587,295km²(日本の約1.6倍)
- 言語：マダガスカル語、フランス語(共に公用語)
- 宗教：キリスト教、伝統宗教、イスラム教
- 通貨：アリアリ(1US\$=3,778.55MGA 2020年4月)
- 主要産業：農林水産業、鉱山業、観光業
- 一人当たり国民総所得(GNI)推移:US\$250(1998年)→US\$510(2018年)
- 貧困率(国際貧困ライン)推移:64.2%(1999年)→77.6%(2012年)
- 乳幼児死亡率推移:75.4%(1998年)→38.2%(2018年)
- 成人識字率推移:70.7%(2000年)→74.8%(2018年)
- 電化率:全国25.9%、都市部69.7%、地方0.02%(2018年)
- 進出日系企業数:13社(2018年)
- 在留邦人数:147人(2018年)
- 在日マダガスカル共和国人数:125人(2019年)



教育制度概要

学校制度:5(初等)~4(前期中等)~3(後期中等)制。
義務教育期間:6~10歳。公立初等学校の授業はフランス語で行われるが、マダガスカル語が併用されることもある。初等教育の授業料は無料。
後期中等学校卒業時にバカロレアを受験し、結果に応じて大学・専門学校への入学許可が与えられる。インターナショナル・スクール(高校)は、フランス系が4~5校、英語で授業を実施している学校が2校。大学は、フランスの大学制度を取り入れている場合もあり、2年を最短期間とし、3年又は4年で学士、5年で修士、7年で博士を授与される。

数字で見る教育の状況

- 初等教育総就学率:142.5%(2018年)
- 初等教育修了率:65.5%(2018年)
- 前期中等教育総就学率:36.5%(2018年)
- 前期中等教育修了率:37.0%(2018年)
- 後期中等教育総就学率:22.5%(2018年)
- 後期中等教育修了率:n/a
- 大学進学率:5.4%(2018年)
- International Baccalaureate (IB) が取得できる学校数:1(2020年)
- 海外留学比率(Outbound mobility ratio):3.2%(2018年)
- 日本への留学生数:45人(2018年)
- マダガスカルの大学と協定を持つ本邦大学数:4
- 海外への留学生総数:4,798人(2017年)
- 留学先トップ5:①フランス ②サウジアラビア ③モーリシャス ④モロッコ ⑤カナダ(2017年)

日本語教育の状況

1992年、アンタナナリボ大学に日本語コースが導入される。サブサハラ地域において、高等教育機関で日本語専攻を有するのはマダガスカルのみ。2018年の同大学日本語専攻者は150名。2019年現在、約20の日本語機関(中等教育:3公立校、高等教育:5校、ほか語学学校など)、教員数23名、1,500名を超える日本語学習者がいる。2011年にマダガスカル日本語教師会が設立され、2017年には東アフリカ日本語教育会議を主催。2013年から日本語能力試験を毎年実施。

日本留学フェアの情報

2020年9月に現地開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止。代替案として、同年9月オンラインにて開催。参加者760名。



2019年 アンタナナリボ大学日本語研究所(2015年草の根文化無償により建設)の前で現地の日本語教育を担うマダガスカル人教師とJICA青年海外協力隊員

モーリシャス共和国

Republic of Mauritius

概況

インド洋のマダガスカル島から約900km離れた無人島であったところを、オランダ、フランス、イギリスが順に植民地化。約400年の植民史を経て1968年に独立。民族構成が、インド系7割、クレオール(アフリカ系混血)2割に続き中国系3%、フランス系2%と、アジア系が卓越。国民1人当たりのGNIがアフリカ内の第2位(2018年)。

基本情報

- 首都：ポートルイス
- 人口：1,265,303人(2018年)
- 面積：2,040km²(ほぼ東京都大)
- 言語：英語(公用語)、仏語、クレオール語
- 宗教：ヒンズー教、キリスト教、イスラム教、仏教
- 通貨：モーリシャス・ルピー(1US\$=39.7MUR 2020年4月)
- 主要産業：輸出貿易地区(EPZ)における繊維工業、金融業、糖業、観光
- 一人当たり国民総所得(GNI)推移:US\$3,780(1998年)→\$12,050(2018年)
- 貧困率(国際貧困ライン)推移:0.4%*(2006年)→0.2%(2017年)
- 乳幼児死亡率推移:19.0%(1998年)→13.6%(2018年)
- 成人識字率推移:84.3%(2000年)→91.3%(2018年)
- 電化率:全国97.5%、都市部88.5%、地方100%(2019年)
- 進出日系企業数:3社(2019年)
- 在留邦人数:59人(2018年)
- 在日モーリシャス共和国人数:75人(2019年)



教育制度概要

学校制度:6(初等)~7(中等)~4(高等教育)制
英国の教育システムに基づく。義務教育期間は5歳~16歳(Grade 1-9に該当)。英語、フランス語教育はすべての学校で義務づけられる。

初等教育:初等教育証明書(CPE)取得で修了。
中等教育:3年目に国の検定試験(Form III)、5年目にケンブリッジ検定試験(SC/Oレベル)を受け、合格すると、さらに2年間教育を受け、大学進学のための検定試験(HSC/Aレベル)を受ける。

※初等学校から大学まで公立であれば学費無料

数字で見る教育の状況

- 初等教育総就学率:101.1%(2018年)
- 初等教育修了率:100.8%(2018年)
- 前期中等教育総就学率:95.1%(2018年)
- 前期中等教育修了率:86.8%(2018年)
- 後期中等教育総就学率:82.4%(2018年)
- 後期中等教育修了率:n/a
- 大学進学率:40.6%(2017年)
- International Baccalaureate (IB) が取得できる学校数:5(2020年)
- 海外留学比率(Outbound mobility ratio):22%(2017年)
- 日本への留学生数:6人(2018年)
- 海外への留学生総数:8,663人(2017年)
- 留学先トップ5:①オーストラリア ②フランス ③イギリス ④マレーシア ⑤セネガル(2017年)

日本語教育の状況

組織だった日本語教育はされていない。一方、日本文化を通して日本語に興味を持った人がオンラインで独学している。2019年末に、日本の大学で英語教師として20年以上の指導経験のあるモーリシャス人が日本語会話教室を開始したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で2020年3月以降は活動休止の状況である。

日本留学フェアの情報

2020年9月に首都ポートルイスにて開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止。代替案として、2020年8月下旬オンラインにて開催した。参加者87名。
また、同オンラインフェア後に、在モーリシャス日本大使館主催の日本留学フォローアップセミナーが開催され、25名の参加があった。
*2020年2月に在モーリシャス日本大使館が現地の大学(African Leadership University:ALU)と協力し、日本留学経験者が体験談を語るイベントを実施。



2019年9月モーリシャス大学で開催されたイベント「教えて、日本！」(在モーリシャス日本国大使館提供)

南アフリカ共和国

Republic of South Africa

概況

鉱物資源の世界的な産地で、ナイジェリアと双璧をなすアフリカ経済大国であり、アフリカ唯一のG20参加国。世界的な宇宙コンソーシアムにも参画し、アフリカ大陸の科学技術を牽引。サブサハラ・アフリカ大陸における大学の上位5校は南アフリカに所在する。かつては人種隔離政策（アパルトヘイト）で知られていたが、近年はアフリカ大陸における紛争解決や平和の定着に取り組んでいる。

基本情報

- 首都：プレトリア
- 人口：57,779,622人（2018年）
- 面積：1,220,000km²（日本の3.2倍）
- 言語：英語、ズールー語、アフリカーンス語など11言語が公用語
- 宗教：キリスト教約80%、ヒンズー教、イスラム教など
- 通貨：ランド（1US\$=16.69ランド 2020年3月）
- 主要産業：畜業、メイズ、金、プラチナ、食品、製鉄など
- 一人当たり国民総所得（GNI）推移：US\$3,230（1998年）→\$5,750（2018年）
- 貧困率（国際貧困ライン）推移：36.6%（1996年）→18.9%（2014年）
- 乳幼児死亡率推移：47.8%（1998年）→28.5%（2018年）
- 成人識字率推移：82.4%（1996年）→87%（2017年）
- 電化率：全国84.4%、都市部93.5%、地方66.9%（2017年）
- 進出日系企業数：282社（2017年）
- 在留邦人数：282人（2017年）
- 在日南アフリカ共和国人数：988人（2019年）



教育制度概要

学校制度：6（初等）～3（前期中等）～3（後期中等）～4（高等教育）

義務教育は初等から前期中等教育までの計9年間で、各年度は4学期制である。初等4年生（Grade 4）から全授業が英語で実施される。貧困地域の保護者は授業料の支払いを免除される仕組みとなっている。

後期中等教育の最終学年（日本の高校3年生に相当）にマトリック（Matric）と呼ばれる全国统一修了試験が行われる。マトリックの結果により後期中等教育課程修了の可否が決まると同時に、定められた科目で一定以上の成績を修めれば大学入学の資格を得ることになる。

数字で見る教育の状況

- 初等教育総就学率：100.9%（2016年）
- 初等教育修了率：87.3%（2016年）
- 前期中等教育総就学率：104.7%（2017年）
- 前期中等教育修了率：80.8%（2016年）
- 後期中等教育総就学率：106.1%（2017年）
- 後期中等教育修了率：48.5%（2016年）
- 大学進学率：22.4%（2017年）
- International Baccalaureate (IB) が取得できる学校数：3（2020年）
- 海外留学比率（Outbound mobility ratio）：0.7%（2017年）
- 日本への留学生数：66人（2019年）
- 南アフリカの大学と協定を持つ本邦大学数：29
- 海外への留学生総数：8,068人（2017年）
- 留学先トップ5：①アメリカ ②イギリス ③オーストラリア ④ドイツ ⑤カナダ（2017年）

日本語教育の状況

2013年にプレトリア大学日本研究センター（Centre for Japanese Studies：CJS）にて学生及び社会人を対象とした日本語講座が開講。日本人の日本語講師のもと、年2回基礎コースと応用コースがそれぞれ週2時間、15週で30時間実施。2019年度は約60名が学習している。

南アフリカでの日本語学習希望者は多く、現在国際交流基金の協力を得てオンラインコースが検討されている。2014年から、日本語能力試験（JLPT）が実施されている。

日本留学フェアの情報

2020年9月に現地開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。代替案として、同年9月にオンラインにて開催し、参加者は635名。

過去の日本留学フェア開催

- 2018年9月ケープタウンにて現地4大学共催
日本からの参加大学数：9
フェア参加者：約140名
- 2019年5月プレトリアにて開催（写真参照）
日本からの参加大学数：12
フェア参加者：297名



ザンビア共和国

Republic of Zambia

概況

元英国領北ローデシアであり、東京オリンピック閉会式当日の1964年10月24日に独立宣言された。独立後、戦争や内戦はなく、世界平和指数ランキングにおいて、アフリカで最も平和な国の一つとして評価されている。8か国に隣接する内陸国。北部は「カッパーベルト」と呼ばれる銅、コバルトや亜鉛などの世界的産地。世界三大瀑布のひとつビクトリアの滝がある。

基本情報

- 首都：ルサカ
- 人口：17,351,822人（2018年）
- 面積：752,610km²（日本の2倍）
- 言語：英語（公用語）、ベンバ語、ニャンジャ語、トンガ語
- 宗教：キリスト教、イスラム教、ヒンドゥー教、伝統宗教
- 通貨：ザンビア・クワチャ（1US\$=18.76ZMW 2020年8月）
- 主要産業：鉱業（銅、コバルト）、農業（トウモロコシ、タバコ、綿花、大豆）、観光
- 一人当たり国民総所得（GNI）推移：US\$360（1998年）→\$1,430（2018年）
- 貧困率（国際貧困ライン）推移：64.3%（2004年）→57.5%（2015年）
- 乳幼児死亡率推移：101.1%（1998年）→40.4%（2018年）
- 成人識字率推移：68.0%（1999年）→86.7%（2018年）
- 電化率：全国40.3%、都市部75.2%、地方14.0%（2017年）
- 進出日系企業数：10社（2019年）
- 在留邦人数：252人（2018年）
- 在日ザンビア共和国人数：151人（2019年）



教育制度概要

学校制度：7（初等）～5（中等）～4（高等）教育制。初中等の12年間をGrade 1-12（G1-12）。

初等教育7年間は、義務及び無償化教育の対象。G5時に現地語から英語での授業に切り替わる。G7、G9、G12の修了時に全校共通の修了認定試験が実施され、試験結果は進学・進級を左右する。授業は試験に必要な数学、英語、科学、社会等に重点が置かれている。中等教育では、科学は物理・化学・生物に分かれ、簿記、農業なども教科に加わる。近年、大学入学希望者が急増しており、対策として私立大学数が急増しているものの、施設等のインフラ整備が不十分であり、かつ教員の確保も課題となっている。

数字で見る教育の状況

- 初等教育総就学率：98.7%（2017年）
- 初等教育修了率：80.0%（2013年）
- 前期中等教育総就学率：-
- 前期中等教育修了率：54.8%（2013年）
- 後期中等教育総就学率：-
- 後期中等教育修了率：28.5%（2013年）
- 大学進学率：4.1%（2012年）
- International Baccalaureate (IB) が取得できる学校数：2（2020年）
- 海外留学比率（Outbound mobility ratio）：8.7%（2012年）
- 日本への留学生数：64人（2019年）
- ザンビアの大学と協定を持つ本邦大学数：12
- 海外への留学生総数：5,321人（2017年）
- 留学先トップ5：①南アフリカ ②インド ③アメリカ ④イギリス ⑤ナミビア（2017年）

日本語教育の状況

2013年に北海道大学アフリカルサカオフィスの協力を受けて、ザンビア大学内に日本語講座が開講された。日本の大学院に留学経験のある人文科学部の講師が中心となり日本語教育を行っている。また国際交流基金やJICA青年海外協力隊から日本語教師が派遣され、授業内容の充実やレベルの向上を図っている。

日本語学習の年間受講者数は、ザンビア大学の正規課程（人文科学部の単位取得用コース）の学部生と一般公開用のクラス受講生を合わせて、2017年に100名以上となり、2018年と2019年はそれぞれ年間150名以上が日本語を学ぶ状況となっている。日本語能力試験に関しては未だ実施されていない。

日本留学フェアの情報

2023年開催予定

過去の日本留学フェア開催

- 2015年3月ルサカ（ザンビア大学）で開催（写真参照）
- 日本からの参加大学・機関数：1
- フェア参加者：約230名



ジンバブエ共和国

Republic of Zimbabwe

概況

国名はシヨナ語で「石の家」を意味し、この地に栄えたモノモタバ王国の巨大遺跡に由来する。雄大な自然と観光資源、豊富な鉱物資源に恵まれている。かつては「アフリカの穀物倉庫」と呼ばれる農業国だったが、強引な土地改革による農業システムの崩壊など悪条件が重なり、ハイパーインフレーションによる極度の混乱に陥った過去もある。

基本情報

- 首都：ハラレ
- 人口：14,439,018人(2018年)
- 面積：386,000km²(日本よりやや大きい)
- 言語：英語、シヨナ語、ンデベレ語
- 宗教：キリスト教、伝統宗教
- 通貨：ジンバブエ・ドル(1US\$=361.9ZWD 2020年6月)
- 主要産業：(農) たばこ、綿花、園芸、(鉱) プラチナ、クロム、ニッケル、金、ダイヤモンド(観光) ビクトリアの滝や遺跡等世界遺産5か所
- 一人当たり国民総所得(GNI) 推移:US\$620(1998年) → \$1,790(2018年)
- 貧困率(国際貧困ライン) 推移:21.4%(2011年) → 33.9%(2017年)
- 乳幼児死亡率推移:59.9%(1998年) → 33.9%(2018年)
- 成人識字率推移:83.6%(2011年) → 88.7%(2014年)
- 電化率:全国40.4%、都市部85.6%、地方18.9%(2017年)
- 進出日系企業数:3社(2017年)
- 在留邦人数:98人(2018年)
- 在日ジンバブエ共和国人数:198人(2019年)



教育制度概要

学校制度:7(初等)~4(前期中等)~2(後期中等)~3(高等)教育制

義務教育制度はないが、「2004年教育法」で6~13歳の7年の就学が目標とされている。

初等教育は6歳入学で7年間、初等学校で行われ、英語、国語、外国語(中国語、フランス語、ポルトガル語)のほか伝統学、数学、科学を学ぶ。実技科目として、農業、芸術、体育もある。修了者には第7学年修了証が付与される。

前期中等教育の修了者にはGCE・Oレベル資格が付与される。後期中等教育の修了者にはGCE・Aレベル資格が付与される。

数字で見る教育の状況

初等教育総就学率:101%(2015年)

初等教育修了率:54.1%(2015年)

前期中等教育総就学率:34.9%(2015年)

前期中等教育修了率:29.5%(2015年)

後期中等教育総就学率:17.5%(2015年)

後期中等教育修了率:13.1%(2016年)

大学進学率:8.1%(2014年)

International Baccalaureate (IB) が取得できる学校数:3(2020年)

海外留学比率(Outbound mobility ratio):0.8%(2014年)

日本への留学生数:85人(2018年)

エチオピアの大学と協定を持つ本邦大学数:13

海外への留学生総数:7,036人(2017年)

留学先トップ5:①アメリカ ②インド ③トルコ ④サウジアラビア ⑤イタリア(2017年)

日本語教育の状況

クーラ研究所(Khula Institute)が、日本語と日本文化を理解するアフリカ人材の育成を目指し、2018年よりジンバブエ南西部にある都市・ブラワヨで日本語教育を実施している。Beginners for Japanese(はじめての日本語)は、2時間の授業が週2回が行われ、1年間で初心者レベルの日本語会話、読み、書きを習得し、JLPT N5レベルまたはCambridge International ExaminationsのJapanese O Level取得を目指す内容である。

ジンバブエ国内の日本語学習者数は15名。日本人教師が1名配置されている(2018年)

日本留学フェアの情報

2022年開催予定

過去の日本留学フェア開催

*ジンバブエはサブサハラ・アフリカ諸国の中でナイジェリア、カメルーンに次いで海外への留学生を輩出する国である。学生100人当たりの海外留学比率が高く、2011年は31.3%に達している。他方、学生の留学先の半数以上が、南アフリカやナミビア等へのサブサハラ域内の留学であり、それ以外は、米国、オーストラリア、英国への留学先が多い。

ジンバブエから日本への留学生数は、年々増加傾向にあり、他のサブサハラ・アフリカ諸国に比べて、学部への留学生が多いのが特徴である。東京外語大学は南部アフリカ有数の総合大学であるジンバブエ大学(写真参照)と学術交流協定を締結している。



モザンビーク共和国

Republic of Mozambique

概況

国名は16世紀バスコ・ダ・ガマが寄港した小島の港名「モザンブコ」(先住民の言葉で「船の集まる所、停泊地」の意味)に由来する。インド洋に面し、美しい海岸線が魅力。生活様式はアフリカ、アラブ、ポルトガルの影響を受けた文化の融合が特徴。近年原料炭や天然ガスなど豊富な鉱物資源が確認され、農業の開発ポテンシャルも期待されている。

基本情報

- 首都：マプト
- 人口：29,495,962人(2018年)
- 面積：799,000km²(日本の2倍)
- 言語：ポルトガル語
- 宗教：キリスト教約40%、イスラム教約20%、伝統宗教
- 通貨：メティカル(1US\$=69.69MZN 2020年6月)
- 主要産業：(農林)とうもろこし、砂糖、カシューナッツ、綿花、たばこ、砂糖、木材、(漁)エビ、(工鉱)アルミニウム、石炭、天然ガス
- 一人当たり国民総所得(GNI) 推移:US\$310(1998年) → \$460(2018年)
- 貧困率(国際貧困ライン) 推移:74.7%(2003年) → 62.9%(2014年)
- 乳幼児死亡率推移:125.9%(1998年) → 54.0%(2018年)
- 成人識字率推移:38.7%(1997年) → 60.7%(2017年)
- 電化率:全国27.4%、都市部73.4%、地方2.2%(2017年)
- 進出日系企業数:29社(2017年)
- 在留邦人数:195人(2018年)
- 在日モザンビーク共和国人数:133人(2019年)



教育制度概要

学校制度:7(初等)~5(中等)~4(高等)教育制

義務教育期間は初等教育の7年。初等教育は、前期5年(EP1)と後期2年(EP2)に分かれ、公式入学規定年齢は6歳。前期および後期課程修了時には全国試験が課される。中等教育は中等学校と職業技術学校にて行われる。中等学校は前期3年(ESG1)、後期2年(ESG2)に分かれ、各課程の終了時には試験が実施され、それぞれ修了証が付与される。

職業技術学校は基礎と中級課程が置かれ、前者の修了者には基礎職業技術教育修了証(ETP基礎修了証)、後者には中級職業技術教育修了証(ETP中級修了証)が付与される。

数字で見る教育の状況

初等教育総就学率:112.6%(2018年)

初等教育修了率:52.0%(2018年)

前期中等教育総就学率:35.4%(2017年)

前期中等教育修了率:22.8%(2017年)

後期中等教育総就学率:31.2%(2017年)

後期中等教育修了率:-

大学進学率:7.3%(2018年)

International Baccalaureate (IB) が取得できる学校数:4(2020年)

海外留学比率(Outbound mobility ratio):1.5%(2018年)

日本への留学生数:69人(2018年)

モザンビークの大学と協定を持つ本邦大学数:6

海外への留学生総数:2,967人(2017年)

留学先トップ5:①ポルトガル ②南アフリカ ③ブラジル ④インド ⑤サウジアラビア(2017年)

日本語教育の状況

2016年在住ボランティア(IT講師)が日本語クラブを作り、日本語指導・絵本の翻訳などの活動を行った。

2018年、JICAシニアボランティアがモザンビーク聖トマス大学(Universidade São Tomás de Moçambique)に派遣され、日本語コースを開講。大学内部生向けに1コマ90分×週1回、5クラス実施されている。2021年度から選択外国語科目に加わる予定である。

外部生向けには、平日および土曜日のコースがある。学習者は初中級レベルで、計109名いる。漫画やアニメ等の日本のポップカルチャーが浸透しつつあり、日本語への関心が高まっている。

日本留学フェアの情報

2021年または2022年開催予定

*2016年~2018年の3年間は毎年約80名の日本への留学生がいた。モザンビーク国内の大学と協定を持つ愛媛大学や秋田大学等において、多くのモザンビークの留学生を受け入れている。特に、愛媛大学はモザンビーク北部のルリオ大学キャンパス内にサテライトオフィスを設置し、専任教員を長期に派遣し、学術交流を活発に展開している(写真参照)。



ナイジェリア連邦共和国

Federal Republic of Nigeria

概況

ナイジェリアは国を流れるニジェール川を英語読みしたもので「大きな川の国」という意味。世界有数の産油国。アフリカ屈指の経済大国で、アフリカ経済の4分の1を占める規模を持つ。映画産業が盛んで、年間制作本数はインドに次ぐ世界第2位であり、ナイジェリア映画はアメリカのハリウッドにちなんで「ノリウッド(Nollywood)」として国際的に定着しつつある。

基本情報

- 首都：アブジャ
- 人口：195,874,740人(2018年)
- 面積：923,773km²(日本の約2.5倍)
- 言語：英語(公用語)、各民族語(ハウサ語、ヨルバ語、イボ語等)
- 宗教：イスラム教、キリスト教、伝統宗教
- 通貨：ナイラ(1US\$=385.2NGN 2020年4月)
- 主要産業：農業、原油、天然ガス通信等
- 一人当たり国民総所得(GNI)推移:US\$440(1998年)→\$1,960(2018年)
- 貧困率(国際貧困ライン)推移:63.1%(2004年)→53.5%(2009年)
- 乳幼児死亡率推移:116.5%(1998年)→75.7%(2018年)
- 成人識字率推移:54.8%(2003年)→62.0%(2018年)
- 電化率:全国54.4%、都市部86.8%、地方22.6%(2017年)
- 進出日系企業数:42社(2018年)
- 在留邦人数:127人(2018年)
- 在日ナイジェリア連邦共和国人数:3,121人(2019年)



教育制度概要

学校制度:6(初等)～3(前期中等)～3(後期中等)～4(高等教育)

6歳～15歳の9年間は基礎教育と位置づけ、無償義務教育とされる。前期中等学校3年時に選定試験が行われる。後期中等教育は、普通教育を行う後期中等学校、技術教育を行う技術カレッジで行われる。後期中等学校では、修了時に全国统一修了試験があり、合格者には後期中等教育修了証(SSCE)が授与される。高等教育は、大学、ポリテクニク、教員養成カレッジなどで行われる。大学数は、国立(連邦)が40校、州立も同様に約40校、私立が50校以上ある。アフリカ諸国の中で最も多くの高等教育機関がある。

数字で見る教育の状況

- 初等教育総就学率:84.7%(2016年)
- 初等教育修了率:73.8%(2010年)
- 前期中等教育総就学率:42.0%(2016年)
- 前期中等教育修了率:47.1%(2010年)
- 後期中等教育総就学率:38.6%(2016年)
- 後期中等教育修了率:59.3%(2016年)
- 大学進学率:10.2%(2011年)
- International Baccalaureate (IB) が取得できる学校数:5(2020年)
- 海外留学比率(Outbound mobility ratio):3.8%(2011年)
- 日本への留学生数:151人(2019年)
- ナイジェリアの大学と協定を持つ本邦大学数:14
- 海外への留学生総数:85,251人(2017年)
- 留学先トップ5:①イギリス ②アメリカ ③マレーシア ④カナダ ⑤ガーナ(2017年)

日本語教育の状況

国費留学生OBが中心となり、アブジャ大学日本文化研究会が2015年に結成されて日本語教育が開始されている。2017年1月、NGO「アフリカ女性・子供を守る友の会(Supporting Women and Children in Africa:SWACIA)」の協力のもと、首都アブジャ郊外の私立ファウンテン小学校(本校及び分校)にて、週2回、小学校3年生から6年生を対象とした日本語教育が開始された。SWACIAは現在、オンラインで日本語の教授法、日本語教育を実施している。

日本留学フェアの情報

2022年開催予定



2017年9月ナイジェリア南部のエド州ベニンシティで開催されたシンポジウムで「日本留学海外拠点連携推進事業」の活動をナイジェリアの大学関係者に紹介。

*これまでサブサハラ・アフリカからの日本への留学生数は長らくケニアがトップを保ってきたが、日本語学校への留学生を含めた場合は、2019年はナイジェリアがケニアを抜いている。ナイジェリアの特徴として、国費(MEXT)やJICA奨学金以外の留学生が増加しており、また(1年以内)短期留学生や日本語学校への留学生も多い。

ガーナ共和国

Republic of Ghana

概況

1957年、サブサハラ・アフリカにおいてヨーロッパの植民地支配から最初に独立した国家。初代大統領ンクルマは、アフリカ統一運動を推進したことで有名。ダイヤモンドや金の産出国。チョコレートの主原料であるカカオ豆の生産量は世界第2位。2007年に海底大油田が発見される。その後石油や天然ガスの商業生産が開始され、産油国の仲間入りをする。

基本情報

- 首都：アクラ
- 人口：29,767,108人(2018年)
- 面積：238,537km²(日本の約3分の2)
- 言語：英語(公用語)、各民族語
- 宗教：キリスト教70%、イスラム教17%、その他伝統的宗教
- 通貨：ガーナセディ(1US\$=5.72GHS 2019年12月)
- 主要産業：農業(カカオ豆)、鉱業(貴金属、非鉄金属、石油)
- 一人当たり国民総所得(GNI)推移:US\$390(1998年)→\$2,130(2018年)
- 貧困率(国際貧困ライン)推移:39.1%(1998年)→13.3%(2016年)
- 乳幼児死亡率推移:68.9%(1998年)→34.9%(2018年)
- 成人識字率推移:57.9%(2000年)→79%(2018年)
- 電化率:全国79%、都市部90%、地方65%(2017年)
- 進出日系企業数:48社(2018年)
- 在留邦人数:351人(2018年)
- 在日ガーナ人数:2,369人(2019年)



教育制度概要

学校制度:6(初等)～3(前期中等)～3(後期中等)～4(高等教育)

初等教育および前期中等教育は義務教育(無償)。初等教育(主に高学年)から英語で授業が行われる。後期中等教育への進学は前期中等教育終了時に実施される基礎教育修了資格試験、大学を含む高等教育への進学は後期中等教育修了資格試験(West African Senior School Certificate Examination:WASSCE)の成績によって進学の可否および進学先が決定される。WASSCEは、英語圏西アフリカ地域において標準化された統一試験である。

数字で見る教育の状況

- 初等教育総就学率:103.6%(2018年)
- 初等教育修了率:93.8%(2018年)
- 前期中等教育総就学率:85.4%(2018年)
- 前期中等教育修了率:78%(2018年)
- 後期中等教育総就学率:56.4%(2018年)
- 後期中等教育修了率:44.9%(2015年)
- 大学進学率:15.7%(2018年)
- International Baccalaureate (IB) が取得できる学校数:6(2020年)
- 海外留学比率(Outbound mobility ratio):3.6%(2018年)
- 日本への留学生数:141人(2018年)
- ガーナの大学と協定を持つ本邦大学数:17
- 海外への留学生総数:14,622人(2017年)
- 留学先トップ5:①アメリカ ②イギリス ③ウクライナ ④セネガル ⑤カナダ(2017年)

日本語教育の状況

ガーナ日本語教師会(Ghana Association of Japanese Language Teachers:GAJALT)が2018年に発足。ガーナ大学附属レゴン国際関係学センター(LECIAD)やアクラ市内の学校等の計5カ所で日本語クラスが実施されている。3名のガーナ人日本語教師(日本留学経験者)がいる。2017年度の日本語学習を目的としたガーナ人の日本への留学生数は10名。

日本留学フェアの情報

2020年5月にアクラ(ガーナ大学)にて開催予定していたが、延期・日程未定。

過去の日本留学フェア開催

2019年11月に在ガーナ日本国大使館共催で開催(写真参照)。
日本からの参加大学数:6
フェア参加者:242名
(会場の規模都合により参加者事前登録制)
2017年5月にガーナ大学共催で開催
日本からの参加大学数:7
フェア参加者:450名(自由参加)



コートジボワール共和国

Republic of Cote d'Ivoire

概況

西アフリカに位置する共和制国家。かつては「象牙海岸共和国」と呼ばれていた。1960年の独立後、初代大統領の下30年以上にわたる安定した政権運営と年平均8%の経済成長を達成し、その発展は「象牙の奇跡」と形容された。クーデターのない高い政治的安定性から、西アフリカ地域での指導的役割を担ったが、2003年～2011年まで内戦があった。

基本情報

- 首都：ヤムスクロ（実質的首都機能は旧首都アビジャン）
- 人口：25,069,229人（2018年）
- 面積：322,436km²（日本の0.9倍）
- 言語：フランス語（公用語）、各民族語
- 宗教：キリスト教39.1%、イスラム教33.7%、伝統的宗教4.4%、無宗教22.2%、その他の宗教0.6%
- 通貨：CFAフラン（1US\$=603.44CFAフラン 2020年4月）
- 主要産業：農業（コーヒー、ココア等）、石油・天然ガス
- 一人当たり国民総所得（GNI）推移：US\$760（1998年）→\$1,600（2018年）
- 貧困率（国際貧困ライン）推移：23.3%（2002年）→28.2%（2015年）
- 乳幼児死亡率推移：100.7%（1998年）→59.4%（2018年）
- 成人識字率推移：36.4%（1998年）→47.2%（2018年）
- 電化率：全国65.6%、都市部94.3%、地方36.6%（2017年）
- 進出日系企業数：12社（2017年）
- 在留邦人数：156人（2018年）
- 在日コートジボワール共和国人数：157人（2019年）



教育制度概要

学校制度：6（初等）～4（前期中等）～3（後期中等）～3（高等）教育制

義務教育は、6歳～16歳の10年間。小、中とも成績優秀者を1年飛び越えて進級することが可能。また成績が悪い者は進級できずに留年し、同じ学年で学習となる。

小学校修了時には、初等教育修了証（CEPE）が、中学校（コレージュ）修了時には前期中等教育修了証（BEPC）が授与される。高等学校（リセ）修了時には、中等教育修了資格及び高等教育入学資格であるバカロレアを取得する。高等教育機関への入学に際しては、バカロレアの取得が必要である。

数字で見る教育の状況

- 初等教育総就学率：99.8%（2018年）
- 初等教育修了率：71.6%（2017年）
- 前期中等教育総就学率：51.0%（2018年）
- 前期中等教育修了率：49.4%（2018年）
- 後期中等教育総就学率：32.5%（2018年）
- 後期中等教育修了率：15.7%（2016年）
- 大学進学率：9.3%（2017年）
- International Baccalaureate (IB) が取得できる学校数：3（2020年）
- 海外留学比率（Outbound mobility ratio）：6.3%（2017年）
- 日本への留学生数：28人（2019年）
- コートジボワールの大学と協定を持つ本邦大学数：2
- 海外への留学生総数：13,674人（2017年）
- 留学先トップ5：①フランス ②アメリカ ③セネガル ④モロッコ ⑤カナダ（2017年）

日本語教育の状況

1994年から日本語教育が開始される。2002年から一旦中断したが、2016年から再開された。2019年はアビジャン、ヤムスクロ、ブアケの計7機関で日本語授業が行われ、学習者数は2,500人を超える。教師数は15名である。公立アラサン・ウワタラ・ブアケ大学などにおいて、外国語の選択科目として日本語授業が行われている。

2016年から日本語能力試験が実施されている。2019年はN2:2名、N3:5名、N4:8名、N5:16名と計31名が試験に臨んだ。

2018年に The Association of Japanese Teachers in Côte d'Ivoire (AJTCI) が設立された。

日本留学フェアの情報

2020年5月14日にアビジャンにて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期。2021年または2022年開催予定

過去の日本留学フェア開催

無し。
* 2020年5月～7月にかけて、現地のコートジボワール人日本語教師会の協力を得て、国営テレビとラジオ局で日本留学の広報（写真参照）、および日本留学希望者600名にメールベースで計7回の情報発信を行った。



セネガル共和国

Republic of Senegal

概況

アフリカ大陸の最西端に位置し、サヘル地域に属する。国名はウォロフ語で「我々のカヌー」を意味する「Sunuu Gaal」に由来する。漁業が盛んで、タコや魚は日本にも輸入されている。主要食物は米。「おもてなし」という精神が根付いている。アフリカ随一の治安の良さを誇る。

基本情報

- 首都：ダカール
- 人口：15,854,360人（2018年）
- 面積：197,161km²（日本の約半分）
- 言語：フランス語（公用語）、ウォロフ語など各民族語
- 宗教：イスラム教、キリスト教、伝統的宗教
- 通貨：CFAフラン（1US\$=608.5XAF 2020年5月）
- 主要産業：農業（落花生、粟、綿花）、漁業（まぐろ、かつお、えび）
- 一人当たり国民総所得（GNI）推移：US\$680（1998年）→\$1,410（2018年）
- 貧困率（国際貧困ライン）推移：33.5%（2005年）→38.0%（2011年）
- 乳幼児死亡率推移：71.3%（1998年）→31.8%（2018年）
- 成人識字率推移：39.3%（2002年）→51.9%（2017年）
- 電化率：全国61.7%、都市部91.7%、地方35.4%（2017年）
- 進出日系企業数：17社（2018年）
- 在留邦人数：17人（2018年）
- 在日エチオピア連邦民主共和国人数：742人（2019年）



教育制度概要

学校制度：6（初等）～4（前期中等）～3（後期中等）～4（高等）教育制

義務教育期間は6～16歳の10年間。義務教育課程の授業料は無料。

初等教育（小学校、エコールプリメール）および前期中等教育（中学校、コレージュ）終了時には国が試験を行う。合格者には初等教育修了証（CFEE）または前期中等教育修了証（BFEM）が授与される。後期中等教育は、高校（リセ）で行われ、国が行う修了時試験合格者にはバカロレアが授与される。早期教育を受けた子どもが飛び級をするケースも多く、教育年数は一定しない。

数字で見る教育の状況

- 初等教育総就学率：81.0%（2018年）
- 初等教育修了率：57.1%（2018年）
- 前期中等教育総就学率：43.7%（2018年）
- 前期中等教育修了率：37.4%（2017年）
- 後期中等教育総就学率：35.4%（2018年）
- 後期中等教育修了率：12.0%（2017年）
- 大学進学率：12.8%（2018年）
- International Baccalaureate (IB) が取得できる学校数：4（2020年）
- 海外留学比率（Outbound mobility ratio）：7.5%（2018年）
- 日本への留学生数：109人（2019年）
- セネガルの大学と協定を持つ本邦大学数：2
- 海外への留学生総数：12,815人（2017年）
- 留学先トップ5：①フランス ②モロッコ ③カナダ ④アメリカ ⑤サウジアラビア（2017年）

日本語教育の状況

2018年は、1教育機関で教師1名の指導のもと、約130名が日本語を学習した。近年はインターネットやテレビ等の普及により、日本のアニメやJ-POP等の視聴も可能となった。日本のポップカルチャーに強い関心を示す若年有識者層が急増している。その中には少数ながら、インターネット等を用いたレベルの高い独習者も見られるようになってきている。

また、セネガルはカメルーンと並んで、本邦の日本語学校へ留学する者が多い。2015年は45名に達しており、過去3年間（2017～2019年）は毎年約20名程度となっている。

日本留学フェアの情報

2021年または2022年開催予定
*セネガルから日本への留学生数は年々増加しており、過去3年間は毎年100名を超えている。学部や大学院への留学以外に、高専や専修学校へ進学する留学生が多いのが特徴である。日本の大学として初めてのアフリカ出身の学長（マリ出身のウスピ・サコ氏）を持つ京都精華大学はダカール大学（写真参照）と学生交流を視野に入れた提携を結んでいる。



ダカール大学（Université Cheikh Anta Diop de Dakar:UCAD）

カメルーン共和国

Republic of Cameroon

概況

カメルーンは、ポルトガル語でエビの意味。15世紀にポルトガル人が、入江にエビが群棲しているのに驚き、リオ・ダス・カマローネス（エビの川）と名付けたことが国名の由来。アフリカ有数のサッカー強豪国として知られる。言語の異なる約250の民族が暮らす。伝統的で多様な文化や慣習を維持し、国内に多くの伝統的な王国が存在する。

基本情報

- 首都：ヤウンデ
- 人口：25,216,237人（2018年）
- 面積：475,440km²（日本の約1.3倍）
- 言語：フランス語、英語（共に公用語）、その他各部族語
- 宗教：カトリック、プロテスタント、イスラム教、自然崇拜等
- 通貨：CFAフラン（1US\$=603.36XAF 2020年4月）
- 主要産業：（農）カカオ、綿花、（鉱工業）石油、アルミニウム
- 一人当たり国民総所得（GNI）推移：US\$710（1998年）→\$1,440（2018年）
- 貧困率（国際貧困ライン）推移：10.8%（2001年）→23.8%（2014年）
- 乳幼児死亡率推移：93.2%（1998年）→50.6%（2018年）
- 成人識字率推移：68.4%（2000年）→77.1%（2018年）
- 電化率：全国61.4%、都市部93.2%、地方21.3%（2017年）
- 進出日系企業数：8社（2018年）
- 在留邦人数：127人（2018年）
- 在日カメルーン共和国人数：773人（2019年）



教育制度概要

学校制度

【仏語システム】6（初等）～4（前期中等）～3（後期中等）～3（高等）教育制
 【英語システム】6（初等）～5（前期中等）～2（後期中等）～3（高等）教育制

植民地時代に持ち込まれたフランスおよび英国の教育システムが今も多くの点で採用されており、2つの教育制度が併存している。近年、英語教育に力を入れており、「仏語システム」においてもバイリンガル（英語と仏語）教育を採用している私立学校が増加している。

大学入学資格は、仏語システムではバカロレア、英語システムではGCE Advanced Levelである。

数字で見る教育の状況

初等教育総就学率：103.4%（2018年）

初等教育修了率：64.5%（2018年）

前期中等教育総就学率：60.1%（2016年）

前期中等教育修了率：47.2%（2016年）

後期中等教育総就学率：45.2%（2016年）

後期中等教育修了率：16.0%（2014年）

大学進学率：12.8%（2017年）

International Baccalaureate (IB) が取得できる学校数：4（2020年）

海外留学比率（Outbound mobility ratio）：9.0%（2017年）

日本への留学生数：86人（2019年）

カメルーンの大学と協定を持つ本邦大学数：4

海外への留学生総数：26,227人（2017年）

留学先トップ5：①ドイツ ②フランス ③イタリア ④ベルギー ⑤アメリカ（2017年）

日本語教育の状況

商業都市ドゥアラを中心に民間の語学学校が存在し、主に高校生や大学生が日本語を学習している。日本語教育が実施される民間機関は、①「Japan House Cameroon-Japanese Language Institute」、②「Lycee De Ngaoundere-Mardock」、③「Lycee Classique Et Moderne De Ngaoundere」等がある。カメルーン人の日本語教師は5名、日本語学習者は380名である（2018年）。

2008年から2015年まではヤウンデ第二大学政治戦略学術研究センターの（修士課程）学生向けに日本語の授業が行われた。また中等学校の数校で日本語クラブが発足したこともある。また、カメルーンはセネガルと並んで、本邦の日本語学校へ留学する者が多い。2018年は47名に達している。

日本留学フェアの情報

今後、開催を検討（過去のフェア開催はなし）

*カメルーンはサブサハラ・アフリカ諸国の中でナイジェリアに次いで海外への留学生を輩出する国である。そして留学生数は年々増加している。カメルーン学生の留学先として全体の約3割がドイツ、2割がフランスが占める。カメルーンは一時期ドイツの植民地であった歴史的な関係もあり、ドイツとの繋がりは深い。カメルーンからドイツへ留学する学生を在学段階別で見ると7割が学部在籍、専門別では8割が理系コースに進学している。カメルーンから日本への留学生数は、近年増加傾向にある。2019年は86名に達しており、在学段階別で見ると、大学院43名、学部11名、短大3名、高専3名、専修26名である。本邦の短大や高専への留学以外にも、多くのカメルーン人が専修学校で学んでいる。また、本邦の日本語学校へ留学するカメルーン人もおり、2017年は26名、2018年は47名となっている（2019年は4名のみ）。

「添付1：国別情報」における参考文献

基本情報

- 「人口」・「一人当たり国民総所得（GNI）推移*」・「貧困率（国際貧困ライン）推移」・「乳幼児死亡率推移」・「成人識字率推移」・「電化率」は、以下参照。

出所：DataBank World Development Indicators

<https://databank.worldbank.org/source/world-development-indicators>

*「一人当たり国民総所得（GNI）」における1990年代のデータの1部は、「World Development Indicators 2013（World Bank 2013）」のデータを使用。

- 「面積」・「宗教」・「通貨」・「主要産業」・「進出日系企業数」は、以下参照。

出所：外務省 国別基礎データ

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/africa.html>

- 「在留邦人数」は、以下参照。

出所：法務省 在留外国人統計（旧登録外国人統計）統計表

http://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei_ichiran_touroku.html

国際バカロレア（International Baccalaureate:IB）

出所：International education

<https://www.ibo.org/>

数字で見る教育の状況

- 「初等教育総就学率」・「初等教育修了率」・「前期中等教育総就学率」・「前期中等教育修了率」・「大学進学率」は、以下参照。

出所：DataBank World Development Indicators

<https://databank.worldbank.org/source/world-development-indicators>

- 「後期中等教育総就学率」・「後期中等教育修了率」・「海外留学比率（Outbound mobility ratio）」・「海外への留学生総数」・「留学先トップ5」は、以下参照。

出所：UIS Statistics-UNESCO

<http://data.uis.unesco.org/>

<http://uis.unesco.org/en/uis-student-flow>

- 「日本への留学生数」は、JASSO資料「令和元年度 アフリカ出身留学生受入状況」を参照。

- 「アフリカの大学と協定を持つ本邦大学数」は、以下参照。

出所：文部科学省「海外の大学との大学間交流協定（平成28年度実績）」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shitu/1417820_00001.htm

添付2：渡日前入試を実施する学部コース一覧 2020

一覧をオンラインで見える

27 Universities/75 Courses
(Compiled by Hokkaido University Africa Office in Lusaka, August 2020)

No.	University	Programme	Areas of Studies	Degree Title	Period of Application	Timing of Enrollment	Criteria for Application		Online Application	Language (E:English, J:Japanese)	Japanese Language Education	Note	E-mail Address for Inquiries	Financial Support
							International Baccalaureate DP, GCE A Level, Baccalaureat, WASC, CIS, etc.	English-Language Requirement (TOEFL, IELTS etc.)						
1	Humanities (Literature, Language, Cultural Studies, History/ Geography, Philosophy, Communication)													
1-1	Doshisha University	The Liberal Arts Program	Humanities and the Humanities Business and Economics Politics and Policy Studies	Arts in Liberal Arts	(1) Aug 3 - Sep 7, 2020 (2) Jan 25 - Mar 22, 2021	(1) Apr 1, 2021 (2) Sep 21, 2021	Acceptable	1. Native speaker of English 2. TOEFL iBT® TEST 85 3. IELTS (Academic Module) 6.5 4. ACT Combined English/Writing (Writing Test Score) 22 5. ACT Combined English/Writing (Writing Test Score) 22 6. Old SAT Critical Reading and Writing sections 510 7. New SAT Reading Test 28 and Writing & Language Test 29 Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL Paper-delivered test or IELTS etc. if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	(Partially) Yes	E	Yes	ji-ha@mail.doshisha.ac.jp	https://ois.doshisha.ac.jp/en/scholarships/countries.html	
1-2	Nagoya University	Japan-in-Asia Cultural Studies Program (G30)	Literature, Cultural Studies	Arts	1st Call: Nov 2020	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL Paper-delivered test or IELTS etc. if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E	Yes	apply@g30.nagoya-u.ac.jp	https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/prapply/	
1-3	Nagoya University	Japan-in-Asia Cultural Studies Program (G30)	History, Geography	Arts	1st Call: Nov 2020	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL Paper-delivered test or IELTS etc. if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E	Yes	apply@g30.nagoya-u.ac.jp	https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/prapply/	
1-4	Osaka University	Human Sciences International Undergraduate Degree Program	Human Science	Human Sciences	From Dec 1, 2020 - Jan 15, 2021 Online registrations need to be completed by 16:59(JST, UTC+9), Jan 8, 2021.	From Oct. 2021 to Sep. 2025	Acceptable	A minimum score of TOEFL iBT 85 or IELTS 6.5 is required, if the native language of the applicant is not English, or if the applicant graduates from a school in which English is not the language of instruction.	No	E	No	englishprogram@hus.osaka-u.ac.jp	Undergraduate Program in English	
1-5	Soka University	English Medium Programs (EMP)	Letters	Letters	Mar 15 - Apr 15, 2021	Sep. 2021	Acceptable	TOEFL iBT (61 or above) or IELTS (5.5 or above) candidate has not studied for at least six years to High School (Australia, Canada, Ireland, New Zealand, United Kingdom or United States)	Yes	E	Yes	intoff@soka.ac.jp	https://www.soka.ac.jp/en/campuslife/fees/	
1-6	Waseda University	School of Culture, Media and Society Global Studies in Japanese Cultures Program (JCUJF)	Culture, Media and Society Global Studies in Japanese Cultures	Arts in Literature	TBA	Sep. 2021	Acceptable	One of the following test scores are to be submitted (There will be a required minimum score and a valid period): TOEFL iBT: 95 IELTS (Academic): 7.0 TEAP: 375; TEAP CB1: 800 EIKEN: 2800; GTEC CB1: 1350; Cambridge English Qualification: 180	Yes	E	Yes	toyama-adm@list.waseda.jp	https://www.waseda.jp/inst/cle/en/ife/aid	
1-7	Yokohama National University	YOKOHAMA Creative City Studies (YCCS) Program	Leadership and Facilitation	Arts	Dec 2020 - Jan 2021	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, IELTS, or iBT, if your native language is not English or if you have not received six(6) years or four (4) continuous years including the final year of secondary education in English.	Yes	E	Yes	yccs-admission@ynu.ac.jp	https://www.yccs.ynu.ac.jp/ife/	
2	Social Science (Law, Political Science, Economics, Commercial Science, Tourism, Management, Sociology, Broadcasting, Media)													
2-1	University of Hyogo	Global Business Course	Business Administration and Economics Macro/ Microeconomics, Strategic Management, International Marketing	Economics	Dec 15, 2020 - Jan 4, 2021	Sep. 2021	Not Required	Applicants must achieve scores on a standard English proficiency examination such as TOEFL iBT, IELTS etc. which is equivalent to the B1 level of CEFR.	(Partially) Yes	E	Yes	gbc@hq.u-hyogo.ac.jp	All classes conducted in English	
2-2	Keio University	PEARL Program	Economics	Arts in Economics	1st Call: Oct 2020 2nd Call: Dec 2020 3rd Call: Feb 2021	Sep. 2021	Acceptable	TOEFL iBT or IELTS	Yes	E	Yes	pearl_admissions@info.keio.ac.jp	https://giga.sfc.keio.ac.jp/cos/financial-aid/	
2-3	Keio University	GIGA Program	Integration of Social Science and Technologies Ref. https://giga.sfc.keio.ac.jp/the-giga-program/study-opportunities-at-sfc/	Arts in Policy Management Arts in Environment and Information Studies	Dec 2020 - around Jan 2021	Sep. 2021 or Apr. 2022	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL-PBT, IELTS etc. for non-English education system.	Yes	E	Yes	apd-global@sfc.keio.ac.jp	https://giga.sfc.keio.ac.jp/cos/scholarship-information/ https://www.students.keio.ac.jp/en/students/scholarships/unique/	
2-4	Nagoya University	Social Sciences Program (G30)	Law, Political Science	Laws	1st Call: Nov 2020	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL Paper-delivered test or IELTS etc. if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E	Yes	apply@g30.nagoya-u.ac.jp	https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/prapply/	
2-5	Nagoya University	Social Sciences Program (G30)	Economics	Economics	1st Call: Nov 2020	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL Paper-delivered test or IELTS etc. if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E	Yes	apply@g30.nagoya-u.ac.jp	https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/prapply/	
2-6	Nagoya University of Commerce and Business	Global BBA	Accounting & Finance, Information Management, Economics, Entrepreneurship, Marketing, Corporate Management, Management and Liberal Arts	Business Administration	Rolling Applications	Apr./ Sep.	Acceptable	Scores required unless native speaker of secondary education 100% in English.	Yes	E	Yes	intl_adm@nucba.ac.jp	https://www.nucba.ac.jp/en/scholarship/scholar.html	
2-7	Okayama University	Discovery Program for Global Learners	Anthropology, Sociology, Political Science, Economics, Management, International Development, Philanthropic Studies, Environmental Studies, Knowledge and Innovation, Chemical Engineering, Atmospheric and Astronomical, Physical Chemistry, Solid State Physics, Agricultural Sciences	Arts and Sciences	<1st Call> Oct. 1, 2020-Oct 30, 2020 <2nd Call> Dec 1, 2020-Jan 22, 2021	Oct. 2021 (Pre-Sessional Program starts in Summer 2021)	Acceptable	REQUIRED for applicants who have not received their last five years of formal education in English, TOEFL iBT / IELTS / Cambridge English, etc. are accepted. Please refer to our website for more information.	(Partially) Yes	E/J	Yes	info_discovery@adm.okayama-u.ac.jp/en/prospective_students/scholarship/	Students need some level of competence in English to be successful in this program. For an interdisciplinary coursework, students can complete their degree in English-medium courses.	
2-8	Ritsumeikan Asia Pacific University	College of Asia Pacific Studies (APS)	Environment and Development, Hospitality and Tourism, International Culture, Society and Media, Innovation and Entrepreneurship, Strategic Management and Organization, Accounting and Finance	Social Science	Jun 1, 2020 - Oct 29, 2020 Sep 1, 2020 - Apr 8, 2021	Apr. 2021 Enrollment Sep. 2021 Enrollment	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL-PBT or IELTS if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E/J	Yes	welcome@apu.ac.jp	https://admissions.apu.ac.jp/graduate/cost/tuition_reduction_scholarship/	
2-9	Ritsumeikan Asia Pacific University	College of International Management (APM)	Innovation and Economics, Marketing, Strategic Management and Organization, Accounting and Finance	Business Administration	Jun 1, 2020 - Oct 29, 2020 Sep 1, 2020 - Apr 8, 2021	Apr. 2021 Enrollment Sep. 2021 Enrollment	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL-PBT or IELTS if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E/J	Yes	welcome@apu.ac.jp	https://admissions.apu.ac.jp/graduate/cost/tuition_reduction_scholarship/	
2-10	Ritsumeikan University	Community and Regional Policy Studies Major (CRPS)	Urban Planning for Sustainable Cities, Development Economics, Environmental Policy, Global Public Policies, Social Welfare Policies, Revitalization of Rural Areas	Arts in Policy Science	September Intake: 1) Dec 9, 2020 2) Jan 28, 2021 3) Oct 7, 2021 4) Dec 9, 2021 5) Feb 17, 2021 - Mar 9, 2021	Sep. 2021	Acceptable	Minimum Scores: TOEFL iBT® Test 71 IELTS 5.5 TOEFL® L&R Test 730 Score Waiver: en.ritsumei.ac.jp/pe-up/apply/download/download.html	Yes	E	Yes	helb@st-ritsumei.ac.jp/en/financial_in/scholarships.html	English-medium undergraduate degree program (Key Features) - Practical Experience Conducting Social Surveys and Fieldwork - Instruct in Research Methods - Intensive Japanese Language Studies and Exchange with Japanese Students	
2-11	Ritsumeikan University	Dual degree program with the Australian National University	Social Change with AI, Evolution of Market Economy, Design and Society, Civilizations in Global History, Cultural Studies, Knowledge and Innovation, Contemporary Japan, Intership, Politics and Government, International Relations and Security, Conflict and Peace Building, History and Cultural Identity	Global Liberal Arts (RU)	Intake: 1) Jan 3, 2020 - Jun 23, 2020 2) Apr 28, 2020 - Sep 15, 2020 September Intake: 3) Oct 7, 2020 - Oct 29, 2020 4) Dec 9, 2020 - Jan 12, 2021 5) Feb 17, 2021 - Mar 9, 2021	For 1)-2): Apr. 2021 For 3)-5): Sep. 2021	Acceptable	English Language Requirements: TOEFL iBT® Test 80 (W&R20, S&L18) IELTS 6.5 (6.0 in each component) PTE Academic (CAE) 76 (69 in all sub-skills) Score Waiver: See Application Handbook available http://en.ritsumei.ac.jp/pe-up/apply/download/download.html	Yes	E	Yes	helb@st-ritsumei.ac.jp/en/financial_in/scholarships.html	English-medium undergraduate degree program (Key Features) - World-Class Education - 3 years at ANU in Japan + 1 year at ANU in Australia - 1-1/2 Year International Environment	
2-12	Soka University	English Medium Programs (EMP)	Economics	Economics	Mar 15 - Apr 15, 2021	Sep. 2021	Acceptable	TOEFL iBT (61 or above) or IELTS (5.5 or above) if candidate has not studied for at least six years (equivalent to Junior High School levels) in Australia, Canada, Ireland, New Zealand, United Kingdom or United States	Yes	E	Yes	intoff@soka.ac.jp	https://www.soka.ac.jp/en/campuslife/fees/	
2-13	Soka University	English Medium Programs (EMP)	Business Administration	Business Administration	Mar 15 - Apr 15, 2021	Sep. 2021	Acceptable	TOEFL iBT (61 or above) or IELTS (5.5 or above) if candidate has not studied for at least six years (equivalent to Junior High School levels) in Australia, Canada, Ireland, New Zealand, United Kingdom or United States	Yes	E	Yes	intoff@soka.ac.jp	https://www.soka.ac.jp/en/campuslife/fees/	
2-14	Soka University	English Medium Programs (EMP)	Law, Human Rights	Law	Mar 15 - Apr 15, 2021	Sep. 2021	Acceptable	TOEFL iBT (61 or above) or IELTS (5.5 or above) if candidate has not studied for at least six years (equivalent to Junior High School levels) in Australia, Canada, Ireland, New Zealand, United Kingdom or United States	Yes	E	Yes	intoff@soka.ac.jp	https://www.soka.ac.jp/en/campuslife/fees/	
2-15	Soka University	International Economics, International Business, International Law, Political Science, Sociology, and History	International Economics, International Business, International Law, Political Science, Sociology, and History	International Liberal Arts	Sep 15 - Oct 15, 2020 Mar 15 - Apr 15, 2021	September Applicants: Apr. 2021 March Applicants: Apr. 2022	Acceptable	TOEFL iBT or IELTS (Academic Module) for all candidates	Yes	E	Yes	intoff@soka.ac.jp	https://www.soka.ac.jp/en/campuslife/fees/	
2-16	Sophia University	Sophia Program for Sustainable Futures	Starting September 2020: Education, Sociology, Economics, International Relations & Area Studies Starting September 2021: Journalism Starting September 2022: Management	Arts in Education, Sociology, Economics, International Relations & Area Studies, Journalism, Management	September Intake 1st Call: Nov. 2020 2nd Call: Mar. 17 - Apr. 7, 2021	September 21, 2021 (4 years)	Acceptable	TOEFL iBT or IELTS required if not studied for more than five years out of the last six years. If the native language is English is the primary language of instruction.	Yes	E	Yes	admission-u-co@sophia.ac.jp	https://www.sophia.ac.jp/en/studentlife/scholarships/index.html	

No.	University	Programme	Areas of Studies	Degree Title	Period of Application	Timing of Enrollment	Criteria for Application		Online Application	Language (E:English, J:Japanese)	Japanese Language Education	Note	E-mail Address for Inquiries	Financial Support
							International Baccalaureate DP, GCE A Level, Baccalaureat, WASC, CIS, etc.	English-Language Requirement (TOEFL, IELTS etc.)						
2-4	Nagoya University	Social Sciences Program (G30)	Law, Political Science	Laws	1st Call: Nov 2020	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL Paper-delivered test or IELTS etc. if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E	Yes	apply@g30.nagoya-u.ac.jp	https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/prapply/	
2-5	Nagoya University	Social Sciences Program (G30)	Economics	Economics	1st Call: Nov 2020	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL Paper-delivered test or IELTS etc. if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E	Yes	apply@g30.nagoya-u.ac.jp	https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/prapply/	
2-6	Nagoya University of Commerce and Business	Global BBA	Accounting & Finance, Information Management, Economics, Entrepreneurship, Marketing, Corporate Management, Management and Liberal Arts	Business Administration	Rolling Applications	Apr./ Sep.	Acceptable	Scores required unless native speaker of secondary education 100% in English.	Yes	E	Yes	intl_adm@nucba.ac.jp	https://www.nucba.ac.jp/en/scholarship/scholar.html	
2-7	Okayama University	Discovery Program for Global Learners	Anthropology, Sociology, Political Science, Economics, Management, International Development, Philanthropic Studies, Environmental Studies, Knowledge and Innovation, Chemical Engineering, Atmospheric and Astronomical, Physical Chemistry, Solid State Physics, Agricultural Sciences	Arts and Sciences	<1st Call> Oct. 1, 2020-Oct 30, 2020 <2nd Call> Dec 1, 2020-Jan 22, 2021	Oct. 2021 (Pre-Sessional Program starts in Summer 2021)	Acceptable	REQUIRED for applicants who have not received their last five years of formal education in English, TOEFL iBT / IELTS / Cambridge English, etc. are accepted. Please refer to our website for more information.	(Partially) Yes	E/J	Yes	info_discovery@adm.okayama-u.ac.jp/en/prospective_students/scholarship/	Students need some level of competence in English to be successful in this program. For an interdisciplinary coursework, students can complete their degree in English-medium courses.	
2-8	Ritsumeikan Asia Pacific University	College of Asia Pacific Studies (APS)	Environment and Development, Hospitality and Tourism, International Culture, Society and Media, Innovation and Entrepreneurship, Strategic Management and Organization, Accounting and Finance	Social Science	Jun 1, 2020 - Oct 29, 2020 Sep 1, 2020 - Apr 8, 2021	Apr. 2021 Enrollment Sep. 2021 Enrollment	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL-PBT or IELTS if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E/J	Yes	welcome@apu.ac.jp	https://admissions.apu.ac.jp/graduate/cost/tuition_reduction_scholarship/	
2-9	Ritsumeikan Asia Pacific University	College of International Management (APM)	Innovation and Economics, Marketing, Strategic Management and Organization, Accounting and Finance	Business Administration	Jun 1, 2020 - Oct 29, 2020 Sep 1, 2020 - Apr 8, 2021	Apr. 2021 Enrollment Sep. 2021 Enrollment	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL-PBT or IELTS if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E/J	Yes	welcome@apu.ac.jp	https://admissions.apu.ac.jp/graduate/cost/tuition_reduction_scholarship/	
2-10	Ritsumeikan University	Community and Regional Policy Studies Major (CRPS)	Urban Planning for Sustainable Cities, Development Economics, Environmental Policy, Global Public Policies, Social Welfare Policies, Revitalization of Rural Areas	Arts in Policy Science	September Intake: 1) Dec 9, 2020 2) Jan 28, 2021 3) Oct 7, 2021 4) Dec 9, 2021 5) Feb 17, 2021 - Mar 9, 2021	Sep. 2021	Acceptable	Minimum Scores: TOEFL iBT® Test 71 IELTS 5.5 TOEFL® L&R Test 730 Score Waiver: en.ritsumei.ac.jp/pe-up/apply/download/download.html	Yes	E	Yes	helb@st-ritsumei.ac.jp/en/financial_in/scholarships.html	English-medium undergraduate degree program (Key Features) - Practical Experience Conducting Social Surveys and Fieldwork - Instruct in Research Methods - Intensive Japanese Language Studies and Exchange with Japanese Students	
2-11	Ritsumeikan University	Dual degree program with the Australian National University	Social Change with AI, Evolution of Market Economy, Design and Society, Civilizations in Global History, Cultural Studies, Knowledge and Innovation, Contemporary Japan, Intership, Politics and Government, International Relations and Security, Conflict and Peace Building, History and Cultural Identity	Global Liberal Arts (RU)	Intake: 1) Jan 3, 2020 - Jun 23, 2020 2) Apr 28, 2020 - Sep 15, 2020 September Intake: 3) Oct 7, 2020 - Oct 29, 2020 4) Dec 9, 2020 - Jan 12, 2021 5) Feb 17, 2021 - Mar 9, 2021	For 1)-2): Apr. 2021 For 3)-5): Sep. 2021	Acceptable	English Language Requirements: TOEFL iBT® Test 80 (W&R20, S&L18) IELTS 6.5 (6.0 in each component) PTE Academic (CAE) 76 (69 in all sub-skills) Score Waiver: See Application Handbook available http://en.ritsumei.ac.jp/pe-up/apply/download/download.html	Yes	E	Yes	helb@st-ritsumei.ac.jp/en/financial_in/scholarships.html	English-medium undergraduate degree program (Key Features) - World-Class Education - 3 years at ANU in Japan + 1 year at ANU in Australia - 1-1/2 Year International Environment	
2-12	Soka University	English Medium Programs (EMP)	Economics	Economics	Mar 15 - Apr 15, 2021	Sep. 2021	Acceptable	TOEFL iBT (61 or above) or IELTS (5.5 or above) if candidate has not studied for at least six years (equivalent to Junior High School levels) in Australia, Canada, Ireland, New Zealand, United Kingdom or United States	Yes	E	Yes	intoff@soka.ac.jp	https://www.soka.ac.jp/en/campuslife/fees/	
2-13	Soka University	English Medium Programs (EMP)	Business Administration	Business Administration	Mar 15 - Apr 15, 2021	Sep. 2021	Acceptable	TOEFL iBT (61 or above) or IELTS (5.5 or above) if candidate has not studied for at least six years (equivalent to Junior High School levels) in Australia, Canada, Ireland, New Zealand, United Kingdom or United States	Yes	E	Yes	intoff@soka.ac.jp	https://www.soka.ac.jp/en/campuslife/fees/	
2-14	Soka University	English Medium Programs (EMP)	Law, Human Rights	Law	Mar 15 - Apr 15, 2021	Sep. 2021	Acceptable	TOEFL iBT (61 or above) or IELTS (5.5 or above) if candidate has not studied for at least six years (equivalent to Junior High School levels) in Australia, Canada, Ireland, New Zealand, United Kingdom or United States	Yes	E	Yes	intoff@soka.ac.jp	https://www.soka.ac.jp/en/campuslife/fees/	
2-15	Soka University	International Economics, International Business, International Law, Political Science, Sociology, and History	International Economics, International Business, International Law, Political Science, Sociology, and History	International Liberal Arts	Sep 15 - Oct 15, 2020 Mar 15 - Apr 15, 2021	September Applicants: Apr. 2021 March Applicants: Apr. 2022	Acceptable	TOEFL iBT or IELTS (Academic Module) for all candidates	Yes	E	Yes	intoff@soka.ac.jp	https://www.soka.ac.jp/en/campuslife/fees/	
2-16	Sophia University	Sophia Program for Sustainable Futures	Starting September 2020: Education, Sociology, Economics, International Relations & Area Studies Starting September 2021: Journalism Starting September 2022: Management	Arts in Education, Sociology, Economics, International Relations & Area Studies, Journalism, Management	September Intake 1st Call: Nov. 2020 2nd Call: Mar. 17 - Apr. 7, 2021	September 21, 2021 (4 years)	Acceptable	TOEFL iBT or IELTS required if not studied for more than five years out of the last six years. If the native language is English is the primary language of instruction.	Yes	E	Yes	admission-u-co@sophia.ac.jp	https://www.sophia.ac.jp/en/studentlife/scholarships/index.html	

No.	University	Programme	Areas of Studies	Degree Title	Period of Application	Timing of Enrollment	Criteria for Application		Online Application	Language (E:English, J:Japanese)	Japanese Language Education	Note	E-mail Address for Inquiries	Financial Support
							International Baccalaureate, DP, GCE A Level, Baccalaureat, WASC, CIS, etc.	English-Language Requirement (TOEFL, IELTS etc.)						
2-17	Tokyo International University	English Track Program - Digital Business and Innovation (BS)	Digital Business and Management, Digital Business & Innovation, Digital Business and Innovation, AI & Deep Learning, Digital Finance & Fintech, Digital Marketing & Analytics	Science in Digital Business and Innovation	< April Intake > 1) July 1 - July 15, 2020 2) Sep 16 - Oct 7, 2020 3) Nov 4 - Nov 25, 2020 < September Intake > 1) Nov 4 - Nov 25, 2020 2) Feb 17 - Mar 10, 2021 3) Feb 17 - Mar 10, 2021 4) Mar 31 - Apr 21, 2021 < April Intake > 1) July 1 - July 15, 2020 2) Sep 16 - Oct 7, 2020 3) Nov 4 - Nov 25, 2020 < September Intake > 1) Nov 4 - Nov 25, 2020 2) Jan 6 - Jan 27, 2021 3) Feb 17 - Mar 10, 2021 4) Mar 31 - Apr 21, 2021	Apr. 2021 / Sep. 2021	Acceptable	TOEFL iBT 61 TOEFL 700 IELTS 5.5 Person PTE Academic-45 Duolingo 90 EIKEN Pre-1 https://www.tiu.ac.jp/track/admissions/procedures.html The requirement for transfer students is different.	Yes	E	Yes (Built into curriculum, Mandatory for graduation)		etrack-admissions@tiu.ac.jp	https://www.tiu.ac.jp/etrack/cost/reductions.html
2-18	Tokyo International University	English Track Program - Business Economics (BA)	Business, Economics; Entrepreneurship, Business Management, Finance	Arts in Economics	< April Intake > 1) July 1 - July 15, 2020 2) Sep 16 - Oct 7, 2020 3) Nov 4 - Nov 25, 2020 < September Intake > 1) Nov 4 - Nov 25, 2020 2) Jan 6 - Jan 27, 2021 3) Feb 17 - Mar 10, 2021 4) Mar 31 - Apr 21, 2021	Apr. 2021 / Sep. 2021	Acceptable	TOEFL iBT 61 TOEFL 700 IELTS 5.5 Person PTE Academic-45 Duolingo 90 EIKEN Pre-1 https://www.tiu.ac.jp/track/admissions/procedures.html The requirement for transfer students is different.	Yes	E	Yes (Built into curriculum, Mandatory for graduation)		etrack-admissions@tiu.ac.jp	https://www.tiu.ac.jp/etrack/cost/reductions.html
2-19	Toyo University	Department of Information Networking for Innovation and Design	Computer Science, Information Science, Sociology, and Other Fields	Arts in Information Networking for Innovation and Design	1) Aug 2020 2) Oct 2020	Apr. 2021 (4 years)	Acceptable	Either TOEFL iBT, IELTS, or TOEIC required	Yes	E/J	Other than Japanese courses, all courses are taught in English.	info@toyo.jp	http://www.toyo.ac.jp/nyusen/international-student/fee/	
2-20	University of Tsukuba	Undergraduate Program of International Social Studies	Law, Economics, Sociology, Politics, Information, Environment, Other (Cultural anthropology)	Arts in International Social Sciences	Online Registration Period is from October 27 to December 4, 2020 Deadline of submitting application documents is December 18, 2020	Sep. 2021	Acceptable	(Partially) Yes	(Partially) Yes	E		[Admission] g30.nyus@un.tsukuba.ac.jp [Curriculum] curriculum@g30.un.tsukuba.ac.jp [Inquiries] info-g30@un.tsukuba.ac.jp	http://www.tsukuba.ac.jp/en/students/finance/scholarships	
2-21	Waseda University	School of Political Science and Economics English-based Degree Program	Political Science, Economics, Global Political Economy	Arts in Political Science/ Arts in Economics/ Arts in Global Political Economy	TBA	Sep. 2021	Acceptable	Yes	E	Yes		tsai-admin@waseda.jp	https://www.waseda.jp/inst/cle/en/fee/aid	
2-22	Waseda University	School of Social Sciences Transnational and Interdisciplinary Studies in Social Innovation (TASI)	Politics, Law, Economics, Sociology, Commerce, Humanities	Arts in Social Sciences	TBA	Sep. 2021	Acceptable	One of the following test scores are to be submitted (There will be a valid period of the score)	Yes	E		tsai-admin@waseda.jp	https://www.waseda.jp/inst/cle/en/fee/aid	
2-23	Yamanashi Gakuin University	Bachelor of International Liberal Arts	Global Business & Economics; Interdisciplinary Arts; Japan Studies	International Liberal Arts	April Intake: Sept. 1, 2020 - Nov. 20, 2020 September Intake: Sept. 1, 2020 - Apr. 16, 2021	Apr. 2021 / Sep. 2021	Acceptable	Minimum of TOEFL 76 / IELTS 5.5 or equivalent if native language is not English. Requirement waived for internationally accredited high school / WAEC (See application guideline for details)	Yes	E		admission@ygu.ac.jp	https://www.ygu.ac.jp/en/fees-funding/	
3	Natural Science (Information Science, Statistics, Physics, Chemistry, Biology, Earth and Environmental Science, Resource Science)													
3-1	Hokkaido University	Integrated Science Program (ISP)	Science (Biology, Chemistry, Physics)	Science	Nov.13-30, 2020	Oct. 2021	Acceptable	Mother tongue English OR 4 years or more primary language of instruction OR English ability of IELTS(Academic Module) 6.0, TOEFL iBT 79, TOEFL-PBT 550, TOEIC 730, or higher. *As of the application for October 2021 enrollment.	(Partially) Yes	E	Those who have Japanese citizenship or Japanese permanent resident status are not eligible to apply.	sp@oa.hokudai.ac.jp [Admission Inquiry] adm-sp@a.cademic.hokudai.ac.jp	https://www.oia.hokudai.ac.jp/fees-scholarships	
3-2	Kyushu University	Interdisciplinary Science and Innovation	Interdisciplinary Science and Innovation	Science and Innovation	Jan 2020	Oct. 2020	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL PBT or IELTS if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E/J	Bilingual Undergraduate Program (English and Japanese)	nyu-inquiry@jimu.kyushu-u.ac.jp	https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/eu_international.html	
3-3	Nagoya University	Chemistry Program (G30)	Chemistry	Science	1st Call: Nov 2020 2nd Call: Jan 2021	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL Paper-delivered Test or IELTS etc. if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E		apply@g30.nagoya-u.ac.jp	https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/apply/	
3-4	Nagoya University	Biological Science Program (G30)	Biology	Science	1st call: Nov 2020	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL Paper-delivered Test or IELTS etc. if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E		apply@g30.nagoya-u.ac.jp	https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/apply/	
3-5	Nagoya University	Fundamental and Applied Physics Program (G30)	Physics (Astronomy incl.)	Science	1st Call: Nov 2020 2nd Call: Jan 2021	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL Paper-delivered Test or IELTS etc. if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E		apply@g30.nagoya-u.ac.jp	https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/apply/	
3-6	Osaka University	International Undergraduate Program in Science	Sciences	Science	TBA	Oct. 2021	Acceptable	A minimum score of TOEFL iBT 80 or IELTS 6.0 is required if the native language of the applicant is not English, or if the applicant graduate from a school in which English is not the language of instruction.	No	E/J	Bilingual Undergraduate Program (English and Japanese)	internationalcollege@office.osaka-u.ac.jp	https://www.osaka-u.ac.jp/en/olis/graduate/undergraduate-english/	
3-7	Tohoku University	Advanced Molecular Chemistry Course (AMC)	Science	Science	Jan 2021	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, or IELTS	Yes	E		figi-exam@grp.tohoku.ac.jp	https://www.risc.tohoku.ac.jp/en/olis/graduate/undergraduate-english/	

No.	University	Programme	Areas of Studies	Degree Title	Period of Application	Timing of Enrollment	Criteria for Application		Online Application	Language (E:English, J:Japanese)	Japanese Language Education	Note	E-mail Address for Inquiries	Financial Support
							International Baccalaureate, DP, GCE A Level, Baccalaureat, WASC, CIS, etc.	English-Language Requirement (TOEFL, IELTS etc.)						
3-8	The University of Tokyo	Global Science Course (GSC)	Science, Chemistry	Science	Jan - Mar	Fall	Not Required	TOEFL or IELTS scores are required for those whose native/first language is not English or English was not the language of instruction at their secondary and post-secondary schools for the last 6 years.	Yes	E	All-English undergraduate transfer program for science students (chemistry and related fields). Selected students are accepted in the 3rd year of undergraduate studies.	https://www.s.u-tokyo.ac.jp/GSC/contact/cost/aid.html	https://www.s.u-tokyo.ac.jp/GSC/admissions/cost/aid.html	
3-9	University of Tsukuba	Interdisciplinary Program of Life and Environmental Sciences	Biosciences, Agro-biological resource sciences, Geosciences, Environmental Sciences	Science / Bioscience Science	Online Registration Period is from October 27 to December 4, 2020 Deadline of submitting Application Documents is December 18, 2020	Sep. 2021		Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL PBT or IELTS if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	(Partially) Yes	E		[Admission] g30.nyus@un.tsukuba.ac.jp [Curriculum] g30-support@un.tsukuba.ac.jp	http://www.tsukuba.ac.jp/en/olis/graduate/finance/scholarships	
3-10	University of Tsukuba	Undergraduate English Programs (Transfer/Admissions), Interdisciplinary Program of Life and Environmental Sciences	Biosciences, Agro-biological resource sciences, Geosciences, Environmental Sciences	Science / Bioscience Science	Online Registration Period is from October 27 to December 4, 2020 Deadline of submitting Application Documents is December 18, 2020	Sep. 2021		Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL PBT or IELTS if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	(Partially) Yes	E		[Admission] g30.nyus@un.tsukuba.ac.jp [Curriculum] g30-support@un.tsukuba.ac.jp	http://www.g30ai.tsukuba.ac.jp/en/olis/graduate/finance/scholarships	
4	Engineering													
4-1	The University of Aizu	ICT Global Program All-English Undergraduate Course	Computer Science and Engineering	Science (Computer Science and Engineering)	1st Call: Sep 14 - Oct 16, 2020 2nd Call: Feb 15 - Mar 19, 2021	Oct 1, 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, IELTS, or others if your native language is not English or if you have not received 3 years or more of secondary education in English.	No	E		sgu-admission@u-aizu.ac.jp	https://www.u-aizu.ac.jp/en/outline/international/	
4-2	Kyoto University	Undergraduate International Course Program of Civil Engineering	Engineering	Engineering	Oct 9, 2020	Apr 1, 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL PBT or IELTS	No	E	English-Taught Undergraduate Program	icp_uug@i.kyoto-u.ac.jp	https://www.s-gre.tyoto-u.ac.jp/int/en/admission/financial/aid	
4-3	Kyushu University	International Undergraduate Programs in English (IUPE)	Electrical Engineering and Computer Science, Applied Chemistry, Civil Engineering	Engineering	Jan 2020	Oct. 2020	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL PBT or IELTS if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E	English-Taught Undergraduate Program	nyu-inquiry@jimu.kyushu-u.ac.jp	https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/eu_international.html	
4-4	Kyushu University	International Undergraduate Programs in English (IUPE)	Applied Chemistry	Engineering	Jan 2021	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL PBT or IELTS if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E	English-Taught Undergraduate Program	nyu-inquiry@jimu.kyushu-u.ac.jp	https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/eu_international.html	
4-5	Kyushu University	International Undergraduate Programs in English (IUPE)	Civil Engineering	Engineering	Jan 2021	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL PBT or IELTS if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E	English-Taught Undergraduate Program	nyu-inquiry@jimu.kyushu-u.ac.jp	https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/eu_international.html	
4-6	Kyushu University	International Undergraduate Programs in English (IUPE)	Mechanical and Aerospace Engineering	Engineering	Jan 2020	Oct. 2020	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL PBT or IELTS if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E	English-Taught Undergraduate Program	nyu-inquiry@jimu.kyushu-u.ac.jp	https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/eu_international.html	
4-7	Nagoya University	Chemistry Program (G30)	Applied Chemistry	Engineering	1st Call: Nov 2020 2nd Call: Jan 2021	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL Paper-delivered Test or IELTS etc. if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E		apply@g30.nagoya-u.ac.jp	https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/apply/	
4-8	Nagoya University	Automotive Engineering Program (G30)	Electrical and Electronic Engineering	Engineering	1st Call: Nov 2020 2nd Call: Jan 2021	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL Paper-delivered Test or IELTS etc. if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E		apply@g30.nagoya-u.ac.jp	https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/apply/	
4-9	Nagoya University	Automotive Engineering Program (G30)	Mechanical Engineering (Automotive Engineering incl.)	Engineering	1st Call: Nov 2020 2nd Call: Jan 2021	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL iBT, TOEFL Paper-delivered Test or IELTS etc. if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E		apply@g30.nagoya-u.ac.jp	https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/apply/	
4-10	Ritsumeikan University	Information Systems Science and Engineering Course (ISSE)	Network Security, IoT, Information Technology, Artificial Intelligence, Robotics, User Interface, Computing Mathematics, Big Data/Analytics, Advanced Computer Graphics, Imperative Programming	Engineering	April Intake: Sep 10, 2020 - Mar 10, 2021 2nd Intake: Sep 15, 2020 - Oct 7, 2020 3rd Intake: Sep 15, 2020 - Oct 7, 2020	Apr. 2021	Acceptable	Minimum Scores: TOEFL iBT 71 IELTS 5.5 TOEFL iBT R test 730 Score Waiver. See Application Handbook available http://en.ritsumei.ac.jp/ie-u/application/download/download.html/	Yes	E	English-medium degree program (Korean, French) - Practice-Oriented - Project Based Learning - Global Opportunities	hello@st.ritsumei.ac.jp	http://en.ritsumei.ac.jp/e-u/financial_info/scholarships.html	
4-11	Sophia University	Green Science, Green Engineering Program	Green Science, Green Engineering	Science in Materials and Life Sciences / Science in Engineering and Applied Sciences	September Intake 1st Call: Nov. 18- Dec 9, 2020 2nd Call: Mar. 17-Apr. 7, 2021	September 21, 2021 (4 years)	IB Diploma, SAT, ACT	TOEFL iBT or IELTS required if not studied for more than five years out of the last six years in institutions where English is the primary language of instruction.	Yes	E		admission-u-co@sophia.ac.jp	https://www.sophia.ac.jp/en/students/scholarships/index.html	

No.	University	Programme	Areas of Studies	Degree Title	Period of Application	Timing of Enrollment	Criteria for Application		Online Application	Language (E/English, J/Japanese)	Japanese Language Education	Note	E-mail Address for Inquiries	Financial Support
							International Baccalaureate DP, GCE A Level, Baccalaureat, WASC, CIS, etc.	English-Language Requirement (TOEFL, IELTS etc.)						
4-12	Tohoku University	International Mechanical and Aerospace Engineering Course (IMAC-U)	Engineering	Engineering	Jan 2021	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL-IBT, or IELTS	Yes	E	No	ig-exam@grp.tohoku.ac.jp	https://www.insc.tohoku.ac.jp/english/degree/undergraduate-english/	
4-13	University of Tsukuba	Bachelor's Program in Interdisciplinary Engineering	Energy, Optics and Electronics, Robotics and Mechanics, Materials and Molecular Engineering	Engineering	Online Application and Agreement of Fee for the First Year Screening: Oct. 27 to Dec. 4, 2020	Sep. 1, 2021 (4 years)	GCE A-Level: applicants should complete three or more Advanced Level subjects (including mathematics) at grade E or above.	TOEFL (IBT): 80 or higher, IELTS (Academic): 6.5 or higher	(Partially) Yes	E	Yes	sougourkou-office@un.tsukuba.ac.jp	http://www.gbbal.tsukuba.ac.jp/departments/ie-and-environmental/doc-sus-env-studies/apply	
4-14	Waseda University	School of Fundamental Science and Engineering International Program	Engineering (Mathematical Sciences, Computer Science and Communications Engineering)	Science / Engineering	TBA	Sep. 2021	Acceptable	One of the following test scores are to be submitted (There will be a valid period of the score) TOEFL-IBT, TOEIC L&R, IELTS (Academic)	Yes	E	Yes	undergraduate@sci.waseda.ac.jp	https://www.waseda.jp/inst/cle/en/ife/aid	
4-15	Waseda University	School of Creative Science and Engineering International Program	Engineering (Mechanical Engineering, Civil and Environmental Engineering)	Engineering	TBA	Sep. 2021	Acceptable	One of the following test scores are to be submitted (There will be a valid period of the score) TOEFL-IBT, TOEIC L&R, IELTS (Academic)	Yes	E	Yes	undergraduate@sci.waseda.ac.jp	https://www.waseda.jp/inst/cle/en/ife/aid	
4-16	Waseda University	School of Advanced Science and Engineering International Program	Engineering (Physics, Chemistry, Bio-science)	Science / Engineering	TBA	Sep. 2021	Acceptable	One of the following test scores are to be submitted (There will be a valid period of the score) TOEFL-IBT, TOEIC L&R, IELTS (Academic)	Yes	E	Yes	undergraduate@sci.waseda.ac.jp	https://www.waseda.jp/inst/cle/en/ife/aid	
5	Agriculture													
5-1	Kyushu University	International Undergraduate Programs in English (IUPE)	Bioresouce and Bioenvironment	Agriculture	Jan 2021	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL-IBT, TOEFL-PBT or IELTS if your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E	Yes (Built into curriculum, Mandatory for graduation)	nyu-inquiry@jimu.kyushu-u.ac.jp	https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/eu_international.html	
5-2	Nagoya University	Biological Science Program (G30)	Agriculture	Agricultural Science	1st Call: Nov. 2020 2nd Call: Jan 2021	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL-IBT, TOEFL Paper-delivered Test or IELTS etc. If your native language is not English or if you have not received four(4) years or more of secondary education in English.	Yes	E	Yes	apply@g30.nagoya-u.ac.jp	https://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/apply/	
5-3	Tohoku University	Applied Marine Biology Course (AMB)	Agriculture	Agriculture	Jan 2021	Oct. 2021	Acceptable	Required the certain scores in TOEFL-IBT, or IELTS	Yes	E	No	ig-exam@grp.tohoku.ac.jp	https://www.iast.tohoku.ac.jp/en/ist/degree/undergraduate-english/	
6	Medicine													
6-1	University of Tsukuba	Bachelor's Degree in International Medical Science (Transfer Admission)	Biomedical science. This program is research oriented and emphasizes on laboratory training	Science in Medical Science	TBD	TBD	Transfer admissions only (Selected students are accepted into the 3rd year of undergraduate studies)	Required (TOEFL, TOEIC, or IELTS). In principle, an applicant whose first language is English is not required to take the English proficiency exam.	Yes	E	Yes	igaku-kyoumu@un.tsukuba.ac.jp	http://www.tsukuba.ac.jp/en/students/finance/scholarships	
7	Liberal Arts													
7-1	Akita International University	Faculty of International Liberal Arts	Liberal Arts	Arts	April Intake: Oct 21 - Nov 2, 2020 September Intake: Feb 1 - Feb 26, 2021	Apr. 2021 - Mar. 2024 September Enrollment: Sep. 2021 - Aug. 2024	Acceptable	All applicants for whom English is not their native language must present a valid score of one of the following: TOEFL-IBT® TEST, TOEFL® PBT TEST, TOEIC® TEST, IELTS, EIKEN, GTEC, TEAP.	No	E	Yes	info@aiu.ac.jp	https://web.aiu.ac.jp/en/degree/undergraduate-programs/scholarships/	
7-2	Hiroshima University	School of Integrated Arts and Sciences, Department of Integrated Global Studies (IGS)	Integrated Arts and Sciences	Arts and Sciences	Overseas Interview Examination for International and Japanese Applicants in November: Oct 2020	Apr. 2021	Acceptable	Required the certain scores in the English Language Proficiency tests designated by IGS. The detailed information is available at the application guide.	(Partially) Yes	E	Yes	igs-application@hiroshima-u.ac.jp	https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/igs/scholarships	
7-3	Sophia University	Faculty of Liberal Arts	Liberal Arts (Comparative Cultures, Sociology, International Business and Economics)	Arts	<April Intake> 1st Call: Aug. 26- Sep. 16, 2020 2nd Call: Nov. 18- Dec. 9, 2020 3rd Call: Nov. 18- Dec. 9, 2020 2nd Call: Mar. 17- Apr. 7, 2021	Sep. 21, 2021 (4 years)	IB Diploma, GCE A-levels in three subjects, SAT, ACT	TOEFL-IBT or IELTS required if not studied for more than five years out of the last six years in institutions where English is the primary language of instruction.	Yes	E	Yes	admission-u-co@sophia.ac.jp	https://www.sophia.ac.jp/eng/studentlife/scholarships/index.html	
7-4	The University of Tokyo	The International Program on Japan in East Asia	Liberal Arts	Liberal Arts	TBA	Sep. 2021	Acceptable	Required if you have not received at least four school years of the first six school years and at least five of the second six school years in English.	TBA	E	Yes	contact-intl.admissions.adm@gs.m.u-tokyo.ac.jp	https://peak.c.u-tokyo.ac.jp/ees_scholarships/index.html	
7-5	The University of Tokyo	The International Program on Environmental Sciences	Liberal Arts	Liberal Arts	TBA	Sep. 2021	Acceptable	Required if you have not received at least four school years of the first six school years and at least five of the second six school years in English.	TBA	E	Yes	contact-intl.admissions.adm@gs.m.u-tokyo.ac.jp	https://peak.c.u-tokyo.ac.jp/ees_scholarships/index.html	

No.	University	Programme	Areas of Studies	Degree Title	Period of Application	Timing of Enrollment	Criteria for Application		Online Application	Language (E/English, J/Japanese)	Japanese Language Education	Note	E-mail Address for Inquiries	Financial Support
							International Baccalaureate DP, GCE A Level, Baccalaureat, WASC, CIS, etc.	English-Language Requirement (TOEFL, IELTS etc.)						
7-6	Waseda University	School of International Liberal Studies (SILS)	Liberal Arts	Arts in International Liberal Studies	TBA	Apr. 2021 - Sep. 2021	Acceptable	One of the following test scores are to be submitted (There will be a valid period of the score) TOEFL-IBT, TOEIC L&R, IELTS (Academic), GEPT, EIKEN	Yes	E	Yes	nyushi21-intl@lsl.waseda.jp	https://www.waseda.jp/inst/cle/en/ife/aid	
8	Global Studies and International Relations													
8-1	Ritsumeikan University	Global Studies Major (GS)	International Law, Peace and Conflict Studies, International Human Rights, The United Nations, Global Environmental Issues, International Development Gender Issues, Race and Ethnicity, Global Media	Arts in International Relations	April Intake: 1) Aug 26 - Sep 15, 2020 September Intake: 2) Jan 12, 2020 - Jan 12, 2021 Feb 17 - Mar 9, 2021	For 1): Apr. 2021 For 2) and 3): Sep. 2021	Acceptable	Minimum Scores: TOEFL-IBT® Test 76 IELTS 6.0 See Application Handbook available http://en.itsumei.ac.jp/e-ug/apply/download.html	Yes	E	Yes	hello@st.ritsumeikan.ac.jp	http://en.ritsumeikan.ac.jp/e-ug/financial_info/scholarships.html	
8-2	Ritsumeikan University	American University-Ritsumeikan Joint Degree Program (JDP)	US-Japan Relations, Global and Comparative Governance, Peace, Global Security, Conflict Resolution, Identity, Culture, Gender and Culture, Global IR	Arts in Global International Relations	April Intake: Aug 26 - Sep 15, 2020	Apr. 2021	Acceptable	Minimum Scores: TOEFL-IBT® Test 85 (20 in each section) / IELTS 6.5 (6.0 in each component) / PTE Academic 60 / SAT Reading Test sub-score 30 / ACT English Score 25 Score Waiver: See Application Handbook available http://en.itsumei.ac.jp/e-ug/apply/download.html	Yes	E	Yes	hello@st.ritsumeikan.ac.jp	http://en.ritsumeikan.ac.jp/e-ug/financial_info/scholarships.html	
8-3	Tokyo International University	English Track International Relations (BA)	International Relations: Global Governance, International Security, International Cultural and Society, Regional Studies	Arts in International Relations	<April Intake> 1) Nov 15, 2020 - Sep 16, Oct 17, 2020 <September Intake> 1) Nov 4 - Nov 25, 2020 2) Jan 6 - Jan 27, 2021 3) Feb 17 - Mar 10, 2021 4) Mar 31 - Apr 21, 2021	Apr. 2021 / Sep. 2021	Acceptable	TOEFL-IBT® Test 61 TOEIC 700 IELTS 5.5 Pearson PTE Academic 45 Duolingo 90 EIKEN Pre-1 Score Waiver: See our website for more: https://www.tiu.ac.jp/track/ admissions/procedures.html The requirement for transfer students is different.	Yes	E	Yes (Built into curriculum, Mandatory for graduation)	et-track-admissions@tiu.ac.jp	https://www.tiu.ac.jp/track/cos/reductions.html	
8-4	Toyo University	Department of Global Innovation Studies	Interdisciplinary (Business, Economics, Sociology, and Other Social Studies Fields)	Arts in Global Innovation Studies	1) Aug 2020 2) Oct 2020	Apr. 2021 (4 years)	Acceptable	Either TOEFL-IBT, IELTS, or TOEIC required	Yes	E/J	Yes	miglobai@toyo.jp	http://www.toyo.ac.jp/mushien/international-student/fee/	
8-5	Toyo University	Department of Regional Development Studies	Interdisciplinary (Development Studies, Economics, Sociology and Other Fields)	Arts in Regional Development Studies	1) Aug 2020 2) Oct 2020	Apr. 2021 (4 years)	Acceptable	Either TOEFL-IBT, IELTS, or TOEIC required	Yes	E/J	Yes	miglobai@toyo.jp	http://www.toyo.ac.jp/mushien/international-student/fee/	
8-6	University of Tsukuba	Bachelor's Program in Global Issues	Global Environment, Risk and Security, Social Diversity and Inclusiveness, Human Health and Wellbeing	Arts and Science	Early March-Early April (Details will be announced in December)	Oct. 2021	Acceptable	TOEFL (IBT): 79 or higher TOEIC Listening & Reading: 730 or higher IELTS (Academic): 6.0 or higher	Yes	E	Yes	bgpi-office@un.tsukuba.ac.jp	http://www.tsukuba.ac.jp/en/students/finance/scholarships	
9	Japanese Studies Program													
9-1	Hokkaido University	Modern Japanese Studies Program (MJSF)	Japanese Studies (Japanese Language + History, Culture, Society, Political Economy)	Japanese Studies	1st call: Oct. 26- Nov. 17, 2020 2nd call: Feb. 1-26, 2021	6-month Intensive Japanese Course: Oct. 2021 Bachelor's Component: Apr. 2022	Acceptable	Mother tongue English OR 4 years or more of secondary education with English as the primary language of instruction OR English ability of IELTS (Academic Module) 6.5, TOEFL-IBT 79, TOEFL-PBT 550 or higher. *As of the application for April 2022 enrollment.	(Partially) Yes	E/J	Yes (6-month Intensive Japanese Course before the Bachelor's Component)	mjsf@oa.hokudai.ac.jp	https://www.oia.hokudai.ac.jp/mjsf/prospectivestudents/fees_and_scholarships/	
9-2	Meiji University	School of Global Japanese Studies: English Track	Contemporary Japanese studies (Culture and Art, Business and Society and Globalization). This curriculum also places an emphasis on Japanese language education.	Global Japanese Studies	April Intake: Oct 2020 - Sep 2021 September Intake: Apr 1, 2021 - Apr 14, 2021	Apr. and Sep.	Acceptable	Applicants must have a required score in one of the following English proficiency tests: TOEFL-IBT® 80 or above IELTS™ 6.0 or above Cambridge English Qualifications General and Higher education: B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiency. Overall Score 168 or above SAT® Reading test: 27 or above AND Writing and Language test: 28 or above	(Partially) Yes	E/J	Yes	inaka-nok@meiji.ac.jp	https://www.meiji.ac.jp/cp/english/prospectivestudent/financial.html	
9-3	Tokyo University of Foreign Studies	School of Japan Studies	Japanese Language, Japan Studies	Arts (Language and Area Studies)	Aug 31, 2020 - Sep 11, 2020	Apr. 2021	Acceptable	Required CEFR B2 or more in TOEFL-IBT, IELTS, TOEIC L&R&W, Cambridge English if your native language is not English or if you have not received secondary education in English.	No	E/J	Yes	geo@tufs.ac.jp	http://www.tufs.ac.jp/documents/stuber/tuition_scholarship_en.pdf	

添付3：サブサハラ・アフリカー日本の大学間における協定校リスト

a 学生の交流
b 教員・研究者の派遣、研修、その他の交流
c 単位の互換
d ダブル・タイグリー
e 共同研究の実施
f 締結先大学の学生の受入に伴う奨学金の支給

出典：文部科学省
「海外の大学との大学間交流協定（平成28年度）」
より引用

設置 形態	日本側機関 大学名	協定または賞書	協定等名		日本語表記	相手方大学の大学名	協定等の内容							
			和文協定の有無	英語表記			国名	a	b	c	d	e	f	
国立	北海道大学	包括的な協定【付属あり】	なし	Academic Exchange Agreement	国際水環境技術学院	International Institute for Water and Environmental Engineering	ブルキナファソ	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	個別的な協定	なし	Memorandum of Understanding on Student Exchange	国際水環境技術学院	International Institute for Water and Environmental Engineering	ブルキナファソ	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定【単体】	学術交流に関する協定書	Academic Exchange Agreement	クワメエンクルマ科学技術大学 理学部	College of Science, Kwame Nkrumah University of Science and Technology	ガーナ	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定【単体】	学術交流に関する協定書	Memorandum of Understanding	サンビア大学獣医学部	Samora Machel School of Veterinary Medicine, University of Zambia	サンビア	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定【単体】	学術交流に関する協定書	Memorandum of Understanding	ジンバブエ大学獣医学部	Faculty of Veterinary Science, University of Zimbabwe	ジンバブエ	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定【単体】	学術交流に関する協定書	Memorandum of Understanding	ハルツーム大学 獣医学部	Faculty of Veterinary Medicine, University of Khartoum	スーダン	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定【付属あり】	学術交流に関する協定書	Academic Exchange Agreement	ナイジェリア大学、エボニ州立大学	University of Nigeria, Ebonyi State University	ナイジェリア	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定	学生交流に関する賞書	Memorandum of Understanding	ナイジェリア大学、エボニ州立大学	University of Nigeria, Ebonyi State University	ナイジェリア	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定【付属あり】	学術交流に関する協定書	Academic Exchange Agreement	ノースウェスト大学	North-West University	南アフリカ	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定	学術交流に関する賞書	Memorandum of Understanding	ノースウェスト大学	North-West University	南アフリカ	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定【付属あり】	学術交流に関する協定書	Academic Exchange Agreement	プレトリア大学	University of Pretoria	南アフリカ	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定	学生交流に関する賞書	Memorandum of Understanding	プレトリア大学	University of Pretoria	南アフリカ	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定【付属あり】	学術交流に関する協定書	Academic Exchange Agreement	ヨハネスブルグ大学	University of Johannesburg	南アフリカ	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定	学術交流に関する賞書	Memorandum of Understanding	ヨハネスブルグ大学	University of Johannesburg	南アフリカ	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定【付属あり】	学術交流に関する協定書	Academic Exchange Agreement	カッツバーヘルト大学	Copperbelt University	ザンビア	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定	学生交流に関する賞書	Memorandum of Understanding	カッツバーヘルト大学	Copperbelt University	ザンビア	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定【付属あり】	学術交流に関する協定書	Academic Exchange Agreement	ザンビア大学	University of Zambia	ザンビア	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道大学	包括的な協定	学生交流に関する賞書	Memorandum of Understanding	ザンビア大学	University of Zambia	ザンビア	○	○	○	○	○	○	○
国立	北海道教育大学	包括的な協定【単体】	北海道教育大学とザンビア 国立大学との協定	Agreement Between The University of Zambia and Hokkaido University of Education	ザンビア大学	University of Zambia	ザンビア	○	○	○	○	○	○	○
国立	東北大学	包括的な協定【付属あり】	なし	Agreement on Academic Exchange between Graduate School of Economics and Management, Tohoku University, Japan and School of Business and Public Management, KCA University	KCA 大学経営・公共管理学院	School of Business and Public Management, KCA University	ケニア	○	○	○	○	○	○	○
国立	東北大学	個別的な協定	なし	Memorandum of Understanding on Student Exchange between Graduate School of Economics and Management, Tohoku University, Japan and School of Business and Public Management, KCA University	KCA 大学経営・公共管理学院	School of Business and Public Management, KCA University	ケニア	○	○	○	○	○	○	○
国立	東北大学	包括的な協定【付属あり】	東北大学大学院理学研究科 とナイジェリア大学（ヌスカ カ）物理学部との間における 学生交流に関する協定書	Agreement on Academic Exchange between Faculty of Physical Sciences, University of Nigeria, Nsukka, Nigeria and Graduate School of Science, Tohoku University, Japan	ナイジェリア大学（ヌスカ） 物理学部	Faculty of Physical Sciences, University of Nigeria, Nsukka	ナイジェリア	○	○	○	○	○	○	○

設置 形態	日本側機関 大学名	協定または賞書	協定等名		日本語表記	相手方大学の大学名	協定等の内容							
			和文協定の有無	英語表記			国名	a	b	c	d	e	f	
国立	東北大学	個別的な協定	なし	Memorandum of Understanding on Student Exchange between Faculty of Physical Sciences, University of Nigeria, Nsukka, Nigeria and Graduate School of Science, Tohoku University, Japan	ナイジェリア大学（ヌスカ） 物理学部	Faculty of Physical Sciences, University of Nigeria, Nsukka	ナイジェリア	○	○	○	○	○	○	○
国立	東北大学	包括的な協定【付属あり】	なし	Agreement on Academic Exchange between Tohoku University Sendai, Japan and the University of Kwazulu-Natal, Durban, Republic of South Africa	クワズールー・ナタール大学	University of Kwazulu-Natal	南アフリカ	○	○	○	○	○	○	○
国立	東北大学	個別的な協定	なし	Memorandum of Understanding on Student Exchange between Tohoku University, Japan and the University of Kwazulu-Natal, Durban, Republic of South Africa	クワズールー・ナタール大学	University of Kwazulu-Natal	南アフリカ	○	○	○	○	○	○	○
国立	東北大学	個別的な協定	なし	Memorandum of Agreement for Academic Collaboration between The University of Johannesburg and Tohoku University	ヨハネスブルグ大学	University of Johannesburg	南アフリカ	○	○	○	○	○	○	○
国立	秋田大学	包括的な協定【付属あり】	なし		テテ工科大学	Polytechnic Institute of Tete	モザンビーク	○	○	○	○	○	○	○
国立	秋田大学	個別的な協定	なし		テテ工科大学	Polytechnic Institute of Tete	モザンビーク	○	○	○	○	○	○	○
国立	秋田大学	包括的な協定【付属あり】	なし		ボツワナ国際科学技術大学	Botswana International University of Science and Technology	ボツワナ	○	○	○	○	○	○	○
国立	秋田大学	個別的な協定	なし		ボツワナ国際科学技術大学	Botswana International University of Science and Technology	ボツワナ	○	○	○	○	○	○	○
国立	秋田大学	包括的な協定【付属あり】	なし		ボツワナ大学	University of Botswana	ボツワナ	○	○	○	○	○	○	○
国立	秋田大学	個別的な協定	なし		ボツワナ大学	University of Botswana	ボツワナ	○	○	○	○	○	○	○
国立	秋田大学	包括的な協定【付属あり】	なし		ケニヤッタ大学	Kenyatta University	ケニア	○	○	○	○	○	○	○
国立	秋田大学	個別的な協定	なし		ケニヤッタ大学	Kenyatta University	ケニア	○	○	○	○	○	○	○
国立	秋田大学	包括的な協定【付属あり】	なし		エドゥアルド・モンドラーネ 大学	Eduardo Mondlane University	モザンビーク	○	○	○	○	○	○	○
国立	秋田大学	個別的な協定	なし		エドゥアルド・モンドラーネ 大学	Eduardo Mondlane University	モザンビーク	○	○	○	○	○	○	○
国立	秋田大学	包括的な協定【単体】	なし		ヴィツワウオーターズランド 大学	University of the Witwatersrand	南アフリカ	○	○	○	○	○	○	○
国立	秋田大学	包括的な協定【単体】	なし		サンビア大学鉱山学部	School of Mines, University of Zambia	ザンビア	○	○	○	○	○	○	○
国立	秋田大学	包括的な協定【単体】	なし		ザンビア大学工学部	School of Engineering, University of Zambia	ザンビア	○	○	○	○	○	○	○
国立	山形大学	包括的な協定【単体】	なし	AGREEMENT OF COOPERATION BETWEEN THE UNIVERSITY OF DAR ES SALAAM OF TANZANIA AND THE YAMAGATA UNIVERSITY OF JAPAN	ダルエスサラーム大学	University of Dar Es Salaam	タンザニア	○	○	○	○	○	○	○
国立	山形大学	包括的な協定【付属あり】	なし	MEMORANDUM OF UNDERSTANDING BETWEEN JOMO KENYATTA UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND TECHNOLOGY AND YAMAGATA UNIVERSITY	ジョモケニヤッタ農工大学	Jomo Kenyatta University of Agriculture and Technology	ケニア	○	○	○	○	○	○	○
国立	山形大学	個別的な協定	なし	AGREEMENT ON STUDENT EXCHANGE BETWEEN JOMO KENYATTA UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND TECHNOLOGY AND YAMAGATA UNIVERSITY	ジョモケニヤッタ農工大学	Jomo Kenyatta University of Agriculture and Technology	ケニア	○	○	○	○	○	○	○
国立	山形大学	包括的な協定【単体】	なし	MEMORANDUM OF UNDERSTANDING BETWEEN THE UNIVERSITY OF DODOMA AND YAMAGATA UNIVERSITY	ドドマ大学	University of Dodoma	タンザニア	○	○	○	○	○	○	○
国立	山形大学	包括的な協定【付属あり】	なし	MEMORANDUM OF UNDERSTANDING BETWEEN UNIVERSITY OF ABOMEY- CALAVI AND YAMAGATA UNIVERSITY	アボメカラビ大学	Abomey-Calavi University	ベナン	○	○	○	○	○	○	○

設置 形態	日本側機関 大学名	協定または覚書	和文協定の有無	協定等名		相手方大学の大学名		国名	協定等の内容					
				和文協定の有無	英語表記	日本語表記	英語表記		a	b	c	d	e	f
国立	山形大学	個別的な協定		AGREEMENT ON STUDENT EXCHANGE BETWEEN UNIVERSITY OF ABOMEY-CALAVI AND YAMAGATA UNIVERSITY	Abomey-Calavi University	ベナン	○	○						
国立	筑波大学	個別的な協定	ナイジェリア大学との学術交流及び協力に関する協定	Agreement for academic exchanges and cooperation: University of Nigeria	University of Nigeria	ナイジェリア	○	○	○	○				
国立	筑波大学	個別的な協定	高等技術学院との学術交流及び協力に関する協定	Agreement for academic exchanges and cooperation: Institute of Science and Technology	高等技術学院	モーリタニア	○	○	○	○				
国立	宇都宮大学	包括的な協定【単体】	宇都宮大学農学部とガーナ大学基礎応用科学部との間における学術交流に関する協定	Memorandum of Understanding on Academic Exchange between University of Ghana, on behalf of the College of Basic and Applied Sciences, Republic of Ghana and the Faculty of Agriculture, Utsunomiya University, Japan	University of Ghana 基礎応用科学部	ガーナ	○	○	○	○				
国立	千葉大学	包括的な協定【単体】	千葉大学環境健康フイールド科学センターとガーナ大学農学部力テ農業研究センターとの間の学術交流及び協力に関する協定	Agreement for academic exchange and cooperation between Center for Environment, Health and Field Sciences, Chiba University, Japan and Forest and Horticultural Crops Research Centre, College of Agriculture and Consumer Sciences, belonging to University of Ghana at Legon, Accra, Ghana	Forest and Horticultural Crops Research Centre, College of Agriculture and Consumer Sciences, belonging to University of Ghana at Legon	ガーナ	○	○	○	○				
国立	東京大学	包括的な協定【付属あり】	東京大学院新領域創成科学研究科とイバダン大学との間における学術交流協定	MEMORANDUM OF UNDERSTANDING BETWEEN THE GRADUATE SCHOOL OF FRONTIER SCIENCES, THE UNIVERSITY OF TOKYO AND THE UNIVERSITY OF IBADAN	イバダン大学	ナイジェリア	○	○	○	○				
国立	東京大学	個別的な協定	東京大学院新領域創成科学研究科とイバダン大学との間における学術交流協定	MEMORANDUM ON STUDENT EXCHANGE BETWEEN THE GRADUATE SCHOOL OF FRONTIER SCIENCES, THE UNIVERSITY OF TOKYO AND THE UNIVERSITY OF IBADAN	イバダン大学	ナイジェリア	○	○	○	○				
国立	東京大学	包括的な協定【付属あり】	東京大学院新領域創成科学研究科とケープタウン大学との間における学術交流協定	MEMORANDUM ON STUDENT EXCHANGE BETWEEN THE GRADUATE SCHOOL OF FRONTIER SCIENCES, THE UNIVERSITY OF TOKYO AND THE FACULTY OF ENGINEERING AND THE BUILT ENVIRONMENT, THE UNIVERSITY OF CAPE TOWN	University of Cape Town, Faculty of Engineering and the Built Environment	南アフリカ	○	○	○	○				
国立	東京大学	個別的な協定	東京大学院新領域創成科学研究科とケープタウン大学との間における学術交流協定	AGREEMENT ON ACADEMIC EXCHANGE BETWEEN THE GRADUATE SCHOOL OF FRONTIER SCIENCES, THE UNIVERSITY OF TOKYO AND ABOMEY-CALAVI UNIVERSITY	University of Cape Town, Faculty of Engineering and the Built Environment	南アフリカ	○	○	○	○				
国立	東京大学	包括的な協定【単体】	なし	AGREEMENT ON ACADEMIC EXCHANGE BETWEEN RESEARCH INTO ARTIFACTS, CENTER FOR ENGINEERING, THE UNIVERSITY OF TOKYO AND ABOMEY-CALAVI UNIVERSITY	Abomey-Calavi University	ベナン	○	○						
国立	東京大学	包括的な協定【付属あり】	東京大学院新領域創成科学研究科とナイロビ大学との間における学術交流協定	AGREEMENT ON ACADEMIC EXCHANGE BETWEEN THE UNIVERSITY OF NAIROBI AND THE GRADUATE SCHOOL OF FRONTIER SCIENCES, THE UNIVERSITY OF TOKYO	ナイロビ大学	ケニア	○	○	○	○				

設置 形態	日本側機関 大学名	協定または覚書	和文協定の有無	協定等名		相手方大学の大学名		国名	協定等の内容					
				和文協定の有無	英語表記	日本語表記	英語表記		a	b	c	d	e	f
国立	東京大学	個別的な協定	東京大学院新領域創成科学研究科とナイロビ大学との間における学術交流協定	MEMORANDUM ON STUDENT EXCHANGE BETWEEN THE UNIVERSITY OF NAIROBI AND THE GRADUATE SCHOOL OF FRONTIER SCIENCES, THE UNIVERSITY OF TOKYO	ナイロビ大学	ケニア	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定【付属あり】	国際学術交流協定	Agreement for Academic Exchange and Cooperation	ガーナ大学	ガーナ	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定	学生交流に関する覚書	Memorandum on Student Exchanges	ガーナ大学	ガーナ	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定【付属あり】	国際学術交流協定	Agreement for Academic Exchange and Cooperation	チャンン大学	カメルーン	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定	学生交流に関する覚書	Memorandum on Student Exchanges	チャンン大学	カメルーン	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定【付属あり】	国際学術交流協定	Agreement for Academic Exchange and Cooperation	ザンビア大学	ザンビア	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定	学生交流に関する覚書	Memorandum on Student Exchanges	ザンビア大学	ザンビア	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定【付属あり】	国際学術交流協定	Agreement for Academic Exchange and Cooperation	ジンバブエ大学	ジンバブエ	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定	学生交流に関する覚書	Memorandum on Student Exchanges	ジンバブエ大学	ジンバブエ	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定【単体】	国際学術交流協定	Agreement for Academic Exchange and Cooperation	マリ共和国人文科学研究所	マリ	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定【付属あり】	国際学術交流協定	Agreement for Academic Exchange and Cooperation	ルリオ大学	モザンビーク	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定	学生交流に関する覚書	Memorandum on Student Exchanges	ルリオ大学	モザンビーク	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定【付属あり】	国際学術交流協定	Agreement for Academic Exchange and Cooperation	エドゥアルド・モンドラーネ大学	モザンビーク	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定	学生交流に関する覚書	Memorandum on Student Exchanges	エドゥアルド・モンドラーネ大学	モザンビーク	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定【付属あり】	国際学術交流協定	Agreement for Academic Exchange and Cooperation	プロテスタント人文・社会科学大学	ルワンダ	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定	学生交流に関する覚書	Memorandum on Student Exchanges	プロテスタント人文・社会科学大学	ルワンダ	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定【付属あり】	国際学術交流協定	Agreement for Academic Exchange and Cooperation	プレトリア大学	南アフリカ	○	○	○	○				
国立	東京外国語大学	包括的な協定	学生交流に関する覚書	Memorandum on Student Exchanges	プレトリア大学	南アフリカ	○	○	○	○				
国立	東京学芸大学	包括的な協定【付属あり】	学術交流に関する覚書	Agreement on Academic Exchange	ダルエスサラーム大学教育学部	タンザニア	○	○	○	○				
国立	東京学芸大学	包括的な協定【付属あり】	学術交流に関する覚書	Memorandum of Understanding Regarding the Exchange of Students	ダルエスサラーム大学教育学部	タンザニア	○	○	○	○				
国立	東京農工大学	協定	ガーナ大学と東京農工大学との学術交流及び協力のための協定書	AGREEMENT FOR SCHOLARLY EXCHANGE AND COLLABORATION BETWEEN THE UNIVERSITY OF GHANA AND THE TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND TECHNOLOGY	ガーナ大学	ガーナ	○	○	○	○				
国立	東京農工大学	覚書	覚書	MEMORANDUM OF UNDERSTANDING	ガーナ大学	ガーナ	○	○	○	○				
国立	東京海洋大学	包括的な協定【付属あり】	なし	Joint Declaration of Cooperation	ナミビア大学	ナミビア	○	○	○	○				
国立	東京海洋大学	個別的な協定	なし	Memorandum of Understanding on Student Exchange Program	ナミビア大学	ナミビア	○	○	○	○				
国立	一橋大学	個別的な協定	学術・人物交流に関する協定	Agreement for the promotion of academic cooperation and exchange of personnel	マケレレ大学	ウガンダ	○	○	○	○				
国立	一橋大学	個別的な協定	学術・人物交流に関する協定	Agreement for the promotion of academic cooperation and exchange of personnel	タルエスサラーム大学	タンザニア	○	○	○	○				
国立	横浜国立大学	個別的な協定	学術交流協定・学生交流覚書	Academic Exchange Agreement & Student Exchange Memorandum	ナイロビ大学	ケニア	○	○	○	○				

設置 形態	日本側機関 大学名	協定または覚書	協定等名		日本語表記	相手方大学の大学名 英語表記	国名	協定等の内容						
			和文協定の有無	英語表記				a	b	c	d	e	f	
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	国際熱帯農業研究所と京都大学大学院農学研究科、アジア・アフリカ地域研究センターとの学術協力・交流に関する覚書	Memorandum of Understanding for Academic Exchange and Research Cooperation between The International Institute of Tropical Agriculture, Ibadan, Nigeria, The Graduate School of Agriculture, Kyoto University, Japan, The Graduate School of Asian and African Area Studies (ASAFAS), Kyoto University, Japan, The Graduate School of Global Environmental Studies (GSGES), Kyoto University, Japan	国際熱帯農業研究所	International Institute of Tropical Agriculture	ナイジェリア	○						
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科、アフリカ地域研究センターとマケレレ大学人文社会科学カレッジの学術協定	Agreement of Cooperation between the College of Humanities and Social Sciences, Makerere University, Uganda, and the Graduate School of Asian and African Area Studies, and Center for African Area Studies, Kyoto University, Japan	マケレレ大学	Makerere University	ウガンダ	○	○					
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	京都大学生態学センターとケニア海洋水産研究所との学術交流に関する一般的覚書	Agreement for Academic Cooperation and Exchange between the Center for Ecological Research, Kyoto University and Kenya Marine and Fisheries Research Institute	ケニア海洋水産研究所	Kenya Marine and Fisheries Research Institute	ケニア	○	○					
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	豊長類研究所とキンシャサ大学理学部との学術交流協定	AGREEMENT FOR ACADEMIC EXCHANGE AND COOPERATION BETWEEN THE FACULTY OF SCIENCE, UNIVERSITY OF KINSHASA, D.R. CONGO AND THE PRIMATE RESEARCH INSTITUTE, KYOTO UNIVERSITY, JAPAN	キンシャサ大学	Kinshasa University	コンゴ共和国	○	○					
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	タンザニア野生動物研究所と京都大学野生動物研究センターとの学術協力に関する一般協定	General Memorandum for Academic Cooperation between Tanzania Wildlife Research Institute (TAWIRI), Arusha, Tanzania and the Wildlife Research Center of Kyoto University, Kyoto, Japan	タンザニア野生動物研究所	Tanzania Wildlife Research Institute	タンザニア	○	○					
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	ケープコースト大学地理学・地域計画教室と京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科、京都大学アフリカ地域研究資料センターとの学術交流協定	Memorandum of Understanding for Academic Exchange and Research Cooperation between The Department of Geography and Regional Planning, University of Cape Coast, Ghana and The Graduate School of Asian and African Area Studies (ASAFAS), Kyoto University, Japan and The Center for African Area Studies (CAAS), Kyoto University, Japan	ケープコースト大学	University of Cape coast	カーナ	○	○					
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	ソコイネ農業大学の学術交流に関する一般的覚書	GENERAL MEMORANDUM FOR ACADEMIC COOPERATION AND EXCHANGE BETWEEN SOKOINE UNIVERSITY OF AGRICULTURE, MOROGORO, TANZANIA AND THE FACULTY OF AGRICULTURE, KYOTO UNIVERSITY, JAPAN	ソコイネ農業大学	Sokoine University of Agriculture	タンザニア	○	○					
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	チャナン大学農学部と京都大学大学院農学部高解像度トランソミッション電子顕微鏡検査センターとの学術交流に関する覚書	MEMORANDUM OF UNDERSTANDING FOR ACADEMIC AND SCIENTIFIC COOPERATION AND EXCHANGE BETWEEN THE INSTITUTE OF ADVANCED ENERGY, KYOTO UNIVERSITY AND THE CENTER FOR HIGH RESOLUTION TRANSMISSION ELECTRON MICROSCOPY, NELSON MANDELA METROPOLITAN UNIVERSITY	チャナン大学	University of Dschang	カメルーン	○	○					

設置 形態	日本側機関 大学名	協定または覚書	協定等名		日本語表記	相手方大学の大学名 英語表記	国名	協定等の内容						
			和文協定の有無	英語表記				a	b	c	d	e	f	
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	京都大学エネルギー理工学研究科とネルソンマンデラメトロポリタン大学高解像度トランソミッション電子顕微鏡検査センターとの学術交流協定	MEMORANDUM FOR ACADEMIC COOPERATION AND EXCHANGE BETWEEN THE INSTITUTE OF ADVANCED ENERGY, KYOTO UNIVERSITY AND THE CENTER FOR HIGH RESOLUTION TRANSMISSION ELECTRON MICROSCOPY, NELSON MANDELA METROPOLITAN UNIVERSITY	ネルソンマンデラメトロポリタン大学	Nelson Mandela Metropolitan University	南アフリカ	○	○					
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	キンシャサ大学内、ユネスコ・アフリカ地域熱帯雨林と土地統合管理大学校と京都大学野生動物研究センターとの学術協力に関する覚書	GENERAL MEMORANDUM FOR ACADEMIC COOPERATION between UNESCO Regional Post-graduate School for Integrated Management of lands and Tropical Forests of UNESCO, Kinshasa University, Kinshasa, Democratic Republic of the Congo and the Wildlife Research Center of Kyoto University, Kyoto, Japan	1.ユネスコ・アフリカ地域熱帯雨林 2.土地統合管理大学校	1.UNESCO Regional Post-graduate School for Integrated Management of lands and Tropical Forests of UNESCO, Kinshasa University, Kinshasa, Democratic Republic of the Congo	コンゴ共和国	○	○					
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	京都大学とマケレレ大学との大学間学術交流協定	Memorandum of Understanding for Academic Co-operation and Exchange between Makerere University and Kyoto University	マケレレ大学	Makerere University	ウガンダ	○	○					
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	京都とカーナ大学との大学間学術交流協定	GENERAL MEMORANDUM FOR ACADEMIC COOPERATION AND EXCHANGE BETWEEN KYOTO UNIVERSITY AND UNIVERSITY OF GHANA	カーナ大学	University of Ghana	カーナ	○	○					
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	京都大学とコナクリ大学との大学間学術交流協定	General Memorandum for Academic Cooperation and Exchange between Kyoto University and University of Conakry	コナクリ大学	University of Conakry	ギニア	○	○					
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	京都大学とキンシャサ大学との大学間学術交流協定	General Memorandum for Academic Cooperation and Exchange between Kyoto University and University of Kinshasa	キンシャサ大学	University of Kinshasa	コンゴ共和国	○	○					
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	京都大学とハルツーム大学との大学間学術交流協定	General Memorandum for Academic Cooperation and Exchange between Kyoto University and University of Khartoum	ハルツーム大学	University of Khartoum	スーダン	○	○					
国立	京都大学	包括的な協定【単体】	京都大学とボツワナ大学との大学間学術交流協定	General Memorandum for Academic Cooperation and Exchange between Kyoto University and The University of Botswana	ボツワナ大学	University of Botswana	ボツワナ	○	○					
国立	大阪大学	個別的な協定	学術交流協定	Memorandum of Understanding on Academic Exchange	コツパーヘルト大学	Copperbelt University	ザンビア	○	○					
国立	大阪大学	個別的な協定	学術交流協定	Agreement on Academic Exchange	フリーステート大学・人文科学部	Faculty of the Humanities, University of Free State	南アフリカ	○	○					
国立	大阪大学	包括的な協定【付属あり】	医学系研究科	Graduate School of Medicine Faculty of Medicine	アル・サイエム アル・アズハリ大学医学部	Faculty of Medicine Alzaiem Alazhari University	スーダン	○	○					
国立	大阪大学	個別的な協定	医学系研究科	Graduate School of Medicine Faculty of Medicine	アル・サイエム アル・アズハリ大学医学部	Faculty of Medicine Alzaiem Alazhari University	スーダン	○	○					
国立	大阪大学	包括的な協定【付属あり】	医学系研究科	Graduate School of Medicine Faculty of Medicine	アル・サイエム アル・アズハリ大学医学部	Faculty of Medical Technical Sciences Alzaiem Alazhari University	スーダン	○	○					
国立	大阪大学	個別的な協定	医学系研究科	Graduate School of Medicine Faculty of Medicine	アル・サイエム アル・アズハリ大学医学部	Faculty of Medical Technical Sciences Alzaiem Alazhari University	スーダン	○	○					
国立	神戸大学	包括的な協定【単体】	なし	N/A	ハリツーム国立研究所	National Centre for Research (NCR)	スーダン	○	○					
国立	神戸大学	包括的な協定【単体】	なし	N/A	マセノ大学	Maseno University	ケニア	○	○					
国立	神戸大学	包括的な協定【単体】	なし	N/A	ダルエスサラーム大学	University of Dar Es Salaam	タンザニア	○	○					
国立	神戸大学	包括的な協定【単体】	なし	N/A	カーナ大学	University of Ghana	カーナ	○	○					
国立	神戸大学	包括的な協定【単体】	なし	N/A	マケレレ大学	Makerere University	ウガンダ	○	○					
国立	神戸大学	包括的な協定【単体】	なし	N/A	マラウイ大学	University of Malawi	マラウイ	○	○					

設置 形態	日本側機関 大学名	協定または覚書	協定等名		日本語表記	相手方大学の大学名		国名	協定等の内容					
			和文協定の有無	英語表記		日本語表記	英語表記		a	b	c	d	e	f
国立	長崎大学	包括的な協定【付属あり】	和文協定の有無	英語表記	ケニア中央医学研究所との間の学術交流協定	Kenya Medical Research Institute	Kenya Medical Research Institute	ケニア	○					
国立	長崎大学	個別的な協定			ケニア中央医学研究所と長崎大学熱帯医学研究所間の覚書	Kenya Medical Research Institute	Kenya Medical Research Institute	ケニア	○					
国立	長崎大学	包括的な協定【単体】			長崎大学とナイロビ大学との間の学術交流協定	University of Nairobi	University of Nairobi	ケニア	○					
国立	長崎大学	包括的な協定【単体】			長崎大学とケニア国立海洋水産研究所との間の学術交流協定	Kenya Marine and Fisheries Research Institute	Kenya Marine and Fisheries Research Institute	ケニア	○					
国立	長崎大学	包括的な協定【付属あり】			長崎大学とモイ大学との間の学術交流協定	Moi University	Moi University	ケニア	○	○	○			
国立	長崎大学	個別的な協定			長崎大学とモイ大学との間の学術交流協定に基づく学生交流に関する覚書	Moi University	Moi University	ケニア	○					
国立	長崎大学	包括的な協定【単体】			長崎大学とマセノ大学との間の学術交流協定	Maseno University	Maseno University	ケニア	○	○				
国立	長崎大学	包括的な協定【単体】			長崎大学と南アフリカ国立感染症研究所との間の学術交流協定	National Health Laboratory Service	National Institute for Communicable Diseases of the National Health Laboratory Service	南アフリカ	○	○				
国立	長崎大学	包括的な協定【単体】			長崎大学とムヒンビリ健康科学大学との間の学術交流協定	Muhimbili University of Health and Allied Sciences	Muhimbili University of Health and Allied Sciences	タンザニア	○	○				
国立	長崎大学	包括的な協定【付属あり】			長崎大学とザンビア大学との間の学術交流協定	University of Zambia	University of Zambia	ザンビア	○	○				
国立	長崎大学	個別的な協定			長崎大学とザンビア大学との間の学術交流協定に基づく長崎大学とザンビア大学との間における学生交流に関する覚書	University of Zambia	University of Zambia	ザンビア	○					
国立	長崎大学	包括的な協定【単体】			長崎大学とキンシャサ大学との間の学術交流協定	Kinshasa	University of Kinshasa	コンゴ民主共和国	○	○				
国立	長崎大学	包括的な協定【単体】			長崎大学とナイジェリア大学との間の学術交流協定	Nigeria	University of Nigeria	ナイジェリア	○	○				
国立	長崎大学	包括的な協定【単体】			長崎大学とセーシェル大学との間の協定	Seychelles	University of Seychelles	セーシェル						
国立	熊本大学	個別的な協定	日本語版無し		長崎大学とセーシェル大学との間の協定			スーダン	○	○				

設置 形態	日本側機関 大学名	協定または覚書	協定等名		日本語表記	相手方大学の大学名		国名	協定等の内容					
			和文協定の有無	英語表記		日本語表記	英語表記		a	b	c	d	e	f
国立	熊本大学	個別的な協定	日本語版無し		長崎大学とハルツーム大学との間の学術交流協定	University of Khartoum	University of Khartoum	スーダン	○	○				
国立	熊本大学	個別的な協定	日本語版無し		長崎大学とプワニ大学との間の学術交流協定	Pwani University	Pwani University	ケニア	○	○				
国立	熊本大学	個別的な協定	日本語版無し		長崎大学とムヒンビリ健康科学大学との間の学術交流協定	Muhimbili University of Health and Allied Sciences	Muhimbili University of Health and Allied Sciences	タンザニア	○	○				
国立	熊本大学	個別的な協定	日本語版無し		長崎大学とムヒンビリ健康科学大学との間の学術交流協定	Muhimbili University of Health and Allied Sciences	Muhimbili University of Health and Allied Sciences	タンザニア	○	○				
国立	熊本大学	個別的な協定	日本語版無し		長崎大学とムブジマイ大学との間の学術交流協定	Mubujimayi University	University of Mbuji-Mayi	コンゴ民主共和国	○	○				
国立	熊本大学	個別的な協定	日本語版無し		長崎大学とムブジマイ大学との間の学術交流協定	Mubujimayi University	University of Mbuji-Mayi	コンゴ民主共和国	○	○				
国立	熊本大学	個別的な協定	日本語版無し		長崎大学とワガ第一ジョゼフ・キ・セルボ教授大学との間の学術交流に関する覚書	Joseph Kibondo University	University Ouaga 1 Professor Joseph Kibondo ZERBO	ブルキナファソ	○	○				
国立	熊本大学	個別的な協定	日本語版無し		長崎大学とルワンダ国立大学との間の学術交流協定	University of Rwanda	University of Rwanda	ルワンダ	○	○				
国立	熊本大学	個別的な協定	日本語版無し		長崎大学とルワンダ国立大学との間の学術交流協定	University of Rwanda	University of Rwanda	ルワンダ	○	○				
国立	熊本大学	個別的な協定	日本語版無し		長崎大学とジブチ大学との間の学術交流協定	Djibouti University	Djibouti University	ジブチ	○	○				
国立	鹿児島大学	包括的な協定【付属あり】	なし		長崎大学とナイジェリア連邦大学との間の学術交流協定	Federal University Ndufu Alike Ikwu	Federal University Ndufu Alike Ikwu	ナイジェリア	○	○				
国立	鹿児島大学	包括的な協定【付属あり】	なし		長崎大学とナイジェリア大学との間の学術交流協定	University of Nigeria	University of Nigeria	ナイジェリア	○	○				
国立	鹿児島大学	包括的な協定【単体】	なし		長崎大学とソコイネ農科大学との間の学術交流に関する覚書	Sokoine University of Agriculture	Sokoine University of Agriculture	タンザニア	○	○				
国立	鹿児島大学	包括的な協定【付属あり】	なし		長崎大学とリロングウェ農業天然資源大学との間の学術交流に関する覚書	Lilongwe University of Agriculture and Natural Resources	Lilongwe University of Agriculture and Natural Resources	マラウイ	○	○				
国立	鹿児島大学	包括的な協定【単体】	なし		長崎大学と海洋科学技術大学との間の学術交流協定	College of Marine Science and Technology	College of Marine Science and Technology	エリトリア	○	○				
国立	琉球大学	包括的な協定【付属あり】	琉球大学医学部と南アフリカ共和国ケープタウン大学科学部との国際交流に関する覚書		長崎大学と南アフリカ国立感染症研究所との間の学術交流協定	University of Cape Town	University of Cape Town	南アフリカ	○	○				
国立	琉球大学	個別的な協定	琉球大学医学部と南アフリカ共和国ケープタウン大学科学部との間の学術交流に関する覚書		長崎大学と南アフリカ国立感染症研究所との間の学術交流協定	University of Cape Town	University of Cape Town	南アフリカ	○	○				
国立	北陸先端科学技術大学院大学	包括的な協定【単体】	ウィットウォーターズランド大学と北陸先端科学技術大学院大学との間における相互協力協定		長崎大学とウィットウォーターズランド大学との間の学術交流に関する覚書	University of the Witwatersrand	University of the Witwatersrand	南アフリカ	○	○				

設置 形態	日本側機関 大学名	協定または覚書	協定等名		日本語表記	相手方大学の大学名	英語表記	国名	協定等の内容				
			和文協定の有無	英語表記					a	b	c	d	e
国立	奈良先端科学 技術大学院大学	包括的な協定【付属あり】	学術交流協定	Agreement on Academic Exchanges	ナイロビ大学	University of Nairobi	ケニア	○	○	○	○	○	○
国立	奈良先端科学 技術大学院大学	個別的な協定	学生交流覚書	Memorandum on Student Exchange	ナイロビ大学	University of Nairobi	ケニア	○	○	○	○	○	○
公立	首都大学東京	包括的な協定【単体】	首都大学東京システムデザイン研究科・システムデザイン学部（日本）とナミビアのアポリテック工科大学との学術交流に関する協定書	Agreement between The Graduate School of System Design and the Faculty of System Design, Tokyo Metropolitan University, Japan and Polytechnic of Namibia through The Namibian Institute of Space Technology, at the School of Engineering, for Academic Exchange and Research Collaboration	ナミビアポリテクニク	Polytechnic of Namibia	ナミビア	○	○	○	○	○	○
公立	首都大学東京	包括的な協定【単体】	首都大学東京システムデザイン研究科・システムデザイン学部（日本）とナミビアのアポリテック工科大学との学術交流に関する協定書	Agreement between The Graduate School of System Design and the Faculty of System Design, Tokyo Metropolitan University, Japan and Polytechnic of Namibia through The Namibian Institute of Space Technology, at the School of Engineering, for Academic Exchange and Research Collaboration	ナミビアポリテクニク	Polytechnic of Namibia	ナミビア	○	○	○	○	○	○
公立	横浜国立大学	包括的な協定【単体】	—	Memorandum of Understanding Between Makerere University and Yokohama City University, Japan	マケレレ大学	Makerere University	ウガンダ	○	○	○	○	○	○
公立	京都府立大学	包括的な協定【単体】	京都府立大学大学院生命環境科学研究科とマケレレ大学獣医消費科学部との間の学術交流及び協力に関する協定	Agreement for Academic Exchange and Cooperation between Kyoto Prefectural University, Graduate School of Life and Environmental Sciences and University of Ghana, College of Basic and Applied Sciences	カーナ大学 農業消費科学部	University of Ghana	カーナ	○	○	○	○	○	○
公立	京都府立大学	包括的な協定【単体】	京都府立大学生命環境科学研究科とマケレレ大学獣医消費科学部との間の学術交流及び協力に関する協定	Memorandum for Academic Exchanges and Cooperation, between Kyoto Prefectural University, Graduate School of Life and Environmental Sciences and College of Veterinary Medicine, Animal Resources and Bioscience, Makerere University	マケレレ大学 獣医畜産防務学部	Makerere University	ウガンダ	○	○	○	○	○	○
公立	大阪府立大学	包括的な協定【単体】	モンハンサ工科大学と大阪府立大学の学術交流協定	Agreement for Educational and Scientific Cooperation between Technical University of Mombasa, Kenya and Osaka Prefecture University, Japan	モンハンサ工科大学	Technical University of Mombasa	ケニア	○	○	○	○	○	○
私立	足利工業大学	個別的な協定	交流協定覚書	Memorandum of Understanding	ジョモケニヤッタ農工大学	Jomo Kenyatta University of Agriculture and Technology	ケニア	○	○	○	○	○	○
私立	足利工業大学	個別的な協定	交流協定覚書	Memorandum of Understanding	アディスアベバ大学	Addis Ababa Science and Technology University	エチオピア	○	○	○	○	○	○
私立	足利工業大学	個別的な協定	交流協定覚書	Memorandum of Understanding	ワライソド大学	Walaita Sodo University	エチオピア	○	○	○	○	○	○
私立	足利工業大学	個別的な協定	交流協定覚書	Memorandum of Understanding	メケレレ大学	Mekelle University	エチオピア	○	○	○	○	○	○
私立	明海大学	個別的な協定	なし	COLLABORATION AGREEMENT BETWEEN MEIKAI UNIVERSITY SCHOOL OF DENTISTRY ASAHI UNIVERSITY SCHOOL OF DENTISTRY AND UNIVERSITY OF THE WESTERN CAPE FACULTY OF DENTISTRY	ウエストランケープ大学	University Of the Western Cape	南アフリカ	○	○	○	○	○	○
私立	城西国際大学	包括的な協定【単体】	なし	Academic and Educational Agreement	プステイム大学	Busitema University	ウガンダ	○	○	○	○	○	○
私立	共立女子大学	包括的な協定【単体】	協定書	AGREEMENT OF ACADEMIC COOPERATION AMONG THE UNIVERSITY OF ABOMEY-CALAVI AND (NPO)IFE AND KYORITSU WOMEN'S EDUCATIONAL INSTITUTION	アボメカラビ大学	Abomey-Calavi University	ベナン	○	○	○	○	○	○

設置 形態	日本側機関 大学名	協定または覚書	協定等名		日本語表記	相手方大学の大学名	英語表記	国名	協定等の内容				
			和文協定の有無	英語表記					a	b	c	d	e
私立	杏林大学	包括的な協定【単体】	学術交流協定書	AGREEMENT FOR ACADEMIC EXCHANGE AND COOPERATION	ケニア中央医学研究所	Kenya Medical Research Institute	ケニア	○	○	○	○	○	○
私立	慶應義塾大学	包括的な協定【単体】	慶應義塾大学院政策・メテリア研究科、総合政策学部、環境情報学部と国立教員大学（Gombe Teacher Training College：コンゴ民主共和国）との交流協定の締結（新規）について	MEMORANDUM OF UNDERSTANDING BETWEEN GOMBE TEACHER TRAINING COLLEGE, FACULTY OF ARTS AND HUMANITIES, FACULTY OF SCIENCE, FACULTY OF TECHNICAL, FACULTY OF HOTEL MANAGEMENT, FACULTY OF TOURISM AND KEIO UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDIA AND GOVERNANCE, FACULTY OF POLICY MANAGEMENT, AND FACULTY OF ENVIRONMENT AND INFORMATION STUDIES	コンゴ民主共和国国立教員大学	Gombe Teacher Training College	コンゴ民主共和国	○	○	○	○	○	○
私立	慶應義塾大学	個別的な協定	交換留学協定	Agreement on Student Exchange Program	ウィットウォーターズランド大学	With Business School, University of the Witwatersrand	南アフリカ	○	○	○	○	○	○
私立	工学院大学	包括的な協定【単体】	工学院大学とナミビア大学との学術交流に関する協定書	Academic Exchange Agreement between the University of Namibia and Kogakuin University	ナミビア大学	University of Namibia	ナミビア	○	○	○	○	○	○
私立	工学院大学	包括的な協定【単体】	ルワンダ大学と工学院大学との学術協力および交流に関する協定書	ACADEMIC EXCHANGE AGREEMENT BETWEEN UNIVERSITY OF RWANDA AND KOGAKUIN UNIVERSITY	ルワンダ大学	University of Rwanda	ルワンダ	○	○	○	○	○	○
私立	国士館大学	包括的な協定【単体】	国士館大学とアディス・アベバ大学間の学術交流に関する協定書	Agreement on Academic Exchange And Cooperation Between Kogakuin University and Addis Ababa University	アディスアベバ大学	Addis Ababa University	エチオピア	○	○	○	○	○	○
私立	芝浦工業大学	個別的な協定	協定書	Memorandum of Understanding (MOU)	メケレレ大学	Mekelle University	エチオピア	○	○	○	○	○	○
私立	上智大学	包括的な協定【付属あり】	協定書	Agreement of Cooperation	中央アフリカ・カトリック大学	Catholic University of Central Africa	カメルーン	○	○	○	○	○	○
私立	上智大学	包括的な協定【付属あり】	協定書	Agreement of Cooperation	平和研究・活動センター	Centre de Recherche et d'Action pour la Paix	コートジボワール	○	○	○	○	○	○
私立	上智大学	包括的な協定	交換協定	Exchange Agreement	平和研究・活動センター	Centre de Recherche et d'Action pour la Paix	コートジボワール	○	○	○	○	○	○
私立	上智大学	包括的な協定【付属あり】	協力に関する覚書	Memorandum of Understanding for Academic Cooperation	ステレンボッシュ大学	Stellenbosch University	南アフリカ	○	○	○	○	○	○
私立	上智大学	個別的な協定	学生交換協定	Student Exchange Agreement	ステレンボッシュ大学	Stellenbosch University	南アフリカ	○	○	○	○	○	○
私立	上智大学	包括的な協定【付属あり】	協力に関する覚書	Memorandum of Understanding for Academic Cooperation	アボメカラビ大学	Abomey-Calavi University	ベナン	○	○	○	○	○	○
私立	上智大学	個別的な協定	学生交換協定	Student Exchange Agreement	アボメカラビ大学	Abomey-Calavi University	ベナン	○	○	○	○	○	○
私立	昭和大学	包括的な協定【単体】	交流計画協定	Agreement for Exchange Program	アンタナリボ大学 (医学部間協定)	University of Antananarivo	マダガスカル	○	○	○	○	○	○
私立	東京農業大学	包括的な協定【単体】	覚書	Memorandum of Understanding for Academic Cooperation	ソコイネ農業大学	Sokoine University of Agriculture	タンザニア	○	○	○	○	○	○
私立	東京農業大学	包括的な協定【単体】	覚書	Memorandum of Understanding for Academic Cooperation	ジブチ大学	Djibouti University	ジブチ	○	○	○	○	○	○
私立	東洋大学	包括的な協定【単体】	ジョモ・ケニヤッタ農工大学と東洋大学との覚書	MEMORANDUM OF UNDERSTANDING BETWEEN JOMO KENYATTA UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND TECHNOLOGY (KENYA) AND TOYO UNIVERSITY (JAPAN)	ジョモケニヤッタ農工大学	Jomo Kenyatta University of Agriculture and Technology	ケニア	○	○	○	○	○	○
私立	法政大学	包括的な協定【単体】	学術一般協定	General Agreement	メケレレ大学	Mekelle University	エチオピア	○	○	○	○	○	○
私立	法政大学	包括的な協定【単体】	学術一般協定	General Agreement	フェリックス・ウフエ・ポアニ大学 ワガブー・ジョゼフ・キ・ゼルボ大学	Université Felix Houphouët-boigny Université Ouaga I Pr Joseph KI-ZERBO	コートジボワール ブルキナファソ	○	○	○	○	○	○
私立	法政大学	包括的な協定【単体】	学術一般協定	General Agreement	ソコイネ農業大学	Sokoine University of Agriculture	タンザニア	○	○	○	○	○	○
私立	明治大学	包括的な協定【単体】	明治大学理工学部とケープタウン大学工学・環境工学部との協力協定書	COOPERATION AGREEMENT between FACULTY OF ENGINEERING AND THE BUILT ENVIRONMENT of UNIVERSITY OF CAPE TOWN	ケープタウン大学工学・環境工学部	Faculty of Engineering and the Built Environment, University of Cape Town	南アフリカ	○	○	○	○	○	○

添付4：サブサハラ・アフリカからの留学生向け奨学金リスト

(JASSO 2020 [*Compiled by Hokkaido University Africa Office in Lusaka])

*1. Qualifier
 U: Undergraduate Students
 CT: College of Technology Students
 PT: Professional Training College Students
 M: Master's Program Students
 D: Doctoral Program Students
 JC: Junior College Students

*2 Y= Plural grants permitted
 N= Not permitted

*3 D: Document
 I: Interview
 W: Written examination
 O: Others

渡日後に応募可能な奨学金

No	Scholarship/Foundation	Address/Phone/Fax/Website/E-mail	Qualifier (School Year)*1	Age Limit (at the start of payment)	Eligibility		Plural Grants and Limits (\1,000)*2	Contents (\1,000)	Duration	Application Period	Selection *3	Grantees
					Designated Schools in Japan	Designated Fields of Study						
1	Asumi International Foundation (公財) 暹美国際交流財団	3-5-8 Sakiguchi, Bunkyo-ward, Tokyo 112-0014 Tel 03-3543-7612 Fax 03-3943-1512 http://www.asi.or.jp/ asi-office@asi.or.jp	D (final year)	-	Kanto area (Tokyo, Kanagawa, Saitama, Chiba, Ibaraki, Tochigi, Gunma)	-	N (when 50/M or more)	200/M	1y	Sep. 1- Sep. 30	D, I	14
2	Ishidzu Shun Memorial Scholarship (公益財) 石津俊記念奨学金	Sumitomo Mitsui Trust Bank, Limited 3-33-1 Shiba, Minato-ward, Tokyo 105-8574	D(3)	-	Medical Science	Submission of documents about a study theme and the plan is required	Y	100/M	2y (Apr.-)	Early Apr.- Early May	D	5
3	TOKYO YWCA "Japanese Mothers for International Students" Movement (公財) 東京 YWCA 「留学生の母親」運動	1-8-11, Kandasurugadai, Chiyodaku, Tokyo 101-0062 Tel 03-3293-5424 Fax 03-3293-5570 https://www.tokyo.ywca.or.jp/ peace/ryugakusei/scholarship/	U(1-2) JC(1-2) PT(1-2)	-	-	-	Y 360/Y	30/M	1y	Early May -Mid May	D, I	A few number
4	TEPCO Memorial Foundation (公財) 東電記念財団	1-7-1 Yurakucho, Chiyoda-ward, Tokyo 100-0006 https://www.jpss.jp/en/scholarship/621/	D	28 or under (at the application)	Electricity, Energy	-	N	50/M	Minimum years required for graduation/completion 1y Extendable by reselection	Apr. 1 -June 30	D	5
5	Tonen International Scholarship Foundation (公財) 天能国際奨学金財団	W Bldg. 1-8-15 Kohman, Minato-ward, Tokyo 108-8005 https://www.jpss.jp/en/scholarship/238/	M(1) D	35 or under	Designated schools in the Metropolitan Area	-	N	140/M	University recommendation required	Early Oct.	D, I	3
6	The Tokushukai Scholarship Foundation (公財) 徳洲会国際奨学金財団	Dainichi-Kojimachi Bldg. 4-6-8 Kojimachi, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083 Tel 03-3238-2913 Fax 03-3238-2914 www.tokushukai.org.zaidan@tokushukai.org	PT JC U	-	Priority to medicine or care of the elderly	-	N	100/M	1y	Mid Oct. -Dec. 15	D, I	10
7	JGC-S Scholarship Foundation (公財) 平和奨学金財団 Grant for Post-Graduate Students from Abroad	15-6 Nihombashikabutocho, Chuo-ku, Tokyo 103-0026 Tel 03-3666-8020 Fax 03-3666-8021 http://www.jgcs.or.jp/scholarship/02.html	U M D	-	Science & Technology (except Medical Science, Pharmaceutics, Dentistry)	-	Y	250/Y	1y	Early Apr.	D	TBD
8	Park Young Koo Scholarship Foundation (公財) 朴庸九育英会	3-8-6 Dai 2 Chuo Bldg. Nihonbashi, Chuo-ward 103-0027 Tel 03-3271-3414 Fax 03-3274-5741	M D	Under 30 Under 35 (at the application)	Science & Technology (first priority), Other major also eligible	-	N	70/M	1y (Apr.-)	Mid Feb.- End of Mar.	D, I	10 (As vacancy arises)
9	Heiwa Nakajima Foundation (公財) 平和中島財団 Scholarship for Foreign Students in Japan	Please contact your school directly http://www.hnf.jp/shogaku/	U(2-4) M D	-	-	-	Y 30/M	100/M	1y	Early Sep.- End of Oct.	D	40
10	Honda Beijiro Shogaku Kikin (公益信託) 本田北二郎留學生 奨学金育成奨学金	Please contact designated schools directly https://www.jpss.jp/a/scholarship/399	U(3) M D	-	Science, Technology, Agriculture, Forestry and Marine Science	-	N	1000/Y (paid every 4 months)	Up to 3 y Up to graduation/completion	Mid Feb.- Late Apr.	D	8
11	M. Maeda Memorial Trust (公益信託) 前田三郎奨学金財団	3-33-1 Shiba, Minato-ward, Tokyo 105-8574 https://www.jpss.jp/en/scholarship/731	M(1-2)	under 30	Tokyo U, Chiba U, Keio U, Waseda U, Tokyo U of Foreign Studies	-	Y 100/M	50/M	2y	June 1	D, I	2
12	Mizuho International Foundation (公財) みずほ国際交流奨学金財団	1-1-5 Uchisaiwaicho, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0011 Tel 03-3596-5622 Fax 03-3502-2035 http://mizuhokokusai.la.coocan.jp/report2.html?bityume@mb.infoweb.ne.jp	U R M D	35 or under	Social Science or Humanities	-	N	100/M	2y	May-June	D, I	10

No	Scholarship/Foundation	Address/Phone/Fax/Website/E-mail	Qualifier (School Year)*1	Age Limit (at the start of payment)	Eligibility		Plural Grants and Limits (\1,000)*2	Contents (\1,000)	Duration	Application Period	Selection *3	Grantees
					Designated Schools in Japan	Designated Fields of Study						
13	The Mitsubishi UFJ Trust Scholarship Foundation (公財) 三菱 UFJ 信託奨学金財団	2-2-4 Nihombashi, Chuo-ward, Tokyo 103-0027 Tel 03-3275-2215 Fax 03-3275-2409 www.scholarship.or.jp/english/ program/contents/en_application.html office@scholarship.or.jp	U(2-4) M D	31 or under 38 or under	48 Designated schools (Refer to the website) Designated schools (Refer to the website)	-	Y	70/M 100/M	Minimum years required for graduation/completion	Mar.-May	D	50
14	Yonex Sports Foundation Scholarship (公財) ヨネックス・スポーツ 興財団	3-23-13, Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo 113-8543 Tel 03-3839-7195 Fax 03-3839-7196 https://www.jpss.jp/en/scholarship/573 zaidan@yonex.co.jp	U M D	Under 30	Sports Science, etc.	-	Y	Up to 50/M Up to 60/M	1y (Apr.- Mar.)	Oct.-Dec.	D	about 20
15	Japan Educational Exchanges and Services (JEES) (公財) 日本国際教育支援協会 JEES - ISHIBASHI Foundation Scholarship (JEES Sponsor-Crowned Scholarship)	12F DLX building 1-13-1 Nishinbashi, Minatoku, Tokyo 105-0003 International Exchange Division Tel 03-5454-5274 Fax 03-5454-5242 www.jees.or.jp ix@jees.or.jp	M D R	-	Art history	-	Y	150/M	2y	Jan.-June	D	5
16	Japan Educational Exchanges and Services (JEES) (公財) 日本国際教育支援協会 Mitsubishi Corporation International Scholarship (JEES Sponsor-Crowned Scholarship)	12F DLX building 1-13-1 Nishinbashi, Minatoku, Tokyo 105-0003 International Exchange Division Tel 03-5454-5274 Fax 03-5454-5242 www.jees.or.jp ix@jees.or.jp	U(3,4) M D	-	Designated universities (Contact the university) Designated universities (Contact the university)	-	N	100/M 150/M	Minimum number of years remaining in the official course period	Dec.-Feb.	D	50
17	Japan Educational Exchanges and Services (JEES) (公財) 日本国際教育支援協会 JEES International Scholarship (Study Support)	12F DLX building 1-13-1 Nishinbashi, Minatoku, Tokyo 105-0003 International Exchange Division Tel 03-5454-5274 Fax 03-5454-5242 www.jees.or.jp ix@jees.or.jp	CT(4-5) U(2-4) M D	-	Designated schools (Contact the school)	-	Y 48/M	40/M	2y	Mar.-May	D	60
18	JEES International Scholarship (Priority Countries)	12F DLX building 1-13-1 Nishinbashi, Minatoku, Tokyo 105-0003 International Exchange Division Tel 03-5454-5274 Fax 03-5454-5242 www.jees.or.jp ix@jees.or.jp	U M D	-	-	-	Y 48/M	50/M	2y	Mar.-May	D	15
19	JEES International Scholarship (Employment Promotion)	12F DLX building 1-13-1 Nishinbashi, Minatoku, Tokyo 105-0003 International Exchange Division Tel 03-5454-5274 Fax 03-5454-5242 www.jees.or.jp ix@jees.or.jp	U M D	-	Designated schools	-	Y 48/M	30/M	1y	Mar.-May	D	60
20	JEES Scholarship for the Promotion of Japanese Language Learning (JLPT)	12F DLX building 1-13-1 Nishinbashi, Minatoku, Tokyo 105-0003 International Exchange Division Tel 03-5454-5274 Fax 03-5454-5242 www.jees.or.jp ix@jees.or.jp	JC U M D	-	-	-	Y	50/M	2y	Mar.-May	D	50
21	JEES Scholarship for the Promotion of Japanese Language Learning (JLTCT)	12F DLX building 1-13-1 Nishinbashi, Minatoku, Tokyo 105-0003 International Exchange Division Tel 03-5454-5274 Fax 03-5454-5242 www.jees.or.jp ix@jees.or.jp	JC U M D	-	-	-	Y	50/M	2y	Mar.-May	D	30

No	Scholarship/Foundation	Address/Phone/Fax/Website/E-mail	Qualifier (School Year)*1	Age Limit (at the start of payment)	Designated Schools in Japan	Eligibility	Plural Grants and Limits (\1,000)*2	Additional Requirements	Contents (\1,000)	Duration	Application Period	Selection *3	Grantees
22	Toyota Tsusho International Student Scholarship (JEEES Sponsor-Crowned Scholarship)	12F DLX building 1-13-1 Nishinbashi, Minatoku, Tokyo 105-0003 International Exchange Division Tel 03-5454-5274 Fax 03-5454-5242 www.jees.or.jp ix@jees.or.jp https://www.jpss.jp/en/scholarship/764/	U(3) M D	-	Designated schools (Contact the school)	Humanities, Social Science, Engineering	N		100/M	2y	Oct.-Nov.	D	15
23	MAKITA-JINICHI International Scholarship Fund (JEEES Sponsor-Crowned Scholarship)	12F DLX building 1-13-1 Nishinbashi, Minatoku, Tokyo 105-0003 International Exchange Division Tel 03-5454-5274 Fax 03-5454-5242 www.jees.or.jp ix@jees.or.jp https://www.jpss.jp/en/scholarship/766/	U M D	-	Ritsumeikan Asia Pacific U (APU) (Contact the school)	-	N		100/M	2y	Sep.-Jan.	D	10
24	Jinnai International Student Scholarship (JEEES Sponsor-Crowned Scholarship)	12F DLX building 1-13-1 Nishinbashi, Minatoku, Tokyo 105-0003 International Exchange Division Tel 03-5454-5274 Fax 03-5454-5242 www.jees.or.jp ix@jees.or.jp https://www.jpss.jp/en/scholarship/258/	M	-	Designated schools	Agriculture	N		80/M	2y	May-July	D	2
25	MHI Mirai Scholarship (JEEES Sponsor-Crowned Scholarship) JEEES・MHI/MIHPS Mirai Scholarship	12F DLX building 1-13-1 Nishinbashi, Minatoku, Tokyo 105-0003 International Exchange Division Tel 03-5454-5274 Fax 03-5454-5242 www.jees.or.jp ix@jees.or.jp https://www.jpss.jp/en/scholarship/820/	M(1)	-	Designated schools	Chemistry, Electrical and Electronic Engineering, Nuclear Power Engineering	N		120/M	2y	Feb.-May	D	3
26	Ajinomoto Scholarship Foundation 公海研回法入味の奨学金	Sanei Building Annex 2-17-11 Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo 104-0031 Tel 03-3567-5640 Fax 03-3567-5641 http://ajis.cholnarship.com/	M	Under 30 as of 1st April	-	Food, Nutrition and Health	Y	Recommendation letter from the head of the graduate school or an academic advisor	150/M	2y	Apr.-May	D, I	7
27	Amano Institute of Technology Scholarship 天野工業技術研究所奨学金	7955-98, Kiga, Hosoe-cho, Kitaku, Hamamatsu City, 431-1305 TEL: 053-523-1171 http://zai-amano.or.jp/scholarship.html	D(3)	-	Tohoku University, Nihon University, Keio University, Shizuoka University, Toyohashi University of Technology	Graduate School of Science and Engineering	Y/N depends on other scholarship types (up to \1,500/y)	Please contact your school	Ask your school	3y(max)	January	D	18
28	Fuchigami Scholarship 公海研回法人測上専英会	6-16, Reizencho, Hakata-ku, Fukuoka City, 812-0039	U(3) M D	-	Kyushu University, Graduate School of Science and Engineering	Graduate School of Science and Engineering	N	Please contact your school	Ask your school	2y	Late March	D, I *Interview in Japanese	

地方自治体・国際関係協会の奨学金

1	Hokkaido International Exchange & Cooperation Center 北海道国際交流・協力センター 公海研回法入味の奨学金 Foreign Student Scholarship	Hokkaido Gov. Annex Bld. West 7 North 3, Chuward, Sapporo-city, Hokkaido 060-0003 Tel 011-221-7840 Fax 011-221-7845 www.niecc.or.jp; gpin@niecc.or.jp	R M D	-	Hokkaido pref.	-	N	Scholarships from host university and host local government are not prohibited	15/M (2018)	1y (Apr.-Mar.)	May-June	D	50 (2018)
2	Kitami City 北見市 Kitami City Scholarship for Foreign Students	Citizen Environment Department Kitami City Office Kita-2-jo, Higashi 1-11 Kitami-City, Hokkaido 090-8501 Tel 0157-25-1105 Fax 0157-25-1016 http://www.city.kitami.lg.jp; e.fu.hp.tanaser.com/ http://www.city.kitami.lg.jp/docs/2606/files/egp25.pdf shiminkatsudo@city.kitami.lg.jp	PT JC U R M D	-	Kitami city, Hokkaido	-	N	Kitami city residents Kitami Institute of Technology Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing	200/Y	1y (Apr.-Mar.) (Scholarship payment in July and Dec.)	Late May	D	15
3	Iwate International Association (公財) 岩手県国際交流協会	Ama 5F 1-7-1 Moriokaekinishitori, Morioka, Iwate 020-0045 Tel 019-654-8900 Fax 019-654-8922 www.iwate-ia.or.jp iwateint@iwate-ia.or.jp	CT(3-) JC U M D	-	Iwate pref.	-	Y	Students interested in intercultural activities Recommendation from designated schools required	20/M (TBA)	1y (Apr.-Mar.)	Mar.	D, I	8 (TBA)

No	Scholarship/Foundation	Address/Phone/Fax/Website/E-mail	Qualifier (School Year)*1	Age Limit (at the start of payment)	Designated Schools in Japan	Eligibility	Plural Grants and Limits (\1,000)*2	Additional Requirements	Contents (\1,000)	Duration	Application Period	Selection *3	Grantees
4	Ohtawara-city Board of Education 大田原市 Ohtawara-city Foreign Student Scholarship	Ohtawara City Office, 1-4-1, Honcho, Ohtawara-City, Tochigi 324-8641 Tel 0287-23-3111	U(1-6)	-	International U of Health and Welfare (Ohtawara City)	-	Y	University recommendation required Legally registered as residents of Ohtawara city	10/M	1y (Apr.-Mar.)	Apr.-Mar.	D	About 30
5	Shinjuku-ku 新宿区 Foreign Student Scholarship	Shinjuku City Office, 1-4-1, Kabuki-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 160-8484 Tel 03-5273-3504 Fax 03-5273-3590	PT (2-) JC (2) U (2-) M (2) D (2-)	-	Shinjuku City, Tokyo	-	Y (N:MEXT)	Shinjuku Residents who have studied at eligible schools for one year or longer and are planning to continue their studies for at least one year.	240/Y	1y (Scholarship payment in July and Dec.)	Mid May-Late May	D	About 15
6	Kawasaki International Association 川崎市国際交流協会 Financial Assistance Program for Foreign Students	Kawasaki International Association 2-2 Kibuki, Gion-cho, Nakahara-ku, Kawasaki-city, Kanagawa 211-0033 Tel 044-435-7000 Fax 044-435-7010 www.kian.or.jp; kiankawasaki@kian.or.jp	CT JC U M D	-	Kawasaki city, Kanagawa	-	Y (N:MEXT)	Privately financed students in Kawasaki. School recommendation required. Student who resides and can participate in the international exchange activities in Kawasaki. Students who live in Kawasaki.	100/Y	1y	Apr.-Mid May	D	30
7	Toyama International Center Foundation 富山国際センター Toyama International Exchange Scholarship	Toyama International Center Foundation Tower 111, 4th floor 5-5 Ushijimashin-machi, Toyama-city, Toyama 930-0856 Tel 076-444-2500 Fax 076-444-2600 www.tic-toyama.or.jp/english/about/support_for_foreign_students.html tic@tic-toyama.or.jp	CT JC U M D	-	Toyama pref.	-	Y (less than 10/M (First Year) N (Second Year))	Students living in Toyama prefecture who have completed the procedure of notification such as place of residence, enrollment of Japanese educational institutions, those who are planning to go to college or graduate school	10/M(1st year students), 3/ M (Japanese Language Institute Students), 50/M (others)	1y (Apr.-Mar.)	Apr.-Late May	D	Limited by budgets
8	Ishikawa-Pref. 石川県 Scholarship for Privately Financed Foreign Students	International Exchange Division Ishikawa Prefectural Government 1-1 Kuratsuki, Kanazawa-city, Ishikawa 920-8580 Tel 076-225-1381 Fax 076-225-1383 e200500@pref.ishikawa.lg.jp	CT U PT JC U R M D	-	Ishikawa pref.	-	Y 20/M	① Students who have been enrolled in a university in Ishikawa less than one year ② Students who are expected to graduate from a university in Ishikawa in the next fiscal year and intend to work in Ishikawa	① 20/M ② 20/M ~ 30/M	① 1y (Apr.-Mar.) ② 1y and 9m (Jul.-Mar. of the next fiscal year)	June	D	120 ① 100 ② 20
9	Iwata City 磐田市	City Hall 3-1 Kaunodai, Iwata-city, Shizuoka 419-8650 Tel 0538-32-3151 Fax 0538-32-2353 chikk-ohen@city.iwata.lg.jp	U	-	Shizuoka Sangyo U	-	Partially disapproved Up to 10/M		Up to 10/M	1y (Apr.-Mar.)	May 31	Selected by Shizuoka Sangyo University	all
10	Shiga Intercultural Association for Collaboration 滋賀県国際協会	Piazza 2F 1-1-20 Nionohama, Otsu-city, Shiga 520-0801 Tel 077-526-0931 Fax 077-510-0601 www.s-i-a.or.jp/en/projects/multicultural_info@s-i-a.or.jp	JC A U R M D	-	Shiga pref.	-	Y 20/M	Privately financed students in Shiga pref.	20/M	1y	May-June	D	Not fixed
11	Kobe International Center for Cooperation (公財) 神戸国際センター Kobe International Students Scholarship (Kobe Sugawara Scholarship)	2F Boeki Center Building, 5-1-14, Hamabetsu-cho, Chuoh-ward, Kobe, Hyogo 651-0083 Tel 078-291-0641 Fax 078-291-0691 www.kicc.jp/index_en.html; kic00@kicc.jp	U(3-4) M D	-	Kobe city, Hyogo	-	N	Priority will be given to S. East Asian students for 5 of the 30 grantees	80/M	1y	Feb.-Mid Mar.	D, I	30
12	Himeji-shi 姫路市 Foreign Student Scholarship	Himeji City Office 4-1 Yasuda, Himeji-city, Hyogo 670-8501 Tel 079-221-2596	JC U R M D	-	Himeji city, Hyogo	-	Y		30/M	Minimum years required for graduation/ completion	Apr.	D	2
13	Kato-shi 加東市 Scholarship for Foreign Students	50 Yashiro, Kato-city, Hyogo 673-1493 Tel 0795-43-0388 Fax 0795-42-5055 www.city.kato.lg.jp; kobasakou@city.kato.lg.jp	U M D	-	-	-	N	Students who live in Kato city and participate in the international activities in a community	15/M	1y	Apr.-May	D, I	4
14	Hamada International Association 浜田国際交流協会 International Students Scholarship Program	4F Hamada City Office, 1, Tono-machi, Hamada-city, Shimane 697-8501 Tel 0855-24-1241 Fax 0855-23-4040 hamakoku@mx.miracle.ne.jp	U R M D	-	The U of Shimane	-	N		50/M	1y (Apr.-Mar.)	Decided by U of Shimane	D	3

No	Scholarship/Foundation	Address/Phone/Fax/Website/E-mail	Qualifier (School Year)*1	Age Limit (at the start of payment)	Designated Schools in Japan	Eligibility	Plural Grants and Limits (\1,000)*2	Additional Requirements	Contents (\1,000)	Duration	Application Period	Selection *3	Grantees
15	Kurashiki-shi 倉敷市 Kurashiki City Financial Aid for Privately Financed Students	International Affairs Section, Kurashiki City Office 640 Nishi-nakashinden, Kurashiki-city, Okayama 710-8565 Tel 086-426-3015 Fax 086-426-4095 intntm@city.kurashiki.okayama.jp	JC(1) U(1)	-	Kurashiki city, Okayama	-	Y	Students in Kurashiki city	10/M	1y	Apr. Sep.	D	35
16	Hiroshima International Center (公財) ひろしま国際センター Scholarship Programs	Naka-ku, Hiroshima 730-0037 Tel 082-541-3777 Fax 082-243-2001 General information 082-541-3888 hic@hiroshima-c.or.jp	CT JC U R M D	-	Hiroshima pref.	-	N	Students who have newly arrived from overseas or other prefectures	30/M	1y	Apr.- Mid May	D	About 50
17	Hiroshima Peace Culture Foundation (公財) 広島平和文化センター	1-5 Nakajima-cho, Naka-ku, Hiroshima-city, Hiroshima 730-0811 Tel 082-242-8879 Fax 082-242-7452 www.pcf.city.hiroshima.jp/ircd/ internat@pcf.city.hiroshima.jp	U R M D	-	Hiroshima city, Hiroshima	-	N	Hiroshima city residents	30/M	1y	Apr.	D	30
18	Nankoku-shi 南都市 Nankoku City Scholarship	2301 Oosoneko, Nankoku-city, Kochi 783-8501 Tel 088-880-6553 Fax 088-863-1167	CT U R M D	-	Kochi pref.	-	N	Students who live in Nankoku city	9/M	1y	June	D	7
19	Fukuoka International Exchange Foundation (公財) 福岡国際交流センター Foreign Student Scholarship	ACROS Fukuoka 1-1-1 Tenjin, Chuo-ku, Fukuoka-city, Fukuoka 810-0001 Tel 092-725-9201 Fax 092-725-9206 www.kokusaihiroba.or.jp/english/ pages/project/information/ support/	CT JC U R M D	-	Fukuoka pref. (Kyushu U, Senan Gakuin U, Nakamura Gakuin U, Fukuoka U, Fukuoka JoGakuin U)	-	Y	Exact duration to be determined by the beneficiary decided by university and sponsor	20/M	1y	Mid Apr. -Mid May	D	20
20	University-Corporate scholarship for international students in Fukuoka	www.icf.or.jp/en-money/ International-student-scholarship/	JC U R M D	-	Fukuoka pref.	-	Y	Dependant on individual scholarship	decided by university and sponsor	1y as a general rule	Apr.- Early May	D, I	7 (planned)
21	Fukuoka City International Foundation (公財) 福岡よかトピア国際交流財団 Yokotopia Scholarship for International Students	Fukuoka City International Center 1F, 4-1, Tenyamachi, Hakata-ku, Fukuoka-city, Fukuoka 812-0025 Tel 092-262-1744 Fax 092-262-2700 www.icf.or.jp/en-money/ International-student-scholarship/	U M D	-	Fukuoka Metropolitan Area	-	Y (Conditional)	Students who want to work in Fukuoka	60/M	1y	Apr.- Early May	D, I	7 (planned)
22	Kurume Bureau of Tourism and International Exchange (公財) 久留米観光コンベンション国際交流協会 Kurume Scholarship for Foreign Students	Kurumeja 6F 3-11 Mutsumon-machi, Kurume, Fukuoka 830-0033 Tel 0942-31-1717 Fax 0942-31-3210 www.kurume-hotomeki.jp/kite@ktam.or.jp	U M D	-	Kurume, Fukuoka	Japanese Language	N	Dependant on individual scholarship	300-500/Y	1y (Nov.-Mar.)	Oct.		40
23	Oita-ken 大分県 Oita Student Scholarship	2-11 Dejima-machi, Nagasaki-city, Nagasaki 850-0862 Tel 095-823-3931 Fax 095-822-1551 www.nia.or.jp/record_en_nia@nia.or.jp	CT JC U R M D	-	Nagasaki pref.	-	Y	Students who have been enrolled in or will be enrolled at a school in Nagasaki pref. for at least 2 years	15/M	1y	Aug.-Oct.	D	8
24	Kagoshima Prefectural Government 鹿児島県 The Scholarship for Privately Financed Foreign Students in Kagoshima	International Policy Division, Oita Prefectural Government 3-1-1, Oite-machi, Oita-city, Oita 870-8501 Tel 097-506-2045 a10140@pref.oita.lg.jp	CT(4-5) JC U M D	-	Oita pref.	-	N	Students living in Oita	30/M	1y	Apr.- May	D	80
25	Satsuma sendai-shi 薩摩川内市 Satsumasendai City Scholarship for Foreign Students	10-1 Kamoike-shimmachi Kagoshima-city 890-8577 Tel 099-286-2306 Fax 099-286-5522 kouryuu@pref.kagoshima.lg.jp	CT(4-) JC U M D	-	Kagoshima pref.	-	N	Privately financed students living in Kagoshima	20/M	1y (Apr.-Mar.)	Apr.- May	D	10

No	Scholarship/Foundation	Address/Phone/Fax/Website/E-mail	Qualifier (School Year)*1	Age Limit (at the start of payment)	Designated Schools in Japan	Eligibility	Plural Grants and Limits (\1,000)*2	Additional Requirements	Contents (\1,000)	Duration	Application Period	Selection *3	Grantees
25	Satsuma sendai-shi 薩摩川内市 Satsumasendai City Scholarship for Foreign Students	3-22 Kanda-cho, Satsumasendai-city, Kagoshima 895-8650 Tel 0996-23-5111 (ext.4351) global@city.satsumasendai.lg.jp	U	-	Satsumasendai city, Kagoshima	-	Y	Students who will enroll at a school in Satsumasendai and live in Satsumasendai	10/M	1y	At anytime	D	9
26	Izuka Takeshi Scholarship Foundation (公財) 飯塚善英会	1758 Tsuruta-cho, Utsunomiya-city, Tochigi 320-8644 Tel 028-649-2121 Fax 028-648-0700 ist@tkc.co.jp	U M D	30 or under	Tochigi pref.	-	Y	Scholarships are available while in university and can continue through graduate school	45/M	1y	Late Jan.- Early Feb.	D, I	A few students
27	Ichihara International Scholarship Foundation (公財) 市原国際奨学財団	c/o D-Museum 1-22 Kamoisukicho, Nakamura-ward, Nagoya-city, Aichi 453-0843 Tel 052-413-6777 Fax 052-413-3838 www.ichihara-ist.or.jp	U M D	-	Aichi pref.	-	N	Documents and Interview in Japanese	50/M	1y (paid every 3 month)	Early July- Oct. 15	D, I	20
28	Iwadare Scholarship Foundation 岩井善英会 Iwadare Scholarship	Iwadare Scholarship Foundation, Osaka Office 1-8 Yamada-oka Suta, Osaka 565-0871 Tel 06-6879-2913 https://web.dent.osaka-u.ac.jp/ipharm/iwadare.html	D	-	-	Oral Biology, Dentistry, Medical dentistry, Graduate school of medical and pharmaceutical sciences	Y	50/M	1y	Apr.-June	D	10	
29	The NEC C&C Foundation (公財) NEC C&C 財団 Grants for Non-Japanese Researchers	5-7-1 Shiba, Minato-ku, Tokyo 108-8001 Tel 03-3457-7711 Fax 03-3798-7818 www.candc.or.jp/en/grants.html	D	40 or under	-	Computers, Communications and electron devices, and their integrated technologies	Y	125/M	1y	Mid July- End of Sep.	D, I	3	
30	Kajima Kueikai (公財) 鹿島會	6-5-11 Akasaka, Minato-ward, Tokyo 107-8348 Tel 03-5544-1650 Fax 03-5544-1722	M(1)	Under 30	U of Tokyo, Tokyo I of Technology	Architectural engineering	Y	School recommendation required	100/M	2y	Apr. 1-30	I, D	4
31	Kamiyama Scholarship Foundation (財) 上山奨学財団	4-16-29 Sakae, Naka-ward, Nagoya-city, Aichi 460-0008 Tel 052-262-0031 Fax 052-262-5036	U M D	-	Aichi pref.	-	Y	200/Y	200/Y	1y	Mid Apr.- May 31	D, I	20
32	Kamei Memorial Foundation (公財) 亀井記念財団	3-1-18 Kokubun-cho, Aoba-ward, Sendai-city, Miyagi 980-8583 Tel 022-264-6239 Fax 022-264-6011 kmi@kamei.co.jp	U(3-4) M D	-	Miyagi pref.	-	Y	Academic advisor's recommendation required	50/M 60/M	Minimum years required for graduation/ completion	Apr.- May	D, I	Not fixed
33	Kyuhai Memorial Kueikai (公財) 九龍記念善英会	2-1-82 Watanabe-dori, Chuo-ward, Fukuoka-city, Fukuoka 810-0004	PT U	-	Kyushu Electric C	-	N	220/Y	220/Y	2y	Early Mar.- Late Apr.	O	4 (1 nominee from each designated school)
34	Prefectural University of Kumamoto International Postgraduate Scholarship for Non-Japanese Students 熊本県立大学水環研究留学生奨学基金	3-1-100 Tsukide, Higashi-ku, Kumamoto, 862-8502 Tel 096-383-7896 Fax 096-383-2364 www.pu-kumamoto.ac.jp/gakusei@pu-kumamoto.ac.jp	D	35 or under	Pref. U of Kumamoto Applicants Designated Countries: Republic of Kenya, United Republic of Tanzania	Environmental and Symbiotic Sciences (Mercury)	N	Applicants who pass an entrance examination of a PhD Program, Graduate School of Environmental & Symbiotic Sciences, Pref. U of Kumamoto, Selection Method for Non-Japanese (Special Admission Quota for International Postgraduate Scholarship for Research on Mercury), enter the Pref. Univ. of Kumamoto, and conduct research on mercury at Collaborative Graduate School with National Institute for Minamata Disease.	150/M, Transportation fee, Entrance Fee, Tuition, etc	3y	Early May- Mid May	D, W, I	2
35	Kuraoka Shogakukai Foundation (公財) 倉岡善英会	5-18 Nishinomaru-cho, Takamatsu-city, Kagawa 760-0021 Tel 087-811-0553 Fax 087-811-0563	U R M D	-	Kagawa pref.	-	Y	25/M 50/M 100/M	25/M 50/M 100/M	1y(Apr.- Mar.) 2y(Apr.- Mar.)	Late May- Mid June	D, I	TBD

No	Scholarship/Foundation	Address/Phone/Fax/Website/E-mail	Qualifier (School Year)*1	Age Limit (at the start of payment)	Designated Schools in Japan	Designated Fields of Study	Plural Grants and Limits (\1,000)*2	Additional Requirements	Contents (\1,000)	Duration	Application Period	Selection *3	Grantees
36	The International Foundation for Japanese Studies (一財) 国際日本文化研究交流財団	3-2 Obyama-cho, Gonyo, Nishikyo-ward, Kyoto-city, Kyoto 610-1102 Tel 075-332-1868 Fax 075-333-1565 http://www.zai-nichibun.jp/iyugaku.html	D	-	Designated schools in Kyoto 京都府内の大学院博士後期課程に在籍し、日本文化を研究する外国人留学生	Psychology, Geography, Sociology, Politics, Anthropology, History of Scientific Technology, Philosophy, History, Literature, Economics	N	Fluent Japanese communication skills are required. School recommendation required. *Need passport to get application forms	100/M	within 3y	Apr.	D	2
37	Tohoku Kaihatsu Memorial Foundation (財) 東北開発記念財団	4-1-25 Ichibancho, Aoba-ku, Sendai, Miyagi 980-0811 Tel 022-211-0493	M(2) D(2-3) D(3-4)	-	Miyagi pref.	-	Y	Academic adviser's recommendation required. Those who oneself or one's spouse is Japanese government scholar are not eligible.	50/M	1y (Apr.-Mar.)	Early Apr.- Apr. 30	D	22
38	NGK Foundation for International Students (財) 日本アイエヌ学生基金 NGK Scholarship	2-56 Suda-cho, Mizuho-ward, Nagoya, Aichi 467-8530 Tel 052-872-7359 Fax 052-872-7135 http://www.ngk.co.jp/english/csr/philanthropy/index.html	U M D	Under 35	Aichi pref.	-	N	-	120/M	2y (Max)	Dec. 5 -Jan. 31	D, I	11
39	The Kazuko Watanabe Memorial Scholarship Foundation of Notre Dame (財) 渡辺和子記念ノートルダム英奨財団	Noire Dame Seishin University 2-16-9 Iuku-cho, Kita-ward, Okayama-city, Okayama 700-8516 Tel 086-252-6097 Fax 086-254-2249	JC U(2-) M	-	Okayama pref.	-	N	Travel expenses	25/M 3 5/M 40/M	1y	May 10 (depends on the school)	D, I	22 (total)
40	Hashimoto Yasuhiko Asia Africa Ryugakusei Shogakukkin (公益信託) 橋本義彦アジア・アフリカ留学生奨学基金	Please contact your school directly	U(3)	-	Saitama pref.	-	N	-	50/M	Up to 2y	Mid Feb.- Mid May	D	3
41	Miura Educational Foundation (公財) 三浦教育振興財団	2-1-21 Hon-machi, Matsuyama, Ehime 791-8011 Tel 089-932-0020 Fax 089-932-1414	HS CT U R M D	-	Ehime pref.	-	Y	University recommendation required	30/M 40/M (Including Advanced Course of CT)	Minimum years required for graduation/ completion	Around Apr. (enrolled students) Around Feb. (new students)	D	35
42	Miki Takeo Kokusaiikuei Kikin (公益信託) 三木英夫国際英奨基金	2-24-1, Nishisenbacho, Tokushima-city, Tokushima 770-9806 Tel 088-656-7959 Fax 088-623-3549	CT JC U R M D	-	Tokushima pref.	-	Y	Residents in Tokushima	300/Y	1y	Apr. 1-Early May	D	1-4
43	The Scholarship Fund for Foreign Students in Okinawa (財) 沖縄教育振興財団	2-1-12 Matsuyama, Naha-city, Okinawa 900-0032 Tel 098-864-1640 Fax 098-864-1192	CT JC A U R M D	Under 30	U of the Ryukyus, Okinawa International U, Okinawa U, Meio U, Okinawa Christian JC	-	N	-	50/Y	Lump	May 31	O	16
44	Rohm Music Foundation (公財) ロームミュージックファンデーション Rohm Music Foundation Scholarship	1 Nishinakamizu-cho, Saini, Ukyo-ward, Kyoto-city, Kyoto 615-0044 Tel 075-311-7110 Fax 075-311-0089 http://micro.rohm.com/en/rmf/index.html	HS JC U M D	-	-	Music	Y	Attendance at Practical exam and Interview is required.	300/M	1y or Up to graduation/ completion	July-Oct.	D, I, O	About 30
45	Japan Foundation for UNU (財) 国際連合大学国際英奨基金 (United Nations University Institute for the Advanced Study of Sustainability (UNU-IAS))	53-70, Jingumae 5-chome, Shibuya-ku, Tokyo 150-8925, Japan Tel 03-5467-1212 https://ias.unu.edu/en/admissions/degrees/msc-in-sustainability-2021.html#scholarships	M	-	-	-	-	Enrollment students only in the UNU-IAS Master of Science in Sustainability programme	120/M	2y	Mar.	D, I	-
46	UNU Rector's Scholarship (United Nations University Institute for the Advanced Study of Sustainability (UNU-IAS))	53-70, Jingumae 5-chome, Shibuya-ku, Tokyo 150-8925, Japan Tel 03-5467-1212 Admissions Office	M	-	-	-	N	Enrollment students only in the UNU-IAS Master of Science in Sustainability programme	130/M	2y	Mar.	D, I	-
47	Resona Bank Scholarship (United Nations University Institute for the Advanced Study of Sustainability (UNU-IAS))	53-70, Jingumae 5-chome, Shibuya-ku, Tokyo 150-8925, Japan Tel 03-5467-1212 Admissions Office	M	-	-	-	N	Enrollment students only in the UNU-IAS Master of Science in Sustainability programme	130/M (up to 260/M)	2y	Mar.	D, I	-

渡日前に応募可能な奨学金

No	Name of Foundation of Scholarship	Address/Phone/Fax/Website(E-mail)	Qualifier (School Year)*1	Age Limit (at the start of payment)	Designated Schools in Japan	Eligibility	Plural Grants and Limits (\1,000)*2	Additional Requirements	Contents (\1,000)	Duration	Application Period	Selection *3	Grantees
1	ITO Foundation for International Education Exchange Scholarships for Foreign Students (公財) 伊藤国際教育交流財団	5F BABA Bldg, 3-8-4 Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ward, Tokyo 160-0023 Tel 03-3299-7872 Fax 03-3299-7871 http://www.itofund.or.jp/scholarship-oc	M(1)	Desirably under 30	-	-	N	-	180/M	Within 2y	Oct. 1-31	D, I	About 10
2	INOAC International Education and Scholarship Foundation (公財) イノアック国際教育振興財団	2-13-4 Meiekinminami, Nakamura-ku, Nagoya, Aichi 450-0003 Tel 050-3135-9897 Fax 052-581-4726 www.inoac-scholarship.jp/eng/index.html	U M D	-	-	Fields directly related to Human Health (Medicine, Dentistry, Pharmacology, Biology, Engineering, Nutrition, Physical Education), Business Administration	N	Non-Japanese students who are attending a university or graduate school in Japan.	50/M	2y	Sep.-Oct.	D, W, I	About 10
3	Otsuka Toshimi Scholarship Foundation (公財) 大塚敦実育英奨財団	3-2-27 Otedori, Chuo-ku, Osaka-city Osaka 540-0021 Tel 06-6105-0870 www.otsukafoundation.org/english/guide/index.html	M D	38 or under	-	-	N	about 45 designated universities	2000/Y, 1500/Y, 1000/Y	1y	Oct.- Early Dec.	D, I	90 (expected number)
4	Odakyu Foundation (公財) 小田急財団	1-8-3 Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ward, Tokyo 160-8309 Tel 03-3349-2473 Fax 03-3349-2499 www.odakyu-zaidan.or.jp/scholarship/index_en.html o-zaidan@odakyu-dentetsu.co.jp	M D D	-	-	-	Y	3 designated universities (Contact the Foundation) 12 designated universities (Contact the Foundation)	30/M 20/M	2y Minimum required graduation/ completion	Apr.-May	D	3 12
5	The Kubota Fund (公益信託) 久保田基金	The Secretariat Office for the Managing Committee, The Kubota Fund c/o Nippon Koei Co., Ltd. 1-14-8 Kudan-kita, Chiyoda-ku, Tokyo 102-8539 Tel 03-5276-2454 Fax 03-5276-2656 www.kubota-fund.org/ kubota-fund@bx.n-koei.co.jp	CT PT JC U R M D	-	-	A specific engineering/development theme (preferably Civil, Electrical or Agricultural Engineering, or Development Economics)	Y	Please read "Application Guide," to be updated and uploaded to the official website every early December, carefully and thoroughly. If your application is found to have violated any term of the Guide, the application will be automatically rejected from the selection process of grantees.	100/M	1y	Early Dec.- Mid Jan.	D	12
6	KDDI Foundation (公財) KDDI財団	3-10-10 Iidabashi, Chiyoda-ku, Tokyo 102-8460 http://www.kddi-foundation.or.jp/english/grant/kddi-foundation.or.jp	M D	35 or under	Y 100/M	Telecommuni- cations in the fields of Law, Politics, Economics, Society, Culture and Technology	Y	Limited to target countries, 43 designated universities (contact the school)	Up to 100/M	6m or 12m	Aug. (planned)	D	10
7	International Kyowa Scholarship Foundation (公財) 国際協和奨学会	2-4-7-201 Nagata-cho, Chiyoda-ward, Tokyo 100-0014 Tel 03-3580-2469 Fax 03-3580-6078 http://www.ikst.org/bosyu/bosyu.html	CT U M D	-	-	-	N	Schools in Tokyo and its environs	120/M	Up to 2y	Nov.	D, I, O	5
8	College Women's Association of Japan (CWAJ) (社) CWAJ	CWAJ Scholarship Committee 2-24-13-703 Kami-ozaki, Shinagawa-ward, Tokyo 141-002 https://cwaj.org/scholarship/graduate-scholarship-for-non-japanese-women-to-study-in-japan-hij/	M D	-	-	-	Y 1500/Y	Women	2000/Y	1y	Oct. 15-23	D, I	3
9	Sojitz Foundation (公財) 双日国際交流財団	2-1-1 Uchisaiwaicho, Chiyoda-ward, Tokyo 100-8691 Tel 03-6871-2800 Fax 03-6871-5561 http://www.sojitz-zaidan.or.jp/business/invitation/index.html sojitz-zaidan@sojitz.com	U(3-4) M D	Under 30 Under 35	-	-	N	School recommendation required Japanese language ability required	70/M 100/M	2y (Max)	Apr. 1 -Mid May	D	6-10
10	TAKASE Scholarship Foundation (公財) タカセ国際英奨財団	1-10-9 Shimbashi, Minato-ku, Tokyo 105-0004 Tel 03-3571-9401 Fax 03-3571-4622 www.takase.or.jp/english/eguidelines.html info@takase.or.jp	U M D	-	Y	Recommended student by universities in Japan	Y 30/M	-	100/M	1y	July-Late Aug.	D	10-14

*1. Qualifier
CT: College of Technology Students
PT: Professional Training College Students
JC: Junior College Students

U: Undergraduate Students
R: Research Students (Graduate)
M: Master's Program Students
D: Doctoral Program Students

*2 Y= Plural grants permitted
N= Not permitted

*3 D: Document
I: Interview
W: Written examination
O: Others

No	Name of Foundation Name of Scholarship	Address/Phone/Fax/ Website(http://)/E-mail	Qualifier (School Year)*1	Age Limit (at the start of payment)	Eligibility		Contents (¥1,000)	Duration	Application Period	Selection *3	Grantees
					Designated Schools in Japan	Plural Grants and Limits (¥1,000)*2					
11	Nitori International Scholarship Foundation (公財) 似鳥国際奨学金財団	3-6-20, Kaniya, Kita-ku, Tokyo 115-0043 Tel 03-3903-3593 Fax 03-6741-1291 https://www.nitori-shougakuzaidan.com/scholarship_of/#bosyu	U M	-	-	Y Tuition exemption (reduction) only available	110/M-150/M	1y Extendable by reselection	Dec. 2018 -Apr. 2019	D, I, W	Max 100
12	NOMURA FOUNDATION (公財) 野村財団	1-9-1 Nishibashi, Chuo-ward, Tokyo 103-8011 Tel 03-3271-2330 www.nomurafoundation.or.jp	M D	Under 35	Social Science, Humanities	Y 50/M	200/M	2y	Sep.	D, I	10
13	Honjo International Scholarship Foundation (公財) 本庄国際奨学金財団	1-14-9 Tomigaya, Shibuya-ward, Tokyo 151-8503 Tel 03-3468-2914 Fax 03-3468-2606 https://www.his.or.jp/en/scholarship/foreigner/info@his.or.jp	D M	35 or under 30 or under	-	N	150/M 180/M 200/M	4y -5y 3y 1y-2y	Sep. 1- Oct. 31	D, I	15-20
14	Rotary Yoneyama Memorial Foundation (公財) ロータリー—米山記念奨学金	Kokuryu-Shibakoen-bldg, 3F, 2-6-15 Shiba Koen, Minato-ward, Tokyo 105-0011 Tel 03-3434-8681 Fax 03-3578-8281 http://www.rotary-yoneyama.or.jp/english/overseas	U(3-4) M(1-2) D(2-3)	under 45	-	N	100/M 140/M	2y	December	D	15
15	Global Sustainable Electricity Partnership for Sustainable Education for Energy Development [ESED]	505 de Maisonneuve Blvd. West, Lobby Montreal (Quebec), Canada H3A 3C2 Tel +1-514-392-8876 Fax +1-514-392-8900 www.globalelectricity.org/ scholarship/generalsecretariat@hydro.qc.ca	M	-	Fields directly related to sustainable energy development	Y	23,000 USD/ Y	Up to 2y	Mar. 8	D, I	Not fixed
16	Joint Japan/World Bank Graduate Scholarship Program (JWBGSP)	Headquarters The World Bank 1818 H Street, NW Washington, DC 20433 USA Tel : +202 473-1000 http://www.worldbank.org/en/programs/scholarships	M	-	ICU International Christian University, Keio University, Kobe Institute of Computing, Meiji University, The University of Tokyo	Y	fully funded (The funding amount depends on several factors)	2y	March - April	D, I	
17	The Japanese Government MEXT (Undergraduate and Postgraduate) Scholarships	Apply through the Embassy of Japan in your country https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/bohsu/1330944.htm	U R	under 25 under 35	-	N	fully funded	5y for those majoring in medicine, dentistry, veterinary medicine or a six-year course in pharmacy 18m Extension may be possible	around June	D, W, I	
18	The Ashinaga Africa Initiative	Ashinaga Uganda Rainbow House Kaaga road, East 2 Zone, Nansana Municipality P.O. Box 71533, Kampala, Uganda TEL : +256(0)782-528-588 https://en.ashinaga.org/ugandaoffice@ashinaga.org	U	under 23	-	-	fully funded	Have lost one or both parents	Sep-Dec	D	184 in 2019
19	About The Federal Government Bilateral Educational Agreement (BEA) Scholarship Scheme for BSc, MSc and PhD Studies and the Nigerian Scholarship Awards	Federal Ministry of Education fse@education.gov.ng http://education.gov.ng/fse/	U R	18 to 20 35 years for Masters 40 years for Ph.D	Engineering, Geology, Agriculture, Sciences, Fisheries, Languages, Law, Social Sciences, Biotechnology, Architecture, Medicine (very limited)	-	fully funded	general courses: By Medicine and postgraduate studies: By M: 3-4y D: 5-6y	Dec	-	
20	Japan Student Services Organization (JASSO) (公財) 日本学生支援機構 Reservation Program for Nonbukegakusyo Honors Scholarship for Privately-financed International Students (For examinees who achieve a superior score on the EJU)	International Scholarship Division 2-2-1 Aomi, Koto-ku, Tokyo 135-8630 Tel 03-5520-6030 Fax 03-5520-6031 www.jasso.go.jp/en/study/scholarships/scholarship/ shourehi/voyakuseido/index.html	CT (3-5) PT JC U	-	-	Y	48/M	6m or 1y	Same as the application period of the EJU	D	1500 (expected number) including the number of reservation in Japan
21	Japan Africa Dream Scholarship (JADS)	https://www.aids.org/en/about-us/careers/japan-africa-dream-scholarship-jads-program JADS@AFDB.ORG	M	35	Energy, agriculture, health, sustainable environment, engineering	-	fully funded	2y	Oct	D	

表紙と裏表紙の写真について

表紙

右端 (上) : ザンビアのイベントで日本留学について案内をする留学コーディネーター
右端 (下) : 北海道大学大学院総合化学院博士課程を修了したザンビア出身の留学生
中央 (右) : 北海道大学大学院獣医学研究院で学ぶザンビア出身の留学生
中央 (左) : ガーナで実施した日本留学フェア 北海道大学のブース
左端 : 北海道大学大学院保健科学院博士課程で学ぶエチオピア出身の留学生

裏表紙

右端 : ウガンダのマケレレ大学 2019年2月に共催で日本留学フェアを開催
中央 (右) : 北海道大学大学院工学院博士課程で学ぶマラウイ出身の留学生
中央 (左・上) : 北海道大学大学院国際感染症学院で学ぶマラウイ出身の留学生
中央 (左・下) : ザンビア大学で実施されている日本語公開講座
左端 : ウガンダの高校で日本留学について案内をする留学コーディネーター

日本留学海外拠点連携推進事業（サブサハラ・アフリカ地域）事業案内

2021年3月発行

発行者：北海道大学国際連携機構